

# 高知県立大学年報

平成29年度



高知県立大学

## 目 次

1 概 要	
1 教育目標及び高知県立大学のめざすもの	1
2 名称及び所在地	1
2 沿 革	
1 概 要	2
2 沿革図	2
3 主要年表	3
4 名誉教授	6
3 組織及び教職員	
1 組 織	7
2 教 員	9
4 教育及び研究	
1 学部・大学院の概要	2 1
2 教育科目及び受講者の状況	2 4
3 教員免許及び国家資格取得の状況	4 1
4 学位及び大学賞・学長賞等の授与状況	4 2
5 S D ・ F D 活動実施状況	4 7
5 学 生	
1 行事実績	5 0
2 入学の状況	5 2
3 学生数	5 5
4 休学・退学・修業年限を超えて在籍する学生数及び単位互換の状況	5 6
5 課外活動	5 8
6 授業料等の納入状況	5 9
7 日本学生支援機構奨学金受給状況	6 0
8 卒業（修了）者の状況	6 1
6 総合情報センター	6 3
7 地域教育研究センター	6 5
8 健康長寿センター	7 3
9 健康管理センター	7 5
10 国際交流	7 7
11 開かれた大学	
1 公開講座等実施状況	8 0
2 学会役員等の状況	8 3
3 学外提供用刊行物作成状況	9 3
12 財 務	
1 はじめに	9 5
2 貸借対照表	9 5
3 損益計算書	9 8
4 その他の主要諸表	1 0 0
5 外部資金導入の状況	1 0 1
6 学長特別枠助成事業等の状況	1 1 2
13 キャンパス	
1 土 地	1 1 4
2 建 物	1 1 4

# 1 概 要

## 1 教育目標及び高知県立大学のめざすもの

### 教 育 目 標

本学は、教育基本法に基づき、広く知識を授け、専門の学芸を教授研究し、もって人格の向上を図るとともに、平和と文化の発展及び福祉の増進に貢献しうる人材を育成し、併せて地域社会の向上に寄与することを目的とする。

### 高知県立大学のめざすもの

60年にわたり一貫して女子教育に貢献してきた伝統を尊重しながら、新しい時代の要請に応え得る質的な変革を行い、21世紀を展望し、教育文化の拠点として地域とともに発展する大学を目指して、次の教育を重視する。

21世紀における  
新しい価値観の創造

地域文化の創造

豊かな  
人間性の涵養

## 2 名称及び所在地

名 称	所 在 地	TEL・FAX
看護学部	<池キャンパス> 〒781-8515 高知市池 2751-1	Tel 088-847-8700 (代表) Fax 088-847-8670
社会福祉学部		
健康栄養学部		
大学院看護学研究科		
大学院人間生活学研究科 (栄養・生活学領域、社会福祉学領域)		
事務局		
附属図書館	<永国寺キャンパス> 〒780-8515 高知市永国寺町 2-22	Tel 088-821-7104 (代表) Fax 088-821-7103
文化学部（夜間主含む）		
大学院人間生活学研究科（文化領域）		
永国寺事務室		
附属図書館		

# 2 沿革

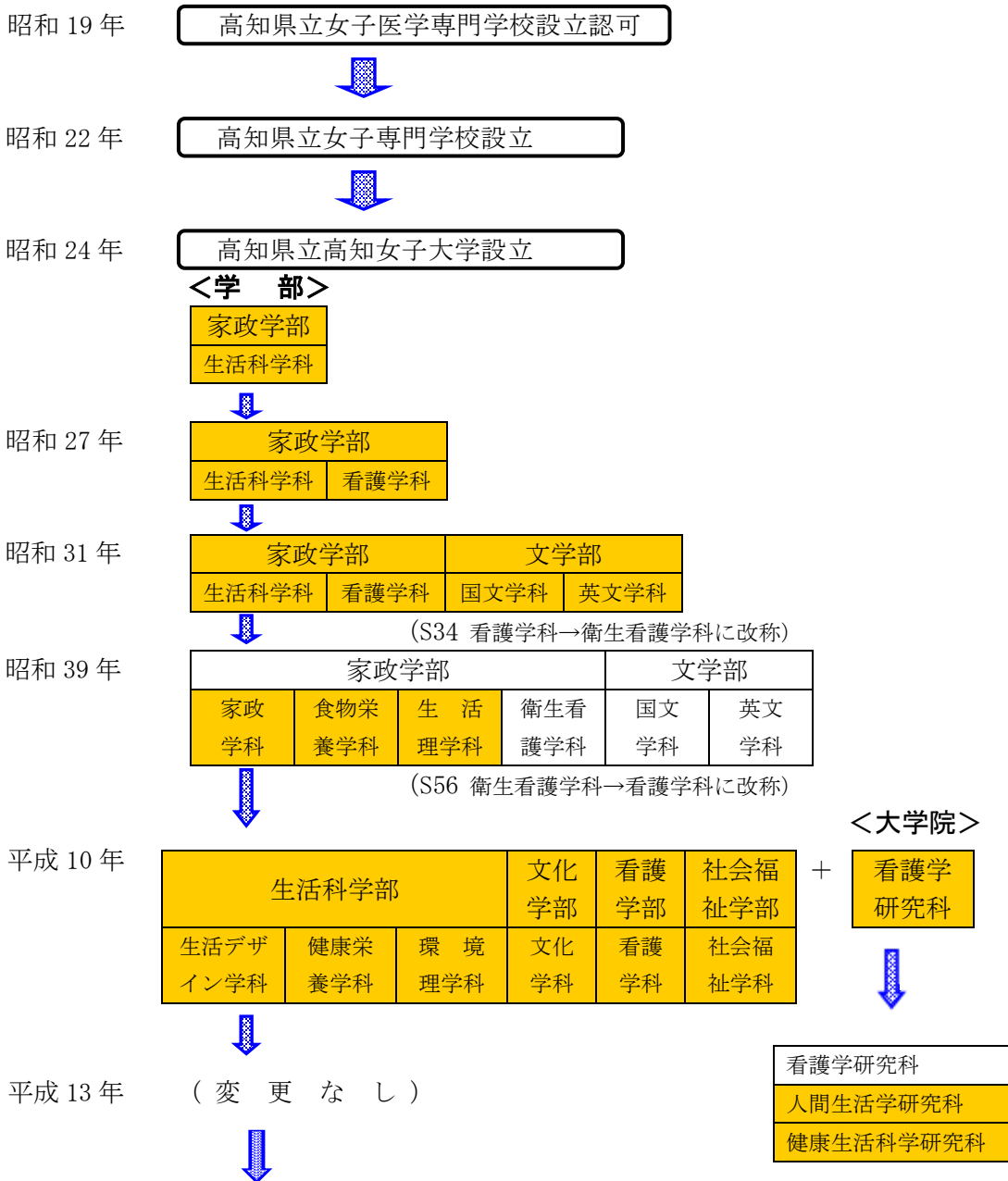
## 1 概要

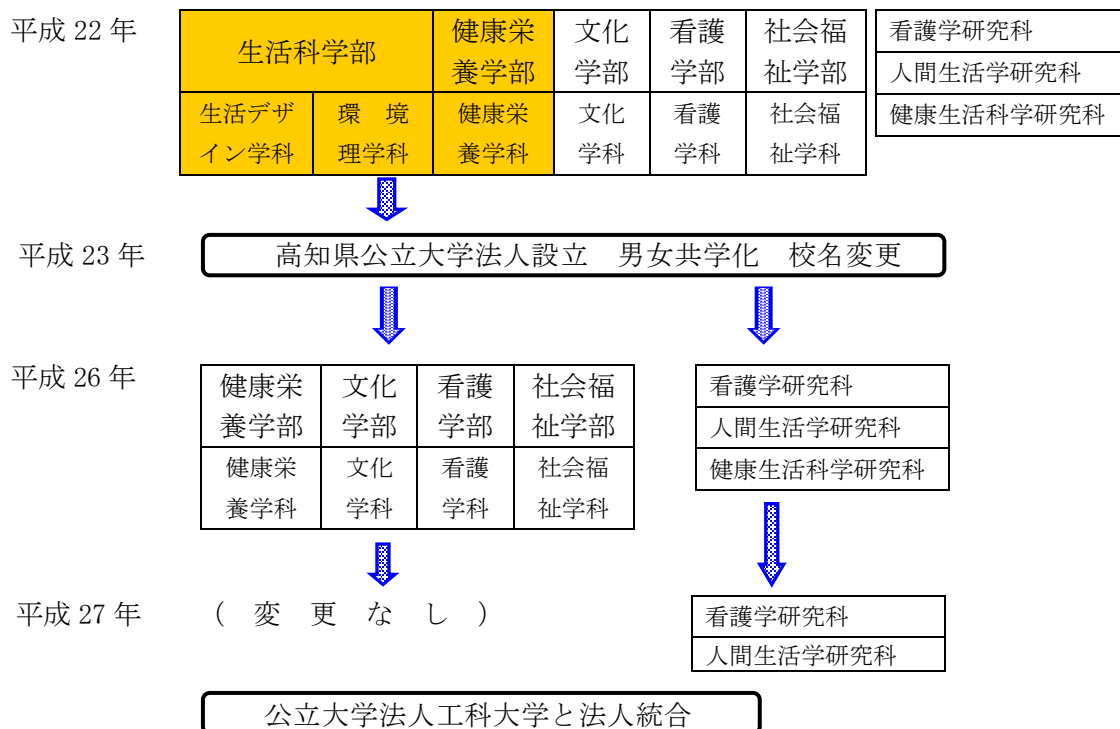
高知県立大学の前身である高知女子大学は、昭和 22 年設立の高知県立女子専門学校を母体として、同 24 年 2 月に文部省の設立認可を受け、家政学部生活科学科の単科大学として開学した。その後、昭和 31 年に文学部を新設して 2 学部となった。

平成 10 年 4 月には、21 世紀を展望し、教育文化の拠点として地域とともに発展する大学を目指して大規模な改組を行い、生活科学部・文化学部・看護学部・社会福祉学部の 4 学部 6 学科体制となるとともに、大学院看護学研究科を新設し、平成 22 年には、健康栄養学科が生活科学部から学部昇格、平成 26 年 4 月に生活科学部を、平成 28 年 3 月に健康生活科学研究科を廃止するなど、体制の変更を行ってきた。

平成 23 年に公立大学法人化し、男女共学化を行うとともに、名称も高知女子大学から校名変更を行い、平成 27 年には公立大学法人高知工科大学と法人統合を行った。

## 2 沿革図





### 3 主 要 年 表

昭和 19 年 1 2 月 2 9 日	高知県立女子医学専門学校設立認可
昭和 20 年 8 月 8 日	高知県立女子医学専門学校開学式及び入学式
昭和 22 年 3 月 3 1 日	高知県立女子専門学校設立認可 (県議会で 2 月 2 5 日女子医学専門学校廃止、女子専門学 校設置の決議)
昭和 24 年 2 月 2 1 日	昭和 22 年創立の県立女子専門学校を母体とし、県立高知 女子大学(家政学部生活科学科)設立認可
昭和 24 年 4 月 1 日	初代学長岡本重雄就任
昭和 25 年 4 月 1 日	家政学部生活科学科を栄養士養成施設として指定
昭和 26 年 3 月 3 1 日	教職課程を設置、中学校・高等学校教諭(家庭)免許状授 与資格を取得させるための課程として認定
昭和 27 年 2 月 2 0 日	家政学部看護学科増設認可
昭和 27 年 3 月 1 8 日	学長岡本重雄退職、教授福田俊治学長事務取扱に就任
昭和 27 年 9 月 2 2 日	看護婦学校として指定
昭和 27 年 1 0 月 1 日	第二代学長志波清時就任
昭和 29 年 3 月 2 1 日	学長病気のため教授中村慶三郎学長代理に就任
昭和 29 年 4 月 1 日	正規の課程及び聴講生の課程を中学校・高等学校教諭(理 科、保健、家庭、英語)・養護教諭の免許状授与の資格を取 得させるための課程として認定
昭和 30 年 3 月 2 9 日	保健婦学校として指定
昭和 30 年 9 月 1 0 日	第三代学長中村慶三郎就任
昭和 31 年 3 月 1 日	文学部(国文学科、英文学科)増設認可
昭和 32 年 4 月 1 日	正規の課程を中学校・高等学校教諭(国語)免許状授与資 格を取得させるための課程として認定

昭和34年	4月	1日	家政学部看護学科を衛生看護学科に改称
昭和34年	12月	1日	第四代学長紫藤貞一郎就任
昭和38年	8月	3日	学長紫藤貞一郎退職、教授田中亮学長事務取扱に就任
昭和39年	4月	1日	家政学部生活科学科を家政学科・食物栄養学科・生活理学科に改称
昭和39年	4月	10日	第五代学長徳田弥就任
昭和41年	3月	31日	附属図書館新館落成
昭和42年	12月	10日	家政学部実験棟新館落成
昭和43年	4月	10日	第六代学長藤本薫喜就任
昭和43年	10月	15日	管理棟及び講義棟新館落成
昭和44年	9月	10日	講堂兼体育館落成
昭和45年	4月	2日	第七代学長安中正哉就任
昭和46年	3月	31日	学生寮落成
昭和46年	3月	31日	集団給食実習室落成
昭和46年	4月	1日	正規の課程及び聴講生の課程を高等学校教諭（看護）免許状授与資格を取得させるための課程として認定
昭和47年	3月	31日	作法室落成
昭和48年	11月	7日	運動場完成
昭和50年	4月	1日	高知女子大学保育短期大学部開学
昭和55年	4月	2日	第八代学長岡崎正一就任
昭和55年	10月	7日	南学舎改築学生会館新築落成
昭和56年	4月	1日	家政学部衛生看護学科を看護学科に改称
昭和59年	4月	2日	第九代学長木原正雄就任
昭和62年	11月	15日	情報処理施設設置
昭和63年	6月	28日	附属図書館増改築落成
平成2年	3月	26日	聴講生の課程を中学校・高等学校教諭（国語）免許状授与資格を取得させるための課程として認定
平成2年	3月	27日	弓道場落成
平成2年	4月	2日	第十代学長池川順子就任
平成8年	4月	2日	第十一代学長成田十次郎就任
平成10年	3月	31日	池校舎落成
平成10年	4月	1日	改組 生活科学部(生活デザイン学科・健康栄養学科・環境理学科) 文化学部（文化学科） 看護学部（看護学科） 社会福祉学部（社会福祉学科） 大学院看護学研究科 高知女子大学保育短期大学部廃止
平成13年	4月	1日	大学院増設 大学院人間生活学研究科 大学院健康生活科学研究科
平成15年	1月	22日	第十二代学長吉野公喜就任
平成15年	4月	1日	第十三代学長青山英康就任 管理栄養士養成施設として認定

平成16年	4月	1日	高等学校教諭（福祉）免許状資格取得の大学学部等の課程として認定
平成17年	4月	1日	栄養教諭免許状授与資格を取得させるための大学学部等の課程として認定
平成19年	4月	1日	第十四代学長山根洋右就任 助産師学校として指定
平成21年	11月	30日	看護福祉棟新築落成
平成22年	2月	28日	本部・健康栄養学部棟新築落成
平成22年	4月	1日	学部改組 生活科学部（生活デザイン学科・環境理学科） 健康栄養学部（健康栄養学科） 文化学部（文化学科） 看護学部（看護学科） 社会福祉学部（社会福祉学科）
平成23年	4月	1日	男女共学化により高知県立大学に校名変更 大学の設置者が高知県公立大学法人に変更 初代学長南裕子就任
平成26年	4月	1日	看護学研究科共同災害看護学専攻（博士課程）を設置 看護学研究科看護学専攻（博士前期課程・博士後期課程） を設置 人間生活学研究課人間生活学専攻（博士前期課程・博士後 期課程）を設置 生活科学部の廃止
平成27年	4月	1日	公立大学法人高知工科大学と法人統合 永国寺キャンパス教育研究棟落成 文化学部を拡充（夜間主の設置）
平成28年	3月	31日	健康生活科学研究科健康生活科学専攻（博士後期課程）を 廃止
平成29年	4月	1日	第二代学長野嶋佐由美就任

#### 4 名 誉 教 授

現在までに名誉教授の称号を授与された教授は、63名である。

高知女子大学

(平成23年3月31日現在)

	氏 名	学部(退職時)	授与年月日		氏 名	学部(退職時)	授与年月日
1	正 木 喬	文学部	昭和46. 7.12	26	岡 崎 芳 子	家政学部	平成 9. 4. 1
2	田 中 亮	家政学部	昭和48. 5. 7	27	宇 久 真 雄	文学部	平成 9. 4. 1
3	市 川 一 夫	家政学部	昭和48. 5. 7	28	徳 満 澄 雄	文学部	平成 9. 4. 1
4	笹 原 邦 彦	家政学部	昭和50. 5.19	29	中 山 喜 代 子	家政学部	平成10. 4. 1
5	山 崎 良 幸	文学部	昭和50. 5.19	30	金 谷 嘉 郎	文化学部	平成11. 4. 1
6	丸 山 和 雄	文学部	昭和50. 5.19	31	岡 本 健 児	文学部	平成12. 4. 1
7	和 井 兼 尾	家政学部	昭和51.12.20	32	橋 本 名 正	文化学部	平成12. 4. 1
8	深 瀬 亀 美	家政学部	昭和52. 6.27	33	秋 田 利 彦	生活科学部	平成12. 7. 7
9	三 宮 慎 助	文学部	昭和54. 4.19	34	濱 田 美 智	社会福祉学部	平成13. 4. 1
10	安 中 正 哉	学 長	昭和55. 4.10	35	藤 田 加 代	文化学部	平成14. 4. 1
11	山 本 壽 春	家政学部	昭和55. 4.10	36	坂 本 肇	文化学部	平成14. 4. 1
12	岩 貞 好	家政学部	昭和55. 4.10	37	寺 内 アヤ子	生活科学部	平成14. 4. 1
13	赤 沢 時 之	家政学部	昭和56. 4.10	38	山 崎 美 恵 子	看護学部	平成14. 4. 1
14	芝 田 不 二 男	家政学部	昭和59. 4.10	39	津 曲 裕 次	社会福祉学部	平成14. 4. 1
15	畠 中 幸	文学部	昭和60. 4.10	40	今 西 一 實	社会福祉学部	平成14. 4. 1
16	作 田 芳 次	家政学部	昭和62. 4.10	41	松 本 女 里	看護学部	平成15. 4. 1
17	平 見 嘉 彦	家政学部	平成 3. 5.10	42	生 田 勝 彦	文化学部	平成15. 4. 1
18	児 平 文 雄	家政学部	平成 4. 4. 1	43	阿 部 捷 男	生活科学部	平成16. 4. 1
19	松 崎 淳 子	家政学部	平成 4. 4. 1	44	山 口 俊 治	文化学部	平成18. 4. 1
20	山 崎 智 子	家政学部	平成 6. 4. 1	45	原 絢 子	生活科学部	平成18. 4. 1
21	市 村 金 次 郎	文学部	平成 7. 4. 1	46	松 田 眞 一	社会福祉学部	平成18. 4. 1
22	矢 野 昭 典	文学部	平成 8. 4. 1	47	住 友 弘 一	文化学部	平成19. 4. 1
23	藤 村 千 賀	家政学部	平成 8. 4. 1	48	山 根 久 之 助	文化学部	平成20. 4. 1
24	池 川 順 子	学 長	平成 8. 4. 1	49	川 崎 育 郎	社会福祉学部	平成21. 4.1
25	松 崎 沙 和 子	家政学部	平成 9. 4. 1				

高知県立大学

(平成30年3月31日現在)

	氏 名	学部(退職時)	授与年月日		氏 名	学部(退職時)	授与年月日
1	青 山 英 康	学 長	平成23.5.19	8	宮 武 陽 子	看護学部	平成26.4.1
2	成 田 十 次 郎	学 長	平成23.5.19	9	川 村 美 笑 子	健康生活科学	平成26.4.1
3	山 根 洋 右	学 長	平成23.5.19	10	前 山 智	社会福祉学部	平成26.5.1
4	北 川 明	文化学部	平成23.5.19	11	井 本 正 人	文化学部	平成27.4.1
5	大 久 保 茂 男	生活科学部	平成24.5.31	12	逸 見 幾 代	健康栄養学部	平成27.4.1
6	青 木 晴 男	文化学部	平成26.4.1	13	森 下 利 子	看護学部	平成28.4.1
7	佐 藤 恵 里	文化学部	平成26.4.1	14	南 裕 子	看護学部	平成29.4.1



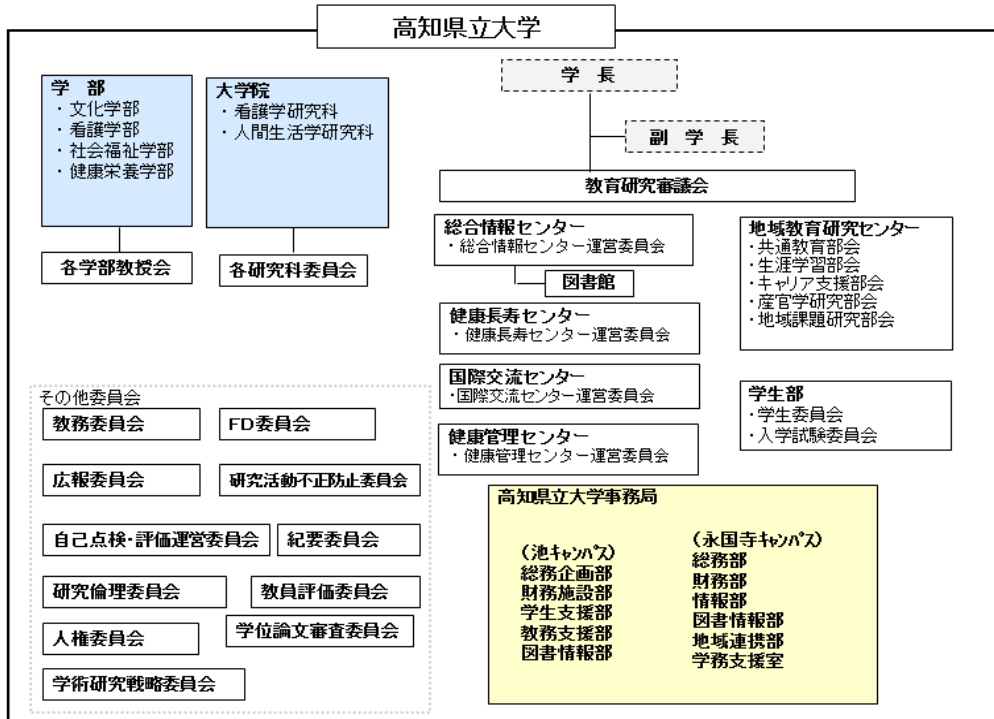
### 3 組織及び教職員

#### 1 組織(平成29年度)

##### (1)組織図

## 高知県立大学組織図

(平成29年4月1日現在)



## (2)教職員構成

(平成29年5月1日現在)

区分	教 員								事 務 局 職 員				合 計	
	学 長	副 学 長	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	計	局 長	事 務 局 職 員	そ の 他	計		
現 員	1	1	40	31	18	31	2	124	1	69	1	71	195	
内 訳	学 長	1						1						
	副学長		1						1					
	文化学部			10	11	3			24					
	看護学部			13	6	6	20		45					
	社会福祉学部			7	6	5	6		24					
	健康栄養学部			3	3	3	3	2	14					
	大学院			3	2				5					
	地域教育研究センター			4	1	1			6					
	総合情報センター				1		1		2					
	健康長寿センター				1		1		2					

## (3)平成29年度新規採用教員数

	学 長	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	計
学長	0						0
文化学部		0	0	0	0	0	0
看護学部		0	1	0	5	0	6
社会福祉学部		1	0	0	0	0	1
健康栄養学部		0	0	0	0	0	0
看護学研究科		1	0	0	0	0	1
人間生活学研究科		0	0	0	0	0	0
地域教育研究センター		1	0	0	0	0	1
総合情報センター		0	0	0	0	0	0
健康長寿センター		0	0	0	0	0	0
合 計		3	1	0	5	0	9

## 2 教員(平成29年度末)

## ○文化学部文化学科

職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	五百蔵 高浩	兵庫教育大学大学院連合博士課程単位取得退学	博士(学校教育学)(兵庫教育大学)	英語音声学、英語科教育法	日本人英語学習者の第2言語音韻および語形成能力習得研究 コーパス言語学的アプローチによる英語学習語彙に関する研究
教授	井上 次夫	大阪外国語大学大学院外国語学専攻修士課程修了	修士(言語・文化)(大阪外国語大学)	国語科教育法、日本語学専門演習	日本語における様式的位相の研究 言語教育におけるWeb教材の開発
教授	芋生 裕信	関西学院大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学	文学修士(関西学院大学)	日本近現代文学演習	小川国夫の研究、志賀直哉の研究、井伏鱒二の研究
教授	岩倉 秀樹	広島大学大学院社会科学研究科法律学専攻博士課程後期単位取得退学	法学修士(広島大学)	日本国憲法、文化と人権、文化と統治システム	表現の自由、選挙法
教授	大井 方子	東京大学大学院 経済学研究科第2種博士課程単位修得退学	修士(経済学)(東京大学)	経済学、社会調査論、地域産業論、地域づくりフィールドスタディ	技術革新、教育と労働に関する実証研究
教授	大村 誠	京都大学大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学	博士(理学)(京都大学)	地域防災論、地域文化論、観光と自然環境(共通)自然災害と防災の科学	防災全般(防災教育、地域防災、災害看護支援) 人工衛星/航空機搭載合成開口レーダー(SAR)の応用 理科・科学教育、サイエンスコミュニケーション
教授	小長谷 悠紀	立教大学大学院 観光学研究科博士課程後期課程単位取得退学	博士(観光学)(立教大学)	観光学総論、観光まちづくり論、観光産業論など	観光都市、観光まちづくりの計画・デザイン 観光文化研究(観光地形成過程、他者寛容性の高い風土・都市空間)
教授	高西 成介	広島大学大学院文学研究科博士課程後期単位取得満期退学	修士(文学)(広島大学)	中国文学講読	六朝志怪小説、唐代伝奇小説の解説、およびそれらの作品を通して当時の社会・文化、および人々の心性の解明
教授	橋尾 直和	東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学	教育学修士(鳴門教育大学)	日本語学専門演習	東アジアにおける地域言語(日本語諸方言・アイヌ語・琉球語)の文化環境言語学的研究
教授	東原 伸明	国学院大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学	博士(文学)(名古屋大学)	平安朝文学演習、古典文学講読、基礎古典	土左日記、竹取物語、伊勢物語、源氏物語の語りと言語・テキスト分析
教授	三浦 要一	大阪市立大学大学院生活科学研究科後期博士課程修了	博士(学術)(大阪市立大学)	住文化論、景観文化論	伝統的集落・町並みの保存と生活空間計画 歴史的建造物の復元に関する調査研究 大阪の都市空間に関する住居史的・都市史的研究
准教授	飯高 伸五	東京都立大学大学院社会科学研究科博士課程単位取得退学	博士(社会人類学)(東京都立大学)	文化人類学、民俗学、観光文化論	マイクロシア地域における日本統治経緯 アジア・太平洋戦争の記憶と戦跡観光 同郷者集団のネットワーク
准教授	宇都宮 千穂	京都大学大学院経済学研究科博士後期課程修了	博士(経済学)(京都大学)	文化政策学、地域づくり論	近現代における企業城下町形成 都市的生活様式とコミュニティ形成に関する研究
准教授	金澤 俊吾	東北大学大学院情報科学研究科博士後期課程修了	博士(情報科学)(東北大学)	英語学	英語における形式と意味との対応関係に関する研究 英語における形容詞が関わる構文の意味的ネットワークに関する研究
准教授	菊池 直人	京都産業大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学	修士(法学)(京都産業大学)	文化と権利、生活と法文化	生命保険契約における被保険者の法的地位
准教授	清水 直樹	立命館大学大学院 政策科学研究科 政策科学専攻博士課程後期課程修了	博士(政策科学)(立命館大学)	政治学、地域分析論、地方自治論、地域づくりフィールドスタディなど	政治制度が公共政策や社会経済に与える影響
准教授	鳥飼 真人	関西大学大学院文学研究科英文学専攻後期博士課程修了	博士(文学)(関西大学)	英文化・文学史、英文化・文学論、国際文化専門演習	近現代英文学と西洋思想との関係について 現代西洋文学理論の再評価、当該理論を活用した大学における文学教育の意義の再検討
准教授	根岸 忠	上智大学大学院法学研究科博士後期課程満期退学	修士(法学)(法政大学)	労働契約と法文化、社会保障と法文化	企業年金の減額・廃止、障害者雇用、訪問介護労働者の労働条件保護
准教授	向井 真樹子	ニューカッスル大学大学院 School of English & Linguistics	博士(言語学)(ニューカッスル大学)	対照言語学、比較言語学、言語教育実践論研究、英語学専門演習、英語コミュニケーションI、日本語II	生成文法における英語、スカンディナビア諸言語族、ロマンス諸語、日本語の複合語の普遍的特徴 外国語学習者の言語特徴と習得理論(特に生成文法)
准教授	山口 善成	筑波大学大学院博士課程文芸言語研究科	博士(文学)(筑波大学)	米文化・文学史、米文化・文学論、国際文化専門演習	初期アメリカの歴史記述、名声と創作
准教授	吉川 孝	慶應義塾大学大学院文学研究科哲学倫理学専攻後期博士課程修了	博士(哲学)(慶應義塾大学)	哲学・倫理学	現象学派的倫理学、生き方の哲学、ケアの哲学
准教授	ヨース・ジョエル	ルーヴンカトリック大学日本学科 博士課程修了	博士(日本学)(ルーヴン大学[ベルギー])	日本思想史、国際日本学	自由民権運動、明治時代の思想と文化、日本の歴史と社会を英語で表現する
講師	オババーグ・アンドリュウ	ウェールズ大学文学研究科哲学博士課程、レーディング大学文学研究科学語学教育課程修士修了	博士(哲学)、修士(Mphil 哲学)、修士(MA 応用哲学)(ウェールズ大学)、修士(MA 英語教育)(レーディング大学)	英語ライティング、スピーキング、教育法、異文化理解	自己学、存在論、美術哲学、宗教学
講師	梶原 太一	同志社大学大学院商学研究科商学専攻博士課程後期課程修了	博士(商学)(同志社大学)	NPO論、キャリアデザイン論、キャリア形成論、ビジネスリテラシー	投資の見返り(ROI)の多様な計算方法 複式簿記情報と資本コスト情報の固有価値 人間の計数能力形成と発達に関する歴史・制度的研究
講師	溜 和敏	中央大学大学院法学研究科政治学専攻博士課程後期課程修了	博士(政治学)(中央大学)	国際関係論、国際開発論、グローバルスタディ	現代の大国間国際政治におけるインド

## ○看護学部看護学科

職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	池添 志乃	高知女子大学大学院健康 生活科学研究科博士後期 課程修了	博士(看護学) (高知女子大学)	養護概説、学校保健、臨 床看護論Ⅱ、家族関係 論、教職実践演習、小児 看護学の動向と課題、養 護実習	さまざまな健康レベルにある子どもと家族の生きる力を支えるケアにつ いての研究、家族の生活の再構築に関する研究
教授	池田 光徳	岡山大学大学院医学研究 科博士課程修了	博士(医学) (岡山大学)	医学の世界、診断学、治 療学総論、人体のしくみの 乱れⅠ・Ⅱ、臨床看護論、 医学と看護の統合	代謝異常症、角化細胞の生物学、皮膚アレルギー、転写因子、褥瘡、 皮膚機能検査
教授	内田 雅子	日本赤十字看護大学大学 院博士課程修了	博士(看護学) (日本赤十字看護大 学)	看護学総論、健康と看護、 援助関係論、慢性期看護 論、慢性期看護援助論、 治療援助論Ⅰ・Ⅱ、症状と 看護、治療と看護、臨床看 護論Ⅳ(慢性の病と生活)、 総合看護実習(慢性期)、 看護と政策、慢性期看護 実践論、看護実践能力開 発実習、看護研究、慢性 期看護学の動向と課題	高知県の血管病ハイリスク群への重症化予防推進・看視連携モデル の開発 慢性看護実践における事例研究法の再構築 慢性透析者における生活の再編成 チーム・プロセスに焦点化した継続教育プログラム
教授	瓜生 浩子	高知県立大学大学院健康 生活科学研究科博士後期 課程修了	博士(看護学) (高知県立大学)	生活援助論Ⅰ、フィジカ ルアセスメントⅠ、人間と看 護、看護過程論、看護援 助の動向と課題、看護研 究	高次脳機能障害者とともに生きる家族の体験や力、家族への看護支 援、災害後における家族レジリエンスを促す看護、家族看護実践にお ける倫理調整力強化のための教育方法とツールの開発に関する研究
教授	大川 宣容	高知県立大学大学院健康 生活科学研究科博士後期 課程修了	博士(看護学) (高知県立大学)	フィジカルアセスメントⅡ・ 治療援助論Ⅰ・急性期看 護論・回復期看護援助論・ 急性期看護援助論・総合 看護実習、急性期看護の 動向と課題、バイオソジカ ルナーシング	悲嘆ケアに関する研究 治療期にある患者・家族の体験に関する研究
教授	田井 雅子	高知県立大学大学院健康 生活科学研究科博士後期 課程修了	博士(看護学) (高知県立大学)	精神看護学総論、精神の 健康と看護、精神看護援 助論、精神看護の動向と 課題、精神看護実践論、 精神看護実習、総合看護 実習、看護研究	精神障害者の地域生活に向けた援助 統合失調症患者のセルフマネジメントに関する研究 家族のレジリエンスを促進する看護に関する研究
教授	竹崎久美子	高知女子大学大学院健康 生活科学研究科博士後期 課程修了	博士(看護学) (高知女子大学)	老人看護学総論、老人看 護援助論、老人看護の動 向と課題、老人看護実践 論、生活援助論Ⅱ、災害と 看護ⅠⅡ、看護研究、ふ れあい看護実習	高齢者の「居がい」について、 小規模デイサービスの場づくりとケア効果、 高齢患者の自宅退院支援プログラムの開発、 認知症高齢者の術後安静をより安楽に保つためのケア開発、 南海トラフ巨大地震準備期における災害看護
教授	時長 美希	高知女子大学大学院健康 生活科学研究科博士後期 課程修了	博士(看護学) (高知女子大学)	健康と看護・人間と看護・ 学校保健・地域看護学総 論、地域看護援助論・保健 行動論・保健統計学・疫学	「アウトリーチ活動を基盤とした地区活動モデルの構築」 「脆弱性を有する家族への支援活動ガイドラインの開発と地域母子支 援システムの構築」 「災害後における家族レジリエンスを促す看護支援モデルの構築とその 活用」
教授	長戸 和子	高知女子大学大学院健康 生活科学研究科博士後期 課程修了	博士(看護学) (高知女子大学)	生活援助論Ⅱ、生活と看 護、看護援助の動向と課 題、看護研究	病者特に慢性疾患患者とその家族への看護、家族マネジメント力に関 する研究
教授	中野 綾美	日本赤十字看護大学大学 院看護学研究科博士課程 満期退学	博士(看護学) (日本赤十字看護大 学)	小児看護学総論、小児の 健康と看護、看護研究方 法論、看護と政策	命に向き合う子どもと親のエンドオブライフケアへの看護に関する研究 臓器移植を受ける子どもの家族に関する研究 子どもセルフケアに関する研究 災害後における家族レジリエンスを促 す看護に関する研究
教授	藤田 佐和	聖路加看護大学大学院看 護学研究科博士後期課程 修了	博士(看護学) (聖路加看護大学)	看護学総論、治療援助論 Ⅱ、看護哲学と倫理、終末 期看護援助論、看護と政策	がんと認知症を併せもつ高齢がん患者の緩和ケアと認知症ケアの統 合ケアモデルの開発 がん看護に携わる看護師の教育プログラムの開発と効果に関する研究
教授	森下 安子	高知県立大学大学院看護 学研究科博士後期課程満 期退学	博士(看護学) (高知県立大学)	在宅看護学総論、在宅看 護援助論、在宅看護リエ ン論、在宅看護の動向と課 題、人間と看護、臨床看護 論Ⅰ	在宅生活の継続と自立を支援するケアマネジメント技術、在宅移行を 支援に関する研究、災害看護支援ネットワークに関する研究
教授	山田 覚	東海大学大学院工学研究 科博士課程修了	博士(工学) (東海大学)	看護システム論、人間工学	看護管理システムの分析と設計、看護サービスの質の向上と安定、 災害看護支援ネットワークに関する研究
准教授	内川 洋子	高知県立大学大学院健康 生活科学研究科博士後期 課程修了	博士(看護学) (高知県立大学)	看護サービス論、看護管 理の動向と課題、看護管 理実習、チーム医療実習、 看護研究、援助関係論、 対人関係とメンタルヘル ス、看護基盤実習	看護におけるリーダーシップについて(看護師長、中堅看護師、看護 師のリーダーシップ)、看護におけるチームワークについて、看護師に 対するチームワーク教育プログラムの開発、看護教育に関する研究
准教授	川上 理子	高知県立大学大学院看護 学研究科博士後期課程修 了	博士(看護学) (高知県立大学)	健康とヘルスプロモーション、 環境と看護、生活援助 論Ⅲ、在宅看護対象論、 在宅看護援助論、在宅看 護実習、在宅看護の動向 と課題	高齢者の在宅療養における家族介護者の看取り、地域を基盤とした 在宅移行支援システムの開発、訪問看護師の質保証のためのプログ ラム検討
准教授	神原 咲子	岡山大学大学院医歯学綜 合研究科国際環境科学講 座公衆衛生学博士課程修 了	博士(医学) (岡山大学)	看護と文化ⅠⅡ、保健統 計学、災害と看護ⅠⅡ	平時の地域モニタリングを有する減災看護モデルの構築
准教授	佐東 美緒	広島大学大学院医学系研 究科博士前期課程保健学 修士課程修了	修士(保健学) (広島大学)	看護研究、小児看護実践 論、小児の健康と看護、小 児看護援助論、母性看護 援助論、助産看護診断 論、助産看護援助論、助 産技術論Ⅱ、総合看護実 習、助産看護実習Ⅰ、母 性看護実習、保健行動 論、保育学	NICUを退院した子どもとその家族を支える看護に関する研究 子どもセルフケアに関する研究 エンドオブライフケアに関する研究

職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
准教授	嶋岡 暢希	日本赤十字看護大学大学院看護学専攻科修士課程修了	修士(看護学) (日本赤十字看護大学)	母性看護対象論、母性看護援助論、母性看護実習、助産看護学総論、助産看護診断論、助産看護援助論、助産技術論Ⅰ、助産技術論Ⅱ、助産看護管理論、助産看護実習Ⅰ、助産看護実習Ⅱ、助産看護の動向と課題、看護実践論、総合看護実習、看護と政策	乳児期の子どもをもつ親のMastery獲得を促進する看護援助
准教授	森本 悦子	千葉大学大学院看護学研究科修士後期課程修了	博士(看護学) (千葉大学大学院)	フィジカルアセスメントⅡ、症状と看護、治療と看護、終末期看護援助論、がん看護論、看護研究、慢性期看護実習、看護実践能力開発実習	がん治療を継続する患者への看護 地域でがん治療を受ける高齢患者への看護 外来通院がん患者の主体性を活かして行う実践のための外来看護師育成プログラムの洗練
准教授	渡邊 聡子	兵庫県立大学大学院看護学研究科修士後期課程修了	博士(看護学) (兵庫県立大学)	生命の科学と倫理、母性看護学総論、母性看護対象論、母性看護援助論、母性看護の動向と課題、母性看護実習、助産看護援助論、助産看護実習Ⅰ、母性・助産実践論、看護研究、災害と看護ⅠⅡ	妊産褥婦とその家族、ならびに、ケア提供者における災害への備えと対応
講師	有田 直子	高知県立大学大学院看護学研究科看護学専攻修士後期課程修了	博士(看護学) (高知県立大学)	人間と看護、小児看護の動向と課題、総合看護実習、領域実習(小児看護)	病氣を持つ子どもと家族の意思決定に関すること
講師	井上 正隆	高知県立大学大学院健康科学専攻科修士後期課程修了	博士(看護学) (高知県立大学)	急性期看護実習、急性期看護援助論、総合実習急性期保健統計、看護セミナーⅥ	①ストレスバイオマーカーを用いた周手術期患者のストレスの測定 ②急性期看護におけるケアデザインの習得を促進する教授方法の開発 ③一般市民にとって実施可能な胸骨圧迫法の実験研究デザインを用いた検討
講師	小澤 若菜	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知女子大学)	地域の健康と看護、地域看護援助論、地域看護実習、地域看護の動向と課題、保健統計学、疫学、保健行動論、地域看護実践論	生活習慣病予防、働く人の健康づくりに関する研究
講師	高谷 恭子	高知女子大学大学院健康科学専攻科修士後期課程修了	博士(看護学) (高知女子大学)	小児の健康と看護、小児看護援助論、看護セミナーⅤ、小児看護実習、総合看護実習(小児)、保育学	病いとともに生きる子どもと家族が辿る軌跡に関する研究 臓器移植を受ける子どもの家族に関する研究 子どもセルフケアに関する研究
講師	山中 福子	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知女子大学)	看護研究、生活援助論ⅠⅡ、慢性期看護論、慢性期看護援助論、慢性期看護の動向と課題、慢性期看護実習、チーム形成論、専門職連携概論	慢性腎臓病をもつ人への看護に関する研究 慢性心不全をもつ人への看護に関する研究
講師	渡邊 美保	高知県立大学大学院看護学研究科修士後期課程修了	博士(看護学) (高知県立大学)	老人の健康と看護、老人看護援助論、生活援助論Ⅰ、看護研究、総合看護実習、看護基盤実習、地域学実習Ⅰ、ふれあい看護実習	高齢者のリロケーションを促進する看護介入 認知症をもつ高齢者の看護
助教	井上 さや子	高知県立大学大学院看護学研究科修士前期課程修了	修士(看護学) (高知県立大学)	精神の健康と看護、看護セミナーⅣ	神経性無食欲症の身体感覚・自己・自我に注目した看護介入を明らかにすること
助教	岩井 弓香理	高知県立大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知県立大学)	看護過程論、臨床看護論Ⅱ、生活援助論Ⅱ	脳血管障害による後遺症をもつ人の家族への看護について
助教	岩崎 順子	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知女子大学)	家族関係論、母性看護援助論、助産看護援助論、母性看護実習、助産看護実習ⅠⅡ	低出生体重児を抱える母親のMaternal Confidenceについての研究
助教	川本 美香	高知県立大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知県立大学)	地域看護実習 保健行動論 地域看護援助論 看護研究	大腸がん検診の精密検査を受診した人の行動 大腸がん検診精密検査受診促進のための看護ケア 保健師による地区活動
助教	小原 弘子	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知女子大学)	生活援助論Ⅲ、治療援助論Ⅰ、看護過程論、在宅看護実習、看護基盤実習、看護管理実習	在宅移行支援に関する事 訪問看護師と介護職との協働に関すること 訪問看護師対象のシミュレーション教育に関すること 在宅療養者の褥瘡予防に関すること
助教	坂元 綾	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知女子大学)	治療援助論Ⅰ、フィジカルアセスメントⅡ、看護過程論、ふれあい看護実習、看護基盤実習、家族看護実習、チーム医療実習、看護実践能力開発実習、急性期看護実習	病棟看護師長のスタッフ育成における役割に関する研究 在宅酸素療法を要するCOPD患者の社会参加の促進に関する研究 2型糖尿病患者のフットケアにおけるエビデンスに関する研究
助教	塩見 理恵	高知県立大学大学院看護学研究科修士前期課程修了	修士(看護学) (高知県立大学)	看護基盤実習、共通地域学実習Ⅱ、看護セミナーⅠ	地域で生活精神障がい者のストレスを高めるケアに取り組んでいる看護師の姿勢を明らかにすること
助教	庄司 麻美	大阪府立大学大学院看護学研究科修士前期課程修了	修士(看護学) (大阪府立大学)	症状と看護、看護基盤実習、慢性期看護実習、看護実践能力開発実習、臨床看護実践論	治療期の進行肺がん患者の呼吸困難感をマネジメントする統合的看護介入モデルの開発
助教	高樽 由美	高知県立大学大学院看護学研究科修士後期課程修了	博士(看護学) (高知県立大学)	看護基盤実習、総合看護実習、慢性期看護援助論	1型糖尿病患者の療養体験に関する研究 糖尿病患者のフットケアに関する研究
助教	瀧 めぐみ	愛知県立大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (愛知県立大学)	総合看護実習、精神看護実習	行動制限最小化における多職種間の倫理調整に関する研究
助教	田之頭 恵里	高知県立大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知県立大学)	小児看護援助論、フィジカルアセスメントⅠ、看護セミナーⅠ、総合看護実習、領域実習(小児看護)	臓器移植を受けた子どもや家族に関する研究
助教	田村 美和	高知県立大学大学院看護学研究科修士前期課程修了	修士(看護学) (高知県立大学)	慢性期看護実習、慢性期看護論(演習)、慢性期看護援助論(演習)	慢性疾患をもつ人の病い体験理解に関する研究



職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
助教	佃 雅美	高知県立大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知県立大学)	急性期看護援助論、総合看護実習:急性期、急性期看護実習	ICU看護師の姿勢に関する研究
助教	永井 真寿美	高知県立大学大学院看護学研究科修士前期課程修了	修士(看護学) (高知県立大学)	母性看護実習、助産看護実習Ⅰ・Ⅱ、母性看護対象論、母性看護援助論、助産看護援助論、助産技術論Ⅰ・Ⅱ、看護セミナーⅡ・Ⅳ	家族形成期にある家族のヘルスリテラシーに関する研究 シミュレーション教育を活用して行う助産師教育に関する研究 精神疾患をもつ女性が親になる過程に関する研究
助教	西内 舞里	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知女子大学)	母性看護援助論 母性看護実習 助産技術論Ⅰ、Ⅱ 助産看護援助論 助産技術論Ⅱ 助産看護実習Ⅰ、Ⅱ 母性看護実習 フィジカルアセスメントⅡ	糖尿病合併妊婦と夫の妊娠期の協働に関する研究
助教	畠山 典子	順天堂大学大学院医療看護学研究科修士前期課程修了	修士(看護学) (順天堂大学)	地域看護実習、総合看護実習、地域の健康と看護、地域看護援助論(演習)、地域看護の動向と課題	妊娠出産包括ケアシステムに関する研究 保健師の人材育成に関する研究 地域減災とプライマリヘルスケアに関する研究
助教	原田 圭子	札幌市立大学大学院看護学研究科修士前期課程修了	修士(看護学) (札幌市立大学)	ふれあい看護実習、看護基盤実習、総合看護実習、在宅看護実習	積雪寒冷地在住高齢者の閉じこもり予防に関する研究
助教	森本 紗磨美	東京医科歯科大学大学院博士前期課程修了	修士(看護学) (東京医科歯科大学)	フィジカルアセスメントⅡ、急性期看護援助論、総合看護実習:急性期、急性期看護実習、看護基盤実習	消化器がん患者の周術期看護に関する研究
助教	山口 智治	愛知県立大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (愛知県立大学)	小児看護実習、家族看護実習、看護研究、家族関係論、看護セミナーⅢ	障がいのある家族員を内包する家族への看護に関する研究 家族と看護師とのパートナーシップに関する研究
助教	吉岡 理枝	高知女子大学看護学研究科地域在宅老人在宅看護CNSコース修了	修士(看護学) (高知女子大学)	在宅看護援助論、在宅看護実習	在宅での看取り
特任教授	畦地 博子	高知女子大学大学院健康科学研究所博士後期課程修了	博士(看護学) (高知女子大学)	精神看護論、精神看護対象論、精神看護展開論Ⅲ、精神看護ケア研究	精神科看護師のケア技術に関する研究
特任教授	中山 洋子	Oregon Health Sciences 大学博士課程修了	博士(看護学) (Oregon Health Sciences 大学)	看護学の動向と展望、解釈的看護学	東日本大震災における放射線災害とメンタルヘルスケアに関する研究 看護におけるClinical Judgmentに関する研究 看護師の看護実践能力の発達過程と評価方法に関する研究 精神障害者のSelf-care Assessment Toolの開発とその臨床活用 精神障害者の退院促進・地域ケアのあり方に関する研究 キャリア後期看護師の実践能力の開発とその活用
特任教授	南 裕子	カリフォルニア大学サンフランシスコ校看護学部博士課程修了	博士(看護学) (カリフォルニア大学)	最新専門看護実践講座ⅠⅡ、イノベーション看護学	
特任准教授	NgatuNandu Rojer	高知大学医学部大学院総合人間自然科学研究科医学専攻博士課程修了	博士(医学) (高知大学医学部)	公衆衛生学	Global Health Occupational, Environmental Skin and Lung diseases (Allergy, Pneumoconiosis). Disaster Management
特任助教	門田 麻里	高知女子大学看護学研究科修了	修士(看護学) (高知女子大学)		

## ○社会福祉学部社会福祉学科

職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	杉原 俊二	香川医科大学大学院医学研究科環境生態系専攻博士課程	博士(医学) (香川医科大学)	心理学理論と心理的支援、実践記録法、発達と老化の理解Ⅰ、面接技法	ナラティブアプローチによる対人援助、自分史分析とその応用
教授	田中 きよむ	京都大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学	経済学修士 (滋賀大学)	社会保障論、地域福祉論、福祉行政と福祉計画、公的扶助論、権利擁護論	人間発達理論に基づく社会保障制度の再構築、「小さな拠点」を軸とする住民共生型地域づくりの形成要因と持続モデル 地域福祉計画に基づく住民主体の福祉型地域づくりの形成要因と発展プロセス
教授	長澤 紀美子	新潟大学大学院現代社会文化研究科博士後期課程修了	博士(学術) (新潟大学)	国際福祉論、現代社会と福祉、女性福祉論	欧米(特にイギリスを中心とした)介護政策の動向と国際比較 ケアまたは福祉サービスの行政評価・アウトカム評価 ジェンダー視点での性的少数者の人権擁護と支援
教授	林 美朗	富山医科薬科大学医学部、北海道大学大学院文学研究科	博士(医学)(文学) (北海道大学)	精神医学、精神保健学、人体の構造と機能及び疾病	芸術精神医学(病跡学・芸術療法学)、仏教社会福祉学、社会精神医学、精神病理学、精神医学史学、精神科診断学
教授	丸山 裕子	大阪府立大学大学院社会福祉学研究科博士後期課程修了	博士(社会福祉学) (大阪府立大学)	精神保健福祉援助技術総論・福祉研究法入門	ソーシャルワーク実践過程研究 ①ソーシャルワーク実践方法(利用者参加と地域生活支援)の開発 ②ソーシャルワーカーの実践的コンピテンスの開発
教授	宮上 多加子	高知女子大学大学院健康科学研究所博士後期課程修了	博士(社会福祉学) (高知女子大学)	介護過程・認知症の理解	福祉分野の専門職養成教育とキャリア意識
教授	横井 輝夫	広島大学大学院保健学研究科保健学専攻修了	博士(保健学) (広島大学)	精神科リハビリテーション学、発達と老化の理解Ⅱ	言語からみた認知症の人の理解
准教授	鈴木 孝典	大正大学大学院人間学研究科博士後期課程福祉・臨床心理学専攻修了	博士(人間学) (大正大学)	精神保健福祉論、精神保健福祉援助実習	精神障害者の居住支援に関する研究 障害者ケアマネジメント従事者の養成に関する研究 障害者の地域相談支援の推進に関する研究
准教授	中島 洋	上智大学大学院総合人間科学研究科博士後期課程単位取得満期退学	博士(医療福祉学) (国際医療福祉大学)	児童家庭福祉論、子育て支援論、社会福祉史、現代社会論、相談援助演習Ⅲ、相談援助実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	戦後日本のホームヘルプ事業史研究 地域共生社会及び地域包括支援に関する総合的研究 福祉系公開講座の内容及び運営に関する総合的研究 質的研究法の開発に関する研究
准教授	西内 章	関西福祉科学大学大学院社会福祉学研究科博士後期課程修了	博士(臨床福祉学) (関西福祉科学大学)	事例研究法・相談援助実習指導	多職種連携を活用したソーシャルワークの展開方法に関する研究 エコシステム視座に基づくソーシャルワーク実践の支援ツールに関する研究
准教授	西梅 幸治	京都府立大学大学院福祉社会学研究科博士後期課程修了	博士(福祉社会学) (京都府立大学)	相談援助の理論と方法・相談援助実習指導	ソーシャルワークにおけるエンパワメント実践に関する研究 エコシステム視座に基づくコンピュータ支援ツールの研究
准教授	三好 弥生	高知県立大学人間生活学専攻博士後期課程修了	博士(社会福祉学) (高知県立大学)	介護過程、生活支援技術、医療的ケア、高齢者福祉論	高齢者の看取りに関する研究

職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
准教授	山村 靖彦	高知県立大学大学院健康 生活科学研究科博士後期 課程修了	博士(社会福祉学) (高知県立大学)	地域福祉の理論と方法、コ ミュニティソーシャルワーク	社会的孤立の防止に寄与する社会関係資本の形成と評価に関する研究 「小さな拠点」を軸とする地域づくりに関する研究
講師	井上 健朗	法政大学大学院人間社会 研究科福祉社会専攻	修士(福祉社会)(法 政大学)	医療福祉論、保健医療 サービス	医療保健分野のソーシャルワーク方法論に関する研究 患者会などの当事者活動と専門職の関係に関する研究
講師	河内 康文	高知県立大学人間生活学 専攻博士後期課程修了	博士(社会福祉学) (高知県立大学)	介護の基本、コミュニケー ション技術、障害の理解	介護人材の育成に関する研究
講師	遠山 真世	東京都立大学大学院社会 科学研究科博士課程修了	博士(社会福祉学) (東京都立大学)	障害者に対する支援と障 害者自立支援制度、相談 援助実習指導	障害者の雇用促進・就労支援にかんする研究
講師	鳩間 亜紀子	日本福祉大学大学院福祉 社会開発研究科博士課程 修了	博士(社会福祉学) (日本福祉大学)	高齢者福祉論Ⅰ、相談援 助演習	訪問介護サービスにおける生活援助のあり方 訪問介護員が行う援助の可視化
講師	福岡 隆康	広島大学大学院社会科学 研究科博士課程後期マネジ メント専攻修了	博士(マネジメント) (広島大学)	福祉サービスの組織と経 営	障害者雇用の組織マネジメントに関する研究
助教	稲垣 佳代	高知女子大学大学院人間 生活学研究科修士課程修了	修士(社会福祉学) (高知女子大学)	精神保健福祉援助技術各 論	精神障害者の就労支援に関する研究
助教	上田 恵理子	立命館大学大学院応用人 間科学研究科修士課程修了	修士(人間科学) (立命館大学)	生活支援技術、介護総合 演習	認知症高齢者のケアに関する研究
助教	片岡 妙子	高知大学大学院総合人間 自然科学研究科看護学専攻	修士(看護学) (高知大学)	医療的ケア、生活支援技 術	介護福祉士による医療的ケア実施に関する研究
助教	加藤 由衣	京都府立大学大学院福祉 社会学研究科博士後期課 程修了	博士(福祉社会学) (京都府立大学)	相談援助の理論と方法、 相談援助実習指導	ソーシャルワークにおける省察的実践の研究
助教	雑賀 正彦	日本福祉大学大学院社会 福祉学研究科社会福祉学 専攻修士課程修了	修士(社会福祉学) (日本福祉大学)	コミュニティーソーシャル ワーク、相談援助実習指導	中山間地域を抱えた小規模自治体における地域支援体制に関する研究 地域福祉実践に関する研究
助教	鈴木 裕介	高知県立大学人間生活学 専攻博士後期課程修了	博士(社会福祉学) (高知県立大学)	医療ソーシャルワーク論	中山間地域で暮らす高齢者の医療福祉ニーズに関する研究 ソーシャルワークにおけるアドボカシー実践に関する研究
助教	田中 眞希	高知女子大学大学院人間 生活学研究科修士課程修了	修士(社会福祉学) (高知女子大学)	生活支援技術、介護総合 演習、障害の理解	介護職員の現場教育とキャリア意識
助教	玉利 麻紀	大阪大学大学院人間科学 研究科 博士後期課程 単 位取得退学	修士(人間科学) (大阪大学)	精神保健福祉援助実習指 導	精神障害者をはじめとする社会的マイノリティへの偏見軽減アプローチに関する研究

## ○健康栄養学部

職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	稲井 玲子	徳島大学大学院栄養学研 究科修了	博士(農学) (愛媛大学)	栄養教育	食育を通しての体づくり(食品の機能性に関する研究)
教授	小林 淳	金沢大学大学院自然科学 研究科修了	博士(学術) (金沢大学)	公衆衛生学、生化学Ⅰ、 環境衛生学実習	食品添加物の分析 環境汚染化学物質の動態把握
教授	村上 尚	熊本大学大学院医学研究 科中途退学	博士(医学) (徳島大学)	人体の構造と機能、疾病 論、生体科学実験・実習	生活習慣病の細胞生物学的解析
教授	渡邊 浩幸	岩手大学大学院連合農学 研究科修了	博士(農学) (岩手大学大学院)	食品学、食品機能学	エネルギー代謝調節機能を有する食品の意義 栄養機能探索 食品の保存と加工
准教授	荒牧 礼子	高知県立大学大学院 人間 生活学研究科博士後期課 程	博士(生活科学) (高知県立大学)	公衆栄養学、公衆栄養学 実習、地域公衆栄養学臨 地実習	ライフステージ別でみた食事調査法に関する研究 脂肪エネルギー比を用いた食物摂取状況の分析 料理書籍の出版数の推移からみた食生活スタイルに関する研究 勤労者世帯の生活習慣と指導効果に関する研究 若年成人の食物摂取に関する研究
准教授	鈴木 麻希子	岐阜大学大学院医学系研 究科医科学専攻修了	博士(医学) (岐阜大学)	基礎栄養学、応用栄養 学、教育実習(家庭科)	食物アレルギー 翻訳後修飾(メチル化アルギニン)の生理的役割 加工食品中のリンの定量
准教授	西岡 道子	鳥取大学大学院連合農学 研究科修了	博士(農学) (鳥取大学)	調理学、調理学実習	加熱調理における魚肉のビタミンB12含量について 調理における野菜の葉酸含量について
講師	島田 郁子	高知県立大学大学院 人間生活学研究科 博士後 期課程	博士(生活科学) (高知県立大学)	給食経営管理	イスラム教徒の断食による生活リズムの変化とその修復 クックチルシステムの有効性に関する研究 高齢者の給食喫食率向上の試みー肉軟化剤等による検討ー
講師	竹井 悠一郎	徳島大学大学院 栄養生命 科学教育部 人間栄養科学 専攻 博士後期課程修了	博士(栄養学) (徳島大学)	臨床栄養学	骨外軟組織に発現する破骨細胞を標的とした栄養学的アプローチ 食事を主体とした口腔ケアの研究 腸内環境と免疫について
講師	廣内 智子	高知県立大学大学院 人間 生活学研究科 博士後期課 程修了	博士(生活科学) (高知県立大学)	臨床栄養学実習、臨床栄 養学臨地実習	災害時の栄養管理について
助教	隅田 有公子	高知女子大学 人間生活学 研究科 人間生活学専攻 博士前期課程修了	修士(学術) (高知女子大学)	臨床栄養学実習等	臨床の場で行われている経腸栄養剤の半固形化法の問題解析と標 準化法の提案
助教	田中 守	川崎医療福祉大学大学院 医療技術学研究科健康科 学専攻博士後期課程終了	博士(健康科学) (川崎医療福祉大学大 学院)	生化学実験、基礎栄養学 実験等	食物アレルギー 食物依存性運動誘発アナフィラキシー 食物由来成分の抗アレルギー作用
助教	沼田 聡	徳島文理大学大学院人間 生活学研究科食物学専攻 博士前期課程修了 (論文により博士号取得)	博士(学術) (徳島文理大学)	給食経営管理実習、給食 経営管理臨地実習、環境 衛生学実習、地域実践栄 養学臨地実習	1型糖尿病関連自己抗体に対する超高感度酵素免疫測定法の開発 卵白アレルギーに対する超高感度酵素免疫測定法の開発

職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
助手	川村 真美	高知女子大学家政学部食物栄養学科卒業		食品学実験、食品衛生学実験	食品の機能性評価について
助手	彼末 富貴	高知女子大学家政学部食物栄養学科卒業		調理学実習、生体科学実験・実習	土佐の伝統食

## 【地域教育研究センター】

職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	一色 健司	京都大学大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学	理学博士(京都大学)	基礎化学、地球の科学	・環境水中の微量元素を指標とした環境動態の解明 ・微量元素の超高感度分析法・存在状態の解析法の開発
教授	宇野 浩三	北海道大学大学院工学研究科博士後期課程単位取得退学	工学博士(北海道大学)	居住環境論、住まいと健康と安全、住居学	・住まい・まち・環境教育 ・水切瓦・水切庇と土佐漆喰 ・住宅・住様式の地域性 ・住宅・住環境におけるユニバーサルデザイン
教授	清原 泰治	筑波大学大学院修士課程体育研究科体育方法学専攻	体育学修士(筑波大学)	健康スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ	・1950～60年代における市町村民運動会の社会的機能に関する研究 ・高知県の中山間地域の活性化と大学教育
教授	石山 貴章	高知女子大学大学院健康科学科博士後期課程修了	社会福祉学博士(高知女子大学)	教育心理学、発達心理学、教育方法論、生徒指導論、教育相談論	・特別支援教育の授業づくり ・障害者の就労支援に関する研究 ・心理検査/発達検査におけるアセスメントと支援アプローチ
准教授	鈴木 康郎	筑波大学大学院博士課程教育学研究科単位取得満期退学	教育学修士(筑波大学)	教育原理、教師論、道徳教育論、人権教育に関する科目、地域学実習	・アジアの教育制度に関する国際比較研究 ・アジアにおける多文化教育に関する研究 ・教育を通じたヒトの国際移動、国際交流に関する研究
講師	野辺 陽子	東京大学大学院人文社会科学系研究科博士課程修了	社会学博士(東京大学)	基礎ジェンダー学、ジェンダーとキャリア	・家族の多様化に関する社会学的研究 ・要保護児童の実態と対応に関する自治体間格差の社会学的研究

## 【総合情報センター】

職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
准教授	風間 裕	北海道大学大学院理学研究科博士課程修了	理学博士(北海道大学)	物理学通論、量子物理学	コンピュータを用いた物理学の教材開発、軽い核の構造解析
助教	名和 真一	京都大学大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学	理学博士(京都大学)	情報処理概論、コンピュータリテラシー	核力と量子色力学(QCD)、計算機物理

## 【健康長寿センター】

職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
特任准教授	森下 幸子	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学)(高知女子大学)	訪問看護	医療ニーズの高い在宅療養者の家族の強みを支援する看護介入プログラムの開発 新卒訪問看護師育成と学習支援者の期待不一致を解決する学習支援プログラムの構築
特任助教	野村 陽子	兵庫県立大学大学院看護学研究科修士課程修了	看護学修士(兵庫県立大学)	訪問看護	高齢者の生活に関すること 訪問看護や地域ケアに関すること



【大学院】(平成29年度)

○看護学研究科看護学専攻<博士前期課程>

領域	職名	氏名	主たる担当科目
—	教授	藤田 佐和	看護倫理,がん看護論,緩和ケア特論,がん看護学方法論ほか
—	教授	池添 志乃	看護理論と実践,看護学基盤論,学校保健研究ほか
—	教授	池田 光徳	病態生理学,フィジカルアセスメント特論,がん病態生理学ほか
—	教授	内田 雅子	慢性看護ケア研究ほか
—	教授	瓜生 浩子	家族看護論,家族看護援助論,家族と病気ほか
—	教授	大川 宣容	クリティカルケア看護学方法論,クリティカルケア看護学実践演習ほか
—	教授	田井 雅子	精神看護学方法論,精神看護学展開論,精神看護学実践演習ほか
—	教授	竹崎 久美子	看護倫理,看護学基盤論,臨床倫理,老人看護ケア研究ほか
—	教授	時長 美希	看護学基盤論,地域ケア研究,地域保健学専門演習ほか
—	教授	長戸 和子	家族看護論,家族看護援助論,家族ケア研究,家族看護学実践演習ほか
—	教授	中野 綾美	看護研究と実践,小児看護論,小児看護対象論,小児看護学方法論Ⅰ・Ⅱほか
—	教授	森下 安子	在宅看護論,在宅看護展開論,在宅看護学方法論,看護マネジメント論ほか
—	教授	山田 覚	看護管理論,システム経営管理論,看護サービス管理論ほか
—	特任教授	畦地 博子	こころの発達,精神看護論,精神看護学方法論ほか
—	特任教授	中山 洋子	看護学の動向と展望
—	特任教授	南 裕子	看護学の動向と展望,最新専門看護実践講座ⅠⅡ
—	准教授	内川 洋子	看護管理展開論,看護マネジメント論,臨床看護管理研究ほか
—	准教授	川上 理子	在宅看護学方法論,在宅看護展開論,在宅看護学実践演習ほか
—	准教授	神原 咲子	最新専門看護実践講座ⅠⅡ
—	准教授	佐東 美緒	小児看護対象論,小児看護学方法論,小児看護学実践演習,小児看護ケア研究ほか
—	准教授	森本 悦子	緩和ケア特論,がん看護学方法論,がん看護ケア研究
—	特任准教授	NGATU NLANDU Roger	グローバルヘルス論,疫学研究方法論
—	講師	有田 直子	小児看護学方法論,小児看護学実践演習,看護コンサルテーション論ほか
—	講師	高谷 恭子	看護研究と実践,小児看護論,こころの発達ほか

○看護学研究科看護学専攻<博士後期課程>

領域	職名	氏名	主たる担当科目
—	教授	藤田 佐和	がん看護学Ⅰ・Ⅱ,看護理論学,看護倫理学,看護学特別研究
—	教授	池添 志乃	看護理論学,学校保健学,看護学特別研究
—	教授	池田 光徳	医学研究方法論,看護病態生理学Ⅰ・Ⅱ,看護学特別研究
—	教授	内田 雅子	成人看護学Ⅰ・Ⅱ,看護学特別研究
—	教授	瓜生 浩子	家族看護学Ⅱ
—	教授	大川 宣容	成人看護学Ⅱ
—	教授	田井 雅子	精神看護学Ⅰ・Ⅱ,看護学特別研究
—	教授	竹崎 久美子	老人看護学Ⅰ
—	教授	時長 美希	地域看護学Ⅰ・Ⅱ,看護学特別研究
—	教授	長戸 和子	家族看護学Ⅰ・Ⅱ,看護学特別研究
—	教授	中野 綾美	小児看護学Ⅰ・Ⅱ,看護学研究方法Ⅰ,看護学特別研究
—	教授	森下 安子	老人看護学Ⅱ
—	教授	山田 覚	看護経営管理学Ⅰ・Ⅱ,看護学研究方法Ⅱ,看護学特別研究
—	特任教授	畦地 博子	精神看護学Ⅰ・Ⅱ
—	特任教授	中山 洋子	解釈的看護学
—	特任教授	南 裕子	イノベーション看護学

○看護学研究科共同災害看護学専攻<博士課程>

領域	職名	氏名	主たる担当科目
—	特任教授	南 裕子	災害看護理論構築、災害看護研究デベロップメント
—	特任教授	中山 洋子	博士論文、看護研究方法、理論看護学Ⅱ、看護学研究方法論Ⅴほか
—	学長	野嶋 佐由美	理論看護学Ⅱ、インディペンデントスタディ(演習)Aほか
—	教授	山田 覚	災害看護管理・指揮論
—	准教授	神原 咲子	看護研究方法、災害看護管理・指揮論
—	教授	中野 綾美	看護研究方法
—	教授	藤田 佐和	理論看護学Ⅱ
—	特任准教授	NGATU NLANDU Roger	Professional Writing
—	教授	大村 誠	環境防災学
—	准教授	吉川 孝	看護学研究方法論Ⅴ

○人間生活学研究科人間生活学専攻<博士前期課程>

領域	職名	氏名	主たる担当科目
基礎	教授	石山 貴章	児童福祉論、児童福祉演習、課題研究演習
基礎	教授	宇野 浩三	住環境論、課題研究演習
基礎	教授	清原 泰治	教育学特論
基礎	准教授	吉川 孝	研究と倫理、課題研究演習
基礎	講師	野辺 陽子	研究方法論Ⅰ、データ解析論、環境解析論、課題研究演習
栄養・生活学	教授	一色 健司	環境生態論、栄養・生活特論Ⅰ・Ⅱ、課題研究演習
栄養・生活学	教授	稲井 玲子	人間栄養論Ⅰ、健康動態論、栄養・生活統計論、栄養・生活特論Ⅰ・Ⅱ
栄養・生活学	教授	村上 尚	研究方法論Ⅰ、食品科学論Ⅰ・Ⅱ、食物科学論、食品科学実践演習
栄養・生活学	教授	渡邊 浩幸	人間栄養論Ⅱ、栄養・生活特論Ⅰ・Ⅱ、食生活論Ⅰ・Ⅱほか
栄養・生活学	准教授	鈴木 麻希子	人間栄養論Ⅰ
栄養・生活学	講師	竹井 悠一郎	社会保障論、福祉行財政論、課題研究演習
社会福祉学	教授	杉原 俊二	研究方法論Ⅱ、国際福祉論、国際福祉演習、課題研究演習
社会福祉学	教授	宮上 多加子	精神科ソーシャルワーク論、課題研究演習
社会福祉学	教授	長澤 紀美子	介護福祉論、介護福祉演習、課題研究演習
社会福祉学	教授	田中 きよむ	研究方法論Ⅱ、障害者福祉論、精神保健福祉論、課題研究演習
社会福祉学	教授	丸山 裕子	研究方法論Ⅱ、ソーシャルワーク論、高齢者福祉論、課題研究演習
社会福祉学	准教授	鈴木 孝典	研究方法論Ⅱ、地域福祉論、地域福祉ソーシャルワーク演習
社会福祉学	准教授	西内 章	英語文化論Ⅰ、英語教育学特論Ⅰ・Ⅱ、課題研究演習ほか
社会福祉学	准教授	西梅 幸治	日本文化論Ⅱ、課題研究演習
社会福祉学	准教授	三好 弥生	介護福祉演習
社会福祉学	准教授	山村 靖彦	研究方法論Ⅱ、地域福祉論、地域福祉ソーシャルワーク演習
文化	教授	五百蔵 高浩	英語文化論Ⅰ、英語教育学特論Ⅰ・Ⅱ、英語言語文化論演習Ⅰ、課題研究演習
文化	教授	芋生裕信	日本文化論Ⅱ、課題研究演習
文化	教授	岩倉 秀樹	地域文化論Ⅳ
文化	教授	大村 誠	地域文化論Ⅱ、課題研究演習
文化	教授	高西 成介	中国文化論
文化	教授	橋尾 直和	研究方法論Ⅲ、日本文化論Ⅳ
文化	教授	東原 伸明	日本文化論Ⅰ、課題研究演習
文化	教授	三浦 要一	地域文化論Ⅲ、課題研究演習
文化	准教授	金澤 俊吾	英語文化論Ⅱ、英語学特論Ⅰ・Ⅱ、英語言語文化論演習Ⅰ
文化	准教授	ジョエル・ヨース	日本文化論Ⅲ、国際日本学、国際日本学特論、研究方法論Ⅲ、課題研究演習
文化	准教授	鳥飼 真人	英文学特論Ⅰ・Ⅱ、英語言語文化論演習Ⅱ、研究方法論Ⅲ
文化	准教授	山口 善成	英語文化論Ⅲ、米文学特論Ⅰ、米文学特論Ⅱ、英語言語文化論演習Ⅱ

○人間生活学研究科人間生活学専攻<博士後期課程>

領域	職名	氏名	主たる担当科目
共通	教授	五百藏 高浩	言語・コミュニケーション論
共通	教授	東原 伸明	表象・メディア論
共通	教授	三浦 要一	居住文化論
栄養・生活学	教授	宇野 浩三	居住環境学、特別研究
栄養・生活学	教授	大村 誠	地球環境解析学、特別研究
栄養・生活学	教授	村上 尚	健康動態学、特別研究
栄養・生活学	教授	渡邊 浩幸	食品機能学、特別研究
社会福祉学	教授	杉原 俊二	児童・家族福祉学、障害者福祉学、特別研究
社会福祉学	教授	長澤 紀美子	国際福祉政策学、地域福祉学、特別研究
社会福祉学	教授	宮上 多加子	介護福祉学、地域福祉学、特別研究

【非常勤講師】(平成29年4月1日現在)

	氏 名	専門分野(担当科目)
文化学部	安藤 麻貴	フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ、フランス語中級Ⅰ・Ⅱ
	池 純子	中国語基礎Ⅰ・Ⅱ
	岩佐 和幸	平和構築論
	北川 修文	書 道
	佐藤 恵里	日本文化論
	塩崎 俊彦	古典文学講読(韻文)Ⅰ、Ⅱ
	高野 亜紀	行政と法文化
	土屋 京子	ドイツ語中級Ⅰ、Ⅱ
	吉本 秋水	言語教育実践論Ⅰ
	シュテファン・フーク	ドイツ語基礎Ⅰ、Ⅱ
看護学部	穴山 貴嗣	病態と治療Ⅱ
	家保 英隆	地域保健政策
	泉本 雄司	心のしくみ
	今井 利	病態と治療Ⅰ
	上野 晃子	助産診断論
	浦田 知之	病態と治療Ⅰ
	栄徳 勝光	公衆衛生学、健康管理論
	大迫 洋治	人体の構造Ⅰ、人体の構造Ⅱ
	大西 広志	病態と治療Ⅰ
	荻沼 一男	生化学
	岡谷 恵子	看護と政策
	尾崎 和秀	病態と治療Ⅱ
	小野 憲昭	病態と治療Ⅱ
	金澤 亜錦	小児と疾患
	上村 直人	心のしくみ
	川添 哲嗣	在宅医療
	川原 由佳里	医療史
	國見 祐輔	母性学、助産診断論
	熊田 孝恒	行動科学
	小島 優子	生命の科学と倫理
	小松 淳子	母性学、助産学
	小松 利広	微生物学
	是永 正敬	微生物学
	佐賀 啓子	医療と経営
	佐々木 潔	小児と疾患
	重光 祐輔	小児と疾患
	清水 翔吾	薬理学
	菅沼 成文	健康管理論、公衆衛生学
	砂田 哲	小児と疾患
	高田 浩史	病態と治療Ⅰ

	氏 名	専門分野(担当科目)
看護学部	高橋 美枝	病態と治療 I
	高島 大典	病態と治療 II
	谷口 睦男	人体の機能 I、人体の機能 II
	田村 耕三	病態と治療 II
	土山 芳徳	病態と治療 I
	手島 恵	看護学の動向と課題
	寺石 文則	病態と治療 II
	砥谷 和人	病態と治療 I
	所谷 知穂	小児と疾患
	豊田 誠	健康管理論
	永井 立平	母性学、助産学
	中田 裕生	小児と疾患
	西内 律雄	小児と疾患
	西山 充	病態と治療 I
	東洋 一郎	薬理学
	弘田 量二	公衆衛生学
	福井 直樹	病態と治療 II
	福井 康雄	病態と治療 I
	福永 一郎	地域保健政策
	藤田 博一	心のしくみ
	細木 信吾	病態と治療 I
	松本 務	在宅医療
	南 晋	母性学
	宮澤 真理	小児と疾患
	宮野 伊知郎	公衆衛生学
	宮本 寛	在宅医療
	明神 和弘	心のしくみ
	森田 雅範	病態と治療 I
山本 寄人	助産学、母性学	
脇川 晃子	母性学、助産診断論	
社会福祉学部	奥谷 文乃	人体の構造と機能及び疾病
	加藤 誠之	更生保護制度
	川口 順子	生活支援技術IV
	谷口 睦男	人体の構造と機能及び疾病
	玉里 恵美子	社会理論と社会システム
	橋本 力	高齢者福祉論 II、虐待防止論
	山崎 正雄	精神医学
健康栄養学部	片山 訓博	運動生理学
	川俣 美砂子	保育学
	久保田 賢	生化学
	田村 安興	フードシステム学
	富永 麻理	生化学実験

	氏 名	専門分野(担当科目)
共通教養教育科目	岩郷 浩二	英語コミュニケーションI・II
	植田 憲司	芸術論II
	萩沼 一男	基礎生物学, 土佐の自然と暮らし
	片田 一義	英語コミュニケーションI
	門脇 加江子	芸術論I
	北川 泰生	英語コミュニケーションI
	駒井 説夫	健康スポーツ科学I
	サイモン・クインラン	英語コミュニケーションI・II
	塩坪 いく子	心の科学(心理学)
	竹下 誠一	地域メディア論
	常行 泰子	健康スポーツ科学I
	福江 等	英語コミュニケーションI
	福江 満子	英語コミュニケーションI
	別役 和利	英語コミュニケーションI
	本間 聖康	健康スポーツ科学I・II
	松原 史典	英語コミュニケーションI
	松吉 明子	英語コミュニケーションI・III
	宮本 隆信	健康スポーツ科学II
	宮本 祥子	英語コミュニケーションI
	吉田 祐子	英語コミュニケーションI
クリス・ライオンズ	英語コミュニケーションI・II・III	
李 賢珠	英語コミュニケーションI・II	
課程職	鹿嶋 真弓	特別活動論
	福石 賢一	教育課程論
	山下 文一	教育カリキュラム開発論

## ※ 臨床教授

高知医療センター	吉川 清志
高知医療センター	島田 安博
高知県中央東福祉保健所	田上 豊資
高知医療センター	田鍋 雅子
高知県健康政策部	谷 聡子
高知医療センター	西岡 豊
高知医療センター	林 和俊
高知市保健所	堀川 俊一
高知医療センター	明神 美恵
高知医療センター	森田 莊二郎
高知医療センター	森田 智子
高知医療センター	山下 元司

## ※ 客員教授

サミュエルメリット大学	近藤 房恵
-------------	-------

## 4 教育及び研究

### 1 学部・大学院の概要

#### 【学部】

##### ○ 文化学部

人文・社会系諸科学による多角的な文化研究により人間・社会に対する理解を深め、文化の批判的継承を通して豊かな人間性と主体的に行動し得る能力を培い、地域文化の創造と向上に資するとともに、真に豊かな共生社会の実現に向けて国際的に貢献できる市民を養成する。

- \* 基礎学力の養成
- \* 人間性の涵養
- \* 社会人基礎力の養成
- \* 豊かな感性と思考力の養成
- \* 高度な言語コミュニケーション力の養成
- \* 地域文化の創造に貢献できる行動力の養成

##### ○ 看護学部

看護の理念や専門的知識・技術、ヒューマニズムを礎として、将来に向かって拓かれた看護を構築し、健康問題を人々と共に解決し、人々の健康生活の創造に貢献ができる豊かな人間性・創造性を持った人材を養成する。

- \* 人々の生き方や価値観を尊重して看護を展開する能力の養成
- \* 専門的知識・技術、科学的・倫理的判断に基づく看護実践能力の養成
- \* 社会のニーズを予測し、多職種と協働して問題を解決する能力の養成
- \* 専門職者としての姿勢を培い、地域の健康生活を創造する能力の養成
- \* 国際的見地に立って看護学の学際的発展を推進する能力の養成

##### ○ 社会福祉学部

福祉の現代的課題に対応する、深い人間理解や人権尊重の精神に裏打ちされた専門的知識と実践的知識と実践的技能を教授研究することにより、共感する心と豊かな人間性をもって、社会生活で生じるさまざまな問題に主体的に対応できる福祉の実践能力を修得させ、社会の幅広い分野で福祉の向上に寄与できる有為な人材を育成する。

- \* 地域・家族のもつ福祉課題への対応能力の養成
- \* 社会福祉実践能力の養成
- \* 保健・医療・福祉の効果的な連携をめざした社会福祉専門職の養成

##### ○ 健康栄養学部

人間や健康、環境の本質を理解しながら、生命の基源である「食」を探究し、人々が健康に生活できるよう幅広い分野で貢献できる人材を養成する。

- \* 人間や健康、環境の本質を理解する能力の養成
- \* 専門的知識・技術、科学的思考力の養成
- \* 社会の変化を予測し、異業種と協働して問題を解決する能力の養成
- \* 豊かな人間性を培う
- \* 地域に貢献できる能力の養成

## 【 大学院 】

### 看護学研究科の理念

看護学研究科は、人間の存在と生命の尊厳に基づいて、広い視野に立って精深な学識を授け、看護学の学術基盤を充実・発展させ、さらに革新することに寄与できる高度な教育・研究・実践能力をもつ看護専門職者を養成する。

#### ○ 看護学研究科看護学専攻（博士前期課程）

広い視野に立って精深な学識を授け、高度な専門的実践能力と看護分野における研究能力を養うことを目的とする。

- (1) 個人・家族・地域を多角的、複眼的視点で捉え、総合的判断力と問題解決能力、倫理観を基盤として、質の高い看護ケアの提供と高度な専門的知識・技術を開発できる人材を養成する。
- (2) 多様な健康状態にある人々を、個人の尊厳や QOL を尊重し、その人らしく生きることができるように包括的に支援できる人材を養成する。
- (3) 地域社会や生活環境の中で、人々が自立して健康生活を営むことができるように、地域の人々と協働して、健康を促進する地域文化の形成・発展に貢献できる人材を養成する。
- (4) 社会のニーズや健康に関する課題に積極的に関与し、他の専門職と協働しながら社会状況に対応する方略を開発し、看護実践の場のみならず、教育や政策の場で変革者として貢献できる人材を養成する。
- (5) 看護実践を支える科学的・哲学的基盤を理解し、臨床に根ざした看護研究を通して、看護学の体系化とその発展に貢献できる人材を養成する。
- (6) 国際的動向や多様な文化に関する幅広い知識や最新の情報を備えて、看護をグローバルな視点から捉え、看護の普遍性の追求と体系化に貢献できる人材を養成する。

#### ○ 看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）

看護学の学術的基盤を発展させるために看護学に関する学術と研究を国際的・学際的に推進し、その深奥を究め、創造的に自立して研究活動を行う高度な専門的能力を養うことを目的とする。

- (1) 看護学の学術的な基盤を発展させるために、グローバルスタンダードで看護学の知識や技術を研究開発し、看護学にイノベーションをもたらす人材を養成する。
- (2) 最新の看護学の知識や技術、看護関連分野の知見等を活用し、人や社会に貢献するケアの開発に取り組み、人々の安心な生活の実現や QOL の向上を推進していくことのできる人材を養成する。
- (3) 国内外の専門職と連携して、政策開発や意思決定に参加し、健康医療福祉システムの構築や変革をもたらす人材を養成する。
- (4) 科学的・学際的な基盤を持って人々の健康生活や健康文化を創造することに寄与する、次世代の高度実践看護者を養成する高等教育を担う人材を養成する。

#### ○ 看護学研究科共同災害看護学専攻（博士課程）

博士課程は、豊かなそして高度な看護学専門知識を培い、学際的・国際的でグローバルな見識に基づいた研究を発展させ、特に災害看護学に関してその深奥を究め、人間の安全保障の進展に寄与することを目的とする。



- (1) 人間の安全保障を理念として、いかなる災害状況でも「その人らしく健康に生きる」ことを支援できる人材を養成する。
- (2) 災害サイクル諸局面において「健康に生きるための政策提案」に取り組むことができる人材を養成する。
- (3) グローバルな視点から安全安心社会の実現に向けて、産学官との連携を築き、制度やシステムを変革できる人材を養成する。
- (4) 学際的な視点、国際的な視点から災害看護学を構築し、災害看護学を研究開発できる人材を養成する。

#### ○ 人間生活学研究科（博士前期課程）

地域に生きる人々の生活の文化的発展と健康で快適な生活環境の実現を目指し、栄養・生活学、社会福祉学、文化の各学体系を基盤に、複合的に人間生活を教育・研究することにより、総合的な視野に立って、地域社会の生活課題を解決・調整する高度専門職業人を養成する。

- (1) 複数の領域にわたる幅広く深い学識を身につけ、自立して人間生活にかかわる諸問題にとりくみ、その解決に向けて連携・調整をはかる能力をもつ人材を養成する。
- (2) 地域社会の特性をふまえて、生活・栄養・社会福祉・文化の面から、地域の人々の生活に関する総合的な地域システムづくりを計画・遂行できる高度専門職業人を養成する。
- (3) 生活・栄養・社会福祉・文化の分野における専門的な知識と技術を、人間の生活に関して焦点化し、共有化できる能力を培う。
- (4) 人々の快適で安心できる生活を実現するために、地域に根ざした研究を通して、学問の体系化とその発展に貢献できる能力を培う。

#### ○ 人間生活学研究科（博士後期課程）

地域に生きる人々の生活の文化的発展と健康で快適な生活環境の実現を目指し、人間生活学を基盤とした教育・研究を行うことにより、総合的な視野に立って、地域社会の生活課題を解決・調整する高度専門職業人を養成する。

- (1) 自立した研究者として人々の生活に寄与する最新の知識や技術を研究開発していく人材を養成する。
- (2) 最新の知識や技術を活用して新たな知の開発に取りくみ、人間生活の質を向上させていく人材を養成する。
- (3) 国内外の専門職と連携して、人間生活に変革をもたらす政策を考案し、政策開発や意思決定に参加し、地域システムに変革をもたらす人材を養成する。
- (4) 知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養を備え、次世代の専門職を育成する高等教育を担う人材を養成する。

## 2 共通教養教育科目及び受講者の状況

### 【学 部】

#### (1) 共通教養教育科目(平成29年度)

##### リテラシー科目

##### ○文化学部 文化学科

(単位:人)

授 業 科 目	受講者数	授 業 科 目	受講者数
英語コミュニケーションⅠA	未開講	英語コミュニケーションⅢB	未開講
英語コミュニケーションⅠB	未開講	英語コミュニケーションⅢC	43
英語コミュニケーションⅠC	328	英語コミュニケーションⅢD	39
英語コミュニケーションⅠD	323	情報処理概論	129
英語コミュニケーションⅡA	未開講	情報リテラシー	49
英語コミュニケーションⅡB	未開講	コンピューターリテラシー	158
英語コミュニケーションⅡC	49	ビジネスリテラシー	109
英語コミュニケーションⅡD	42	日本語表現法	0
英語コミュニケーションⅢA	未開講		

##### ○看護学部 看護学科

(単位:人)

授 業 科 目	受講者数	授 業 科 目	受講者数
英語コミュニケーションⅠA	未開講	英語コミュニケーションⅢB	未開講
英語コミュニケーションⅠB	未開講	英語コミュニケーションⅢC	6
英語コミュニケーションⅠC	161	英語コミュニケーションⅢD	5
英語コミュニケーションⅠD	158	情報処理概論	27
英語コミュニケーションⅡA	未開講	情報リテラシー	0
英語コミュニケーションⅡB	未開講	コンピューターリテラシー	49
英語コミュニケーションⅡC	3	ビジネスリテラシー	0
英語コミュニケーションⅡD	4	日本語表現法	0
英語コミュニケーションⅢA	未開講		

##### ○社会福祉学部 社会福祉学科

(単位:人)

授 業 科 目	受講者数	授 業 科 目	受講者数
英語コミュニケーションⅠA	未開講	英語コミュニケーションⅢB	未開講
英語コミュニケーションⅠB	未開講	英語コミュニケーションⅢC	4
英語コミュニケーションⅠC	157	英語コミュニケーションⅢD	2
英語コミュニケーションⅠD	148	情報処理概論	0
英語コミュニケーションⅡA	未開講	情報リテラシー	1
英語コミュニケーションⅡB	未開講	コンピューターリテラシー	77
英語コミュニケーションⅡC	8	ビジネスリテラシー	0
英語コミュニケーションⅡD	4	日本語表現法	1
英語コミュニケーションⅢA	未開講		

##### ○健康栄養学部 健康栄養学科

(単位:人)

授 業 科 目	受講者数	授 業 科 目	受講者数
英語コミュニケーションⅠA	未開講	英語コミュニケーションⅢB	未開講
英語コミュニケーションⅠB	未開講	英語コミュニケーションⅢC	0
英語コミュニケーションⅠC	83	英語コミュニケーションⅢD	3
英語コミュニケーションⅠD	83	情報処理概論	12
英語コミュニケーションⅡA	未開講	情報リテラシー	28
英語コミュニケーションⅡB	未開講	コンピューターリテラシー	40
英語コミュニケーションⅡC	2	ビジネスリテラシー	0
英語コミュニケーションⅡD	5	日本語表現法	1
英語コミュニケーションⅢA	未開講		

**教養基礎科目**

(単位:人)

授 業 科 目	受講者数	授 業 科 目	受講者数
科学と人間	4	法学	81
基礎化学	10	政治学	26
基礎生物学	136	経済学	24
健康栄養学	67	倫理学	217
物理と自然法則	1	哲学	208
地球の科学	12	文学	41
数学入門	8	基礎ジェンダー学	162
基礎統計学	9	心の科学(心理学)	76
社会調査基礎論	33		
日本国憲法	235		

**課題別教養科目**

(単位:人)

授 業 科 目	受講者数	授 業 科 目	受講者数
現代社会論	58	司法制度と人権	16
現代科学文化論	10	労働と人権	20
現代生活論	69	消費者保護と人権	未開講
日本現代史	144	社会保障と生活	37
居住環境論	118	サステナビリティ論	未開講
環境衛生	未開講	地域とグローバリゼーション	33
資源とエネルギー	25	芸術論Ⅰ	78
自然災害と防災の科学	145	芸術論Ⅱ	未開講
住まいと健康と安全	57	家族関係論	159
人間の安全保障と国際協力	未開講	対人関係論	25
現代人権論	47	地域メディア論	16
ジェンダーとキャリア	44		

**健康・スポーツ科目**

(単位:人)

授 業 科 目	受講者数	授 業 科 目	受講者数
健康スポーツ科学Ⅰ	305	健康とヘルスプロモーション	26
健康スポーツ科学Ⅱ	238	栄養と疾患	33
心の健康	未開講		

**域学共生科目**

授 業 科 目	受講者数	授 業 科 目	受講者数
地域学概論	357	専門職連携論	55
土佐の歴史と文化	35	チーム形成論	76
土佐の経済とまちづくり	22	地域学実習Ⅰ	676
土佐の自然と暮らし	78	地域学実習Ⅱ	699
土佐の食と健康	191	域学共生実習	未開講

(単位:人)

授 業 科 目		受 講 者 数	授 業 科 目		受 講 者 数
教 職 に 関 す る 専 門 教 育 科 目	教師論	91	教 職 に 関 す る 専 門 教 育 科 目	道徳教育論	67
	教育原理	38		特別活動論	50
	発達心理学	29		教育方法論	67
	教育心理学	29		生徒指導論	67
	教育社会学	45		教育相談論	72
	人権教育に関する科目	59		教育基礎理論	27
	教育課程論	41		教育カリキュラム開発論	19
	国語科教育法Ⅰ	14		教育実習Ⅰ	21
	国語科教育法Ⅱ	12		教育実習Ⅱ	21
	国語科教育法Ⅲ	6		養護実習	16
	国語科教育法Ⅳ	6		学校栄養教育実習	2
	英語科教育法Ⅰ	13		教職実践演習(中・高)	21
	英語科教育法Ⅱ	13		教職実践演習(養護)	16
	英語科教育法Ⅲ	10		教職実践演習(栄養)	2
英語科教育法Ⅳ	10				

(2) 専門教育科目(平成29年度)

○ 文化学部 文化学科(旧カリキュラム)

(その1)

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数	
文化基礎科目群	文化学入門	未開講	専修科目群	文学専修	日本近現代詩歌論	未開講
	文化哲学	未開講			中国古典文学論	未開講
	基礎演習Ⅰ	未開講			日本神話講義	未開講
	基礎演習Ⅱ	未開講			物語文学講読ⅠA	未開講
	基礎演習Ⅲ	未開講			物語文学講読ⅠB	未開講
	基礎演習Ⅳ	未開講			物語文学講読ⅡA	未開講
	基礎演習Ⅴ	未開講			物語文学講読ⅡB	未開講
	基礎演習Ⅵ	未開講			日本文学講読A	未開講
	基礎演習Ⅶ	未開講			日本文学講読B	未開講
	基礎演習Ⅷ	未開講			日本近世文学講読ⅠA	未開講
	基礎演習Ⅸ	未開講			日本近世文学講読ⅠB	未開講
	基礎演習Ⅹ	未開講			日本近世文学講読ⅡA	未開講
	基礎演習ⅩⅠ	未開講			日本近世文学講読ⅡB	未開講
	基礎演習ⅩⅡ	未開講			日本近代文学講読A	未開講
	基礎演習ⅩⅢ	未開講			日本近代文学講読B	未開講
	土佐地域文化研究(方言)	未開講			日本現代文学講読A	未開講
	土佐地域文化研究(祭り)	未開講			日本現代文学講読B	未開講
	土佐地域文化研究(スポーツ)	未開講			中国古典文学講読ⅠA	未開講
	土佐地域文化研究(民俗)	未開講			中国古典文学講読ⅠB	未開講
	土佐地域文化研究(文学)	未開講			中国古典文学講読ⅡA	未開講
	土佐地域文化研究(地域学)	未開講			中国古典文学講読ⅡB	未開講
	中国語初級Ⅰ	未開講			イギリス文学講読ⅠA	未開講
	中国語初級Ⅱ	未開講			イギリス文学講読ⅠB	未開講
	中国語中級Ⅰ	5			イギリス文学講読ⅡA	未開講
	中国語中級Ⅱ	7			イギリス文学講読ⅡB	未開講
	ドイツ語初級Ⅰ	未開講			アメリカ文学講読A	未開講
	ドイツ語初級Ⅱ	未開講			アメリカ文学講読B	未開講
	ドイツ語中級Ⅰ	1			日本語文章構成法	未開講
	ドイツ語中級Ⅱ	1			平安朝文学演習A	未開講
	フランス語初級Ⅰ	未開講			平安朝文学演習B	1
	フランス語初級Ⅱ	未開講			平安朝文学演習C	7
	フランス語中級Ⅰ	2			日本文学演習A	未開講
	フランス語中級Ⅱ	1			日本文学演習B	未開講
情報処理演習	3	日本文学演習C	未開講			
プレゼンテーション論	未開講					
フィールドワークⅠ	未開講	日本近世文学演習A	未開講			
フィールドワークⅡ	未開講	日本近世文学演習B	未開講			
フィールドワークⅢ	未開講	日本近世文学演習C	未開講			
フィールドワークⅣ	未開講	日本近現代文学演習A	未開講			
フィールドワークⅤ	未開講	日本近現代文学演習B	未開講			
NPO論	未開講	日本近現代文学演習C	7			
専修科目群	文学専修	日本文学入門	未開講			
		英米文学入門	未開講			
		日本文学史	未開講			
		中国文学史	未開講	中国古典文学演習A	未開講	
		イギリス文学史	未開講	中国古典文学演習B	未開講	
		アメリカ文学史	未開講	中国古典文学演習C	3	
		比較文学	未開講	イギリス文学演習A	未開講	
		文学批評理論	未開講	イギリス文学演習B	未開講	
		日本文学特論	未開講	イギリス文学演習C	未開講	
		日本近世文学特論	未開講	アメリカ文学演習A	未開講	
		日本近代文学特論	未開講	アメリカ文学演習B	未開講	
		日本古典文学制度講義	未開講	アメリカ文学演習C	未開講	

		授 業 科 目	受講者数			授 業 科 目	受講者数		
専修科目群	文学専修	書評Ⅰ	未開講	専修科目群	文化創造専修	地域文化論演習ⅡB	未開講		
		書評Ⅱ	未開講			地域文化論演習ⅡC	未開講		
		書評Ⅲ	未開講			ジェンダー論	未開講		
		書評Ⅳ	未開講			ジェンダー論講読A	未開講		
						ジェンダー論講読B	未開講		
			ジェンダー論演習A			未開講			
			ジェンダー論演習B			未開講			
			ジェンダー論演習C			未開講			
			観光文化論			未開講			
			観光文化論講読A			未開講			
			観光文化論講読B			未開講			
			観光と自然環境			未開講			
			1			観光文化論	未開講		
						住文化論	未開講		
			民俗学			未開講		防災文化論	未開講
			日本史			未開講		文化人類学	未開講
			日本思想史			未開講		文化人類学講読A	未開講
			書道			未開講		文化人類学講読B	未開講
			日本文化史			未開講		文化人類学演習A	未開講
			考古学			未開講		文化人類学演習B	未開講
			中国文化論			未開講		文化人類学演習C	未開講
			アジア思想史			未開講		文化政策学Ⅰ	未開講
			現代アジア文化論			未開講		文化政策学Ⅱ	未開講
			英米文化概論			未開講		まちづくり政策論	未開講
			英米文化史Ⅰ			未開講		まちづくり政策論講読ⅠA	未開講
			英米文化史Ⅱ			未開講		まちづくり政策論講読ⅠB	未開講
			西洋史			未開講		まちづくり政策論講読ⅡA	未開講
			比較宗教学			未開講		まちづくり政策論講読ⅡB	未開講
			近現代文化論			未開講		まちづくり政策論演習A	未開講
			現代社会論			未開講		まちづくり政策論演習B	未開講
			現代社会論講読ⅠA			未開講		まちづくり政策論演習C	未開講
			現代社会論講読ⅠB			未開講		公共哲学	未開講
			現代社会論講読ⅡA			未開講		哲学講読ⅠA	未開講
			現代社会論講読ⅡB			未開講		哲学講読ⅠB	未開講
			現代社会論演習A			未開講		哲学講読ⅡA	未開講
			現代社会論演習B			未開講		哲学講読ⅡB	未開講
			現代社会論演習C			未開講		哲学演習A	未開講
			現代社会論演習ⅠA			未開講		哲学演習B	未開講
			現代社会論演習ⅠB			未開講		哲学演習C	2
			地域文化論Ⅰ			未開講		現代思想	未開講
			地域文化論Ⅱ			未開講		日本語コミュニケーションⅠ	未開講
			地域文化論Ⅲ			未開講		日本語コミュニケーションⅡ	未開講
			地域文化論Ⅳ			未開講		日本語コミュニケーションⅢ	未開講
			地域文化論講読ⅠA			未開講		中国語コミュニケーションⅠ	未開講
			地域文化論講読ⅠB			未開講		中国語コミュニケーションⅡ	未開講
			地域文化論講読ⅡA			未開講		中級英語リスニング	未開講
			地域文化論講読ⅡB			未開講		上級英語リスニング	未開講
			地域文化論講読ⅢA			未開講		中級英語スピーキング	未開講
			地域文化論講読ⅢB			未開講		上級英語スピーキング	未開講
			地域文化論演習ⅠA			未開講		中級英語アカデミックライティング	未開講
		地域文化論演習ⅠB	未開講		上級英語アカデミックライティング	未開講			
		地域文化論演習ⅠC	未開講		英語文法・英作文Ⅰ	未開講			
		地域文化論演習ⅡA	未開講		英語文法・英作文Ⅱ	未開講			

(その3)

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数		
専修科目群	言語コミュニケーション専修	英語音声学	未開講	言語コミュニケーション専修	日本語言語文化論講読IVA	未開講	
		TOEIC I	未開講		日本語言語文化論講読IVB	未開講	
		TOEIC II	未開講		日本語言語文化論演習 I A	未開講	
		TOEFL I	未開講		日本語言語文化論演習 I B	未開講	
		TOEFL II	未開講		日本語言語文化論演習 I C	8	
		言語文化論	未開講		日本語言語文化論演習 II A	未開講	
		英語言語文化論講読 I A	未開講		日本語言語文化論演習 II B	未開講	
		英語言語文化論講読 I B	未開講		日本語言語文化論演習 II C	未開講	
		英語言語文化論講読 II A	未開講		日本語教育学 I	未開講	
		英語言語文化論講読 II B	未開講		日本語教育学 II	未開講	
		英語言語文化論講読 III A	未開講		日本語教育実践研究 I	未開講	
		英語言語文化論講読 III B	未開講		日本語教育実践研究 II	未開講	
		英語言語文化論講読 IV A	未開講		異文化コミュニケーション論	未開講	
		英語言語文化論講読 IV B	未開講		国際日本学 I	未開講	
		英語言語文化論演習 I A	未開講		国際日本学 II	未開講	
		英語言語文化論演習 I B	未開講		国際日本学 III	未開講	
		英語言語文化論演習 I C	未開講		国際日本学 IV	未開講	
		英語言語文化論演習 II A	未開講		国際日本学 V	未開講	
		英語言語文化論演習 II B	未開講		国際日本学 VI	未開講	
		英語言語文化論演習 II C	未開講		比較日本学 I	未開講	
	英語言語文化論演習 III A	未開講	比較日本学 II	未開講			
	英語言語文化論演習 III B	未開講	比較日本学 III	未開講			
	英語言語文化論演習 III C	4	国際日本学フィールドワーク	未開講			
			比較文化論	未開講			
			比較文化論講読A	未開講			
			比較文化論講読B	未開講			
			比較文化論演習A	未開講			
			比較文化論演習B	未開講			
			比較文化論演習C	10			
			比較文化論演習 I A	未開講			
			対照言語学	未開講	その他	自主研修	未開講
			日本語学	未開講		キャリア形成セミナー	未開講
		日本語史	未開講	企業実習		6	
		日本語音声学・音韻論	未開講	卒業研究		93	
		日本語言語文化論講読 I A	未開講				
		日本語言語文化論講読 I B	未開講				
		日本語言語文化論講読 II A	未開講				
		日本語言語文化論講読 II B	未開講				
		日本語言語文化論講読 III A	未開講				
		日本語言語文化論講読 III B	未開講				

○ 文化学部 文化学科(新カリキュラム)  
(その1)

授業科目			受講者数	授業科目			受講者数
文化学部共通科目	リテラシー科目	基礎演習	172	文化学部専門科目	国際文化領域	比較日本学Ⅱ	未開講
		中国語基礎Ⅰ	76			国際関係論	54
		中国語基礎Ⅱ	78			国際開発論	64
		ドイツ語基礎Ⅰ	24			国際文化専門演習Ⅰ	未開講
		ドイツ語基礎Ⅱ	24			国際文化専門演習Ⅱ	19
		フランス語基礎Ⅰ	51			日本語史	99
		フランス語基礎Ⅱ	50			日本語音声学・音韻論	76
		日本語Ⅰ	5			日本語学講読	66
		日本語Ⅱ	5			日本語文章構成論	124
		情報処理演習	160			国語教育学講読Ⅰ	48
		文献調査論	36			国語教育学講読Ⅱ	30
		基礎読書法	124			日本語教育学概論	45
	エッセンシャル科目	文化哲学	189		日本語教育教材論	16	
		文化人類学	210		日本語学専門演習Ⅰ	36	
		文化と権利	123		日本語学専門演習Ⅱ	未開講	
		文化と裁判	58		基礎古典	69	
		公共哲学	97		日本文学史(古典)	25	
		民俗学	87		日本文学史(近代)	61	
		文化と経済	68		古典文学基礎講読Ⅰ	未開講	
		日本文学概論	179		古典文学基礎講読Ⅱ	未開講	
		言語学概論	182		古典文学講読(散文)Ⅰ	未開講	
		日本語学概論	162		古典文学講読(散文)Ⅱ	未開講	
		グローバルスタディー	181		古典文学講読(韻文)Ⅰ	35	
		異文化コミュニケーション	未開講		古典文学講読(韻文)Ⅱ	16	
		社会調査論	55		古典文学講読Ⅰ	39	
		域学共生フィールドワーク	19		古典文学講読Ⅱ	39	
		文化学課題研究ゼミナールⅠ	136		近代文学講読	99	
	文化学課題研究ゼミナールⅡ	138	現代文学講読		103		
	文化学課題研究ゼミナールⅢ	3	中国文学史		53		
	文化学課題研究ゼミナールⅣ	4	中国文学講読(散文)		44		
	アカデミック科目	キャリアデザイン論	137		中国文学講読(韻文)	38	
		キャリア形成論	117		日本文学専門演習Ⅰ	40	
		企業実習	79		日本文学専門演習Ⅱ	未開講	
文化学部専門科目	英語学領域	英語学概論	55	地域文化領域	書道	40	
		比較言語研究	33		地域文化論	112	
		対照言語学	9		日本思想史	27	
		言語教育実践論Ⅰ	7		日本文化論	125	
		言語教育実践論Ⅱ	3		土佐地域文化資源論(歴史)	108	
		英語文法論	70		土佐地域文化資源論(方言)	未開講	
		英語ライティングⅠ	26		文化政策論	75	
		英語ライティングⅡ	29		男女共同参画社会論	未開講	
		英語音声学	60		地域防災論	34	
		英語スピーキングⅠ	23		住文化論	87	
		英語スピーキングⅡ	22		地域文化専門演習Ⅰ	17	
		英語学専門演習Ⅰ	21		地域文化専門演習Ⅱ	未開講	
	英語学専門演習Ⅱ	未開講	地域づくり論	76			
	国際文化領域	英文化・文学史	50	地域産業論	13		
		英文化・文学論	34	地域分析論	104		
		米文化・文学史	35	地方自治論	83		
		米文化・文学論	24	NPO論	未開講		
		国際日本学Ⅰ	20	地域づくりフィールドスタディⅠ	53		
		国際日本学Ⅱ	20	地域づくりフィールドスタディⅡ	43		
		比較日本学Ⅰ	25	地域づくり専門演習Ⅰ	17		
				地域づくり専門演習Ⅱ	未開講		
				観光文化論Ⅰ	45		
				観光文化論Ⅱ	57		
				景観文化論	107		



(その2)

		授 業 科 目		受 講 者 数			授 業 科 目		受 講 者 数
文化学部専門科目	観光文化領域	観光と自然環境 I		76	現代法文化領域	現代法思想論		未開講	
		観光と自然環境 II		47		情報化社会と法文化		36	
		観光文化フィールドスタディ I		19		地域社会と法文化		123	
		観光文化フィールドスタディ II		34		生命倫理と法		未開講	
		観光フィールド専門演習 I		29		平和構築論		24	
		観光フィールド専門演習 II		未開講		現代法文化専門演習 I		10	
		観光学総論		33		現代法文化専門演習 II		未開講	
		観光まちづくり論 I		46		生活と法文化		84	
		観光まちづくり論 II		46		文化と人権		126	
		観光産業論		60		災害と法		96	
	観光まちづくり領域	観光産業論		96	ワーク・ライフ・バランスと法		60		
		観光まちづくりフィールドスタディ I		22	労働契約と法文化		96		
		観光まちづくりフィールドスタディ II		21	社会保障と法文化		43		
		観光産業専門演習		未開講	家族関係と法文化		35		
		観光企画論		31	生活法文化専門演習 I		7		
		文化と統治システム		75	生活法文化専門演習 II		未開講		
		行政と法文化		26					

○ 看護学部 看護学科

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数	
専門基礎科目	医学の世界	82	看護基礎科目	看護援助学	治療援助論Ⅱ	83
	人体の構造Ⅰ	82		看護援助学	症状と看護	84
	人体の構造Ⅱ	83		看護援助学	看護援助の動向と課題	1
	人体の機能Ⅰ	82		看護援助学	ふれあい看護実習	81
	人体の機能Ⅱ	82		看護援助学	看護基盤実習	83
	人体のしくみの乱れⅠ	84		看護管理学	看護システム論	83
	人体のしくみの乱れⅡ	83		看護管理学	看護サービス論	81
	心のしくみ	82		看護管理学	看護教育論	未開講
	病態と治療Ⅰ	84		看護管理学	看護管理の動向と課題	未開講
	病態と治療Ⅱ	84		看護管理学	チーム医療実習	82
	診断学	83		看護管理学	看護管理実習	80
	微生物学	83		急性期看護学	急性期看護論	84
	栄養学	82		急性期看護学	急性期看護援助論	81
	生化学	82		急性期看護学	回復期看護援助論	82
	薬理学	83	急性期看護学	急性期看護の動向と課題	8	
	治療学総論	84	急性期看護学	急性期看護実習	81	
	小児と疾患	84	慢性期看護学	慢性期看護論	83	
	母性学	83	慢性期看護学	慢性期看護援助論	81	
	保健統計学	83	慢性期看護学	終末期看護援助論	81	
	疫学	83	慢性期看護学	慢性期看護の動向と課題	未開講	
	健康管理論	82	慢性期看護学	慢性期看護実習	81	
	地域保健政策	81	看護学 老人看護学	老人看護学総論	82	
	生命の科学と倫理	57	看護学 老人看護学	老人の健康と看護	83	
	医療史	16	看護学 老人看護学	老人看護援助論	83	
	社会保障と看護	43	看護学 老人看護学	老人看護の動向と課題	未開講	
	心理学理論と心理的支援	29	看護臨床科目	精神看護学総論	83	
	行動科学	60	看護臨床科目	精神の健康と看護	83	
保健行動論	40	看護臨床科目	精神看護援助論	82		
人間工学	15	看護臨床科目	精神看護の動向と課題	2		
公衆衛生学	84	看護臨床科目	精神看護実習	82		
在宅医療	28	看護臨床科目	小児看護学総論	84		
医療と経営	13	看護臨床科目	小児の健康と看護	82		
助産学	11	看護臨床科目	小児看護援助論	83		
助産診断論	10	看護臨床科目	小児看護の動向と課題	4		
			看護臨床科目	小児看護実習	83	
看護基礎科目	看護学総論	82	看護臨床科目	母性看護学総論	83	
	健康と看護	82	看護臨床科目	母性看護対象論	83	
	環境と看護	82	看護臨床科目	母性看護援助論	82	
	人間と看護	82	看護臨床科目	母性看護の動向と課題	未開講	
	看護研究方法論	84	看護臨床科目	母性看護実習	82	
	看護哲学と倫理	80	看護臨床科目	助産看護学総論	8	
	生活と看護	82	看護臨床科目	助産看護診断論	8	
	生活援助論Ⅰ	82	看護臨床科目	助産技術論Ⅰ	8	
	生活援助論Ⅱ	82	看護臨床科目	助産技術論Ⅱ	8	
	生活援助論Ⅲ	83	看護臨床科目	助産看護援助論	8	
	看護過程論	83	看護臨床科目	助産看護管理論	8	
	援助関係論	82	看護臨床科目	助産看護の動向と課題	8	
	フィジカルアセスメントⅠ	82	看護臨床科目	助産看護実習Ⅰ	7	
	フィジカルアセスメントⅡ	82	看護臨床科目	助産看護実習Ⅱ	7	
治療援助論Ⅰ	83					

(その2)

(単位:人)

		授業科目	受講者数			授業科目	受講者数
看護 臨床	在宅看護学	在宅看護学総論	83	総合 科目	看護セミナーⅠ	45	
		在宅看護対象論	82		看護セミナーⅡ	46	
		在宅看護援助論	81		看護セミナーⅢ	16	
		在宅看護リエゾン論	10		看護セミナーⅣ	19	
		在宅看護の動向と課題	3		看護セミナーⅤ	81	
		在宅看護実習	80		看護セミナーⅥ	80	
床 科 目	地域看護学	地域看護学総論	83		臨床看護論Ⅰ	7	
		地域の健康と看護	81		臨床看護論Ⅱ	5	
		地域看護援助論	81		臨床看護論Ⅲ	39	
		地域看護の動向と課題	6		臨床看護論Ⅳ	未開講	
		地域看護実習	75		臨床看護論Ⅴ	36	
保健 学校	学校保健	20	臨床看護論Ⅵ		2		
	養護概説	15	母性・助産看護実践論		未開講		
総合 科目		看護研究	80		精神看護実践論	未開講	
		看護と政策	81		急性期看護実践論	6	
		がん看護論	80		慢性期看護実践論	未開講	
		総合看護実習	80		小児看護実践論	2	
		看護実践能力開発実習	80		地域看護実践論	1	
		バイオロジカルナーシング	11		老人看護実践論	未開講	
		治療と看護	4		臨床看護実践論	未開講	
		災害と看護Ⅰ	83	医学と看護の統合	75		
		災害と看護Ⅱ	未開講	最新実践看護講座Ⅰ	未開講		
		看護と文化Ⅰ	96	最新実践看護講座Ⅱ	5		
		看護と文化Ⅱ	5				
		グローバルヘルス	4				
		看護学の動向と課題	7				

○ 社会福祉学部 社会福祉学科

(その1)

(単位:人)

授 業 科 目		受 講 者 数		受 講 者 数	
基 本 科 目	福祉対象入門	74	相 談 援 助 実 践 科 目	精神保健福祉援助技術各論	45
	福祉援助入門	74		面接技法	53
	社会福祉入門演習	74		医療ソーシャルワーク論	36
	社会福祉基礎演習	75		相談援助演習Ⅰ	77
	心理学理論と心理的支援	74		相談援助演習Ⅱ	77
	社会理論と社会システム	74		相談援助演習Ⅲ	72
	現代社会と福祉Ⅰ	75		相談援助演習Ⅳ	71
	現代社会と福祉Ⅱ	75		相談援助実習指導Ⅰ	77
	社会福祉史	70		相談援助実習指導Ⅱ	77
	介護技術	29		相談援助実習指導Ⅲ	71
					相談援助実習
			事例研究法	11	
			実践記録法	13	
			チームアプローチ	6	
			スーパービジョン	11	
社 会 福 祉 制 度 科 目	社会保障論Ⅰ	74	地 域 ・ 国 際 福 祉 科 目	地域福祉論Ⅰ	77
	社会保障論Ⅱ	75		地域福祉論Ⅱ	78
	公的扶助論	77		地域福祉活動	12
	障害者福祉論	79		国際福祉論	未開講
	児童・家庭福祉論	77		コミュニティソーシャルワーク	42
	高齢者福祉論Ⅰ	75		福祉NPO論	63
	高齢者福祉論Ⅱ	78		子育て支援論	未開講
	精神保健福祉論Ⅰ	27		虐待防止論	37
	精神保健福祉論Ⅱ	26		ケアマネジメント論	17
	福祉行財政と福祉計画	71		ケアマネジメント演習	34
	福祉サービスの組織と経営	72		ケアプラン策定法	3
権利擁護論	70	就労支援サービス	70		
更生保護制度	69	精神科リハビリテーション学	27		
保健医療サービス	77	精 神 保 健 福 祉 実 践 科 目	精神保健福祉援助演習	18	
女性福祉論	26		精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	26	
医療福祉論	73		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	18	
			精神保健福祉援助実習Ⅰ	18	
			精神保健福祉援助実習Ⅱ	18	
か ら だ と こ こ ろ の 理 解 科 目	人体の構造と機能及び疾病	78	介 護 福 祉 理 解 科 目	介護の基本Ⅰ	18
	精神医学Ⅰ	28		介護の基本Ⅱ	14
	精神医学Ⅱ	28		介護の基本Ⅲ	23
	精神保健学Ⅰ	28		コミュニケーション技術	18
	精神保健学Ⅱ	26		生活支援技術Ⅰ	18
	発達と老化の理解Ⅰ	27		生活支援技術Ⅱ	18
	発達と老化の理解Ⅱ	26		生活支援技術Ⅲ	14
	認知症の理解Ⅰ	23		生活支援技術Ⅳ	13
	認知症の理解Ⅱ	25		生活支援技術Ⅴ	23
	障害の理解Ⅰ	42		介護過程Ⅰ	18
	障害の理解Ⅱ	35		介護過程Ⅱ	14
こころとからだのしくみⅠ	21				
こころとからだのしくみⅡ	18				
相 談 援 助 基 礎 科 目	相談援助の基盤と専門職	75			
	相談援助の理論と方法Ⅰ	78			
	相談援助の理論と方法Ⅱ	77			
	相談援助の理論と方法Ⅲ	77			
	相談援助と理論と方法Ⅳ	71			
	精神保健福祉援助技術総論	32			

(その2)

(単位:人)

授 業 科 目		受 講 者 数	授 業 科 目		受 講 者 数
	介護過程Ⅲ	13	総 合 科 目	福祉研究法入門	77
	介護過程Ⅳ	22		社会調査の基礎	72
介 護 福 祉 実 践 科 目	介護総合演習Ⅰ	18		社会福祉専門演習Ⅰ	73
	介護総合演習Ⅱ	14		社会福祉専門演習Ⅱ	72
	介護総合演習Ⅲ	22		社会福祉専門演習Ⅲ	69
	介護総合演習Ⅳ	19		社会福祉専門演習Ⅳ	68
	介護実習Ⅰ	18			
	介護実習Ⅱ	13			
	介護実習Ⅲ	22			
	医療的ケアⅠ	23			
	医療的ケアⅡ	19			

○健康栄養学部 健康栄養学科

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数	
基礎科目	健康栄養学基礎	40	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	41	
	健康栄養学応用	49		栄養教育論Ⅱ	42	
社会・環境と健康	地域健康論	42		栄養教育論Ⅲ	42	
	介護論	42		栄養教育論実習Ⅰ	42	
	食と介護	42		栄養教育論実習Ⅱ	42	
	保健医療福祉論	42		学校栄養指導論Ⅰ	7	
	地域医療論	未開講		学校栄養指導論Ⅱ	7	
	公衆衛生学	42		臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ	41
	環境衛生学実習	42			臨床栄養学Ⅱ	42
	健康情報論実習	40			臨床栄養学Ⅲ	42
			臨床実践栄養学		42	
		臨床栄養学実習Ⅰ	42			
人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	生化学Ⅰ	44	臨床栄養学実習Ⅱ	42		
	生化学Ⅱ	40	栄養公衆	公衆栄養学Ⅰ	42	
	生化学実験	41		公衆栄養学Ⅱ	44	
	人体の構造と機能Ⅰ	41		地域公衆栄養学実習	42	
	人体の構造と機能Ⅱ	40	給食経営管理論	給食経営管理論	41	
	臨床医科学	42		給食計画論	41	
	疾病論Ⅰ	42		給食経営管理実習Ⅰ	42	
	疾病論Ⅱ	42		給食経営管理実習Ⅱ	42	
	運動生理学	41	演習	管理栄養士総合演習Ⅰ	42	
	生体科学実験・実習	41		管理栄養士総合演習Ⅱ	41	
食べ物と健康	食品学	40	臨地実習	給食経営管理臨地実習	42	
	食品学実験Ⅰ	40		臨床栄養学臨地実習Ⅰ	42	
	食品学実験Ⅱ	41		臨床栄養学臨地実習Ⅱ	42	
	食材学	40		地域公衆栄養学臨地実習	42	
	食品の栄養素と機能	41		地域実践栄養学臨地実習	14	
	食品衛生学	41		関連科目	生活経営学(生活経済学を含む)	未開講
	食品衛生学実験	41	家族関係論		未開講	
	フードシステム学	22	保育学(実習及び家庭看護を含む)		9	
	調理学	40	衣生活学		未開講	
	調理学実習Ⅰ	40	服飾造形実習Ⅰ		未開講	
	調理学実習Ⅱ	40	服飾造形実習Ⅱ		未開講	
	調理学実習Ⅲ	41	住居学(製図を含む)		未開講	
	調理科学実験	未開講	家庭機械・家庭電気	未開講		
栄養基礎	基礎栄養学	40	その他	企業実習	未開講	
	基礎栄養学実験	41		課題研究	卒業研究	41
栄養学応用	応用栄養学Ⅰ	41				
	応用栄養学Ⅱ	42				
	応用栄養学実習	41				
	ライフステージ栄養学	41				

【 大学院 】(平成29年度)

○看護学研究科看護学専攻<博士前期課程>

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数	
看護 共 通 科 目	看護理論と実践	11	小児 看護 学 領 域	小児看護論	1	
	看護学基盤論	5		小児看護対象論	1	
	看護研究と実践	11		小児看護方法論 I	1	
	看護理論と研究 II	0		小児看護方法論 II	3	
	データ分析方法論	11		小児診断治療学 I	未開講	
	疫学研究方法論	5		小児診断治療学 II	4	
	看護倫理	11		小児看護課題研究	3	
	臨床倫理	5		小児看護学実践演習 I	1	
	フィジカルアセスメント特論	11		小児看護学実践演習 II	3	
	病態生理学	11		小児看護学実践演習 III	3	
	臨床薬理学	11	小児看護学実践演習 IV	1		
	こころの発達	4	小児看護学実践演習 V	3		
	看護サービス管理論	11	小児看護学研究方法 I	0		
	看護マネジメント論	5	小児看護学研究方法 II	0		
	グローバルヘルス論	10	精 神 看 護 学 領 域	精神看護論	1	
	看護コンサルテーション論	11		精神看護対象論	1	
	看護教育論 I	15		精神看護方法論 I	1	
	看護教育論 II	16		精神看護方法論 II	0	
	保健医療政策と経済 I	14		精神看護展開論 I	0	
	保健医療政策と経済 II	16		精神看護展開論 II	0	
最新専門看護実践講座 I	15	精神看護展開論 III		0		
最新専門看護実践講座 II	15	精神看護展開論 IV		0		
看護学の動向と展望	16	精神診断治療学 I		1		
インディペンデントスタディ	0	精神診断治療学 II		未開講		
専 攻 領 域 科 目	がん 看 護 学 領 域	がん看護論	3	家 族 看 護 学 領 域	家族看護論	11
		緩和ケア特論	3		家族看護援助論	11
		がん看護方法論 I	3		家族と病気	4
		がん看護方法論 II	2		家族療法	6
		がん看護方法論 III	2		家族ケアの開発	1
		がん病態生理学	3		家族看護学演習	4
		がん診断治療学	未開講		家族看護課題研究	1
		がん薬理学	5		家族看護学実践演習 I	4
		がん看護課題研究	2		家族看護学実践演習 II	1
		がん看護学実践演習 I	3		家族看護学実践演習 III	1
	がん看護学実践演習 II	2	家族看護学実践演習 IV	0		
	がん看護学実践演習 III	2	看護研究演習 I (家族看護研究演習)	0		
	がん看護学実践演習 IV	2	家族看護学研究方法 II	0		
	がん看護学実践演習 V	2	地 域 看 護 学 領 域	地域看護論	0	
	慢 性 看 護 学 領 域	慢性看護論		0	地域ケアシステム論	0
		慢性看護対象論		0	地域看護展開論 I	0
		慢性看護方法論 I		0	地域看護展開論 II	0
		慢性看護方法論 II		0	看護研究演習 II (地域看護学研究演習)	0
		慢性疾患診断治療学 I		未開講	地域看護課題研究	0
		慢性疾患診断治療学 II		0	地域看護学実践演習 I	0
慢性看護学課題研究		0		地域看護学実践演習 II	0	
慢性看護学実践演習 I		0		地域看護学実践演習 III	0	
慢性看護学実践演習 II		0		地域看護学実践演習 IV	0	
慢性看護学実践演習 III		0	地域看護学研究方法 I	0		
慢性看護学実践演習 IV	0	地域看護学研究方法 II	0			
慢性看護学実践演習 V	0	ク リ テ ィ カ ル ケ ア 看 護 学 領 域	クリティカルケア看護論 I	2		
成人看護学研究方法 I	0		クリティカルケア看護論 II	2		
成人看護学研究方法 II	0		クリティカルケア看護方法論 I	2		
成人看護学研究方法 I	0		クリティカルケア看護方法論 II	1		
成人看護学研究方法 II	0		クリティカルケア看護方法論 III	2		
クリティカルケア看護論 I	2		クリティカルケア看護方法論 IV	1		
クリティカルケア看護論 II	2		クリティカルケア診断治療学 I	3		
クリティカルケア看護方法論 I	2		クリティカルケア診断治療学 II	未開講		
クリティカルケア看護方法論 II	1		クリティカルケア看護課題研究	1		
クリティカルケア看護方法論 III	2		クリティカルケア看護学実践演習 I	2		
クリティカルケア看護方法論 IV	1	クリティカルケア看護学実践演習 II	1			
クリティカルケア看護学実践演習 I	3	クリティカルケア看護学実践演習 III	1			
クリティカルケア看護学実践演習 II	未開講	クリティカルケア看護学実践演習 IV	2			
クリティカルケア看護課題研究	1	クリティカルケア看護学実践演習 V	1			
クリティカルケア看護学実践演習 I	2					
クリティカルケア看護学実践演習 II	1					
クリティカルケア看護学実践演習 III	1					
クリティカルケア看護学実践演習 IV	2					
クリティカルケア看護学実践演習 V	1					

(その2)

専攻領域科目		授業科目	受講者数	専攻領域科目		授業科目	受講者数	
専攻領域科目	在宅看護学領域	在宅看護論	0	看護管理学領域	看護管理論	0		
		在宅看護方法論Ⅰ	4		システム経営管理論	0		
		在宅看護方法論Ⅱ	1		看護管理展開論	0		
		在宅看護方法論Ⅲ	0		看護管理の動向と展望	0		
		在宅ケアシステム論	0		看護管理課題研究	0		
		在宅看護展開論Ⅰ	0		看護管理学実践演習Ⅰ	0		
		在宅看護展開論Ⅱ	0		看護管理学実践演習Ⅱ	0		
		在宅療養診断治療学Ⅰ	未開講		看護管理学実践演習Ⅲ	0		
		在宅療養診断治療学Ⅱ	0		看護研究演習Ⅲ(看護管理学研究演習)	0		
		在宅看護課題研究	0		看護管理学研究方法Ⅱ	0		
		在宅看護学実践演習Ⅰ	0		看護管理学研究方法Ⅱ	0		
		在宅看護学実践演習Ⅱ	0		臨床看護学領域	精神看護ケア研究	0	
		在宅看護学実践演習Ⅲ	0			老人看護ケア研究	5	
		在宅看護学実践演習Ⅳ	0			がん看護ケア研究	2	
	在宅看護学実践演習Ⅴ	0	小児看護ケア研究	0				
	老人看護学領域	老人看護論	0	慢性看護ケア研究		2		
		老人看護対象論	0	クリティカルケア研究		0		
		老人看護方法論	0	臨床看護管理研究		2		
		老人ケアシステム論	0	母性・助産看護ケア研究		0		
		老人看護展開論Ⅰ	0	臨床看護学専門演習		2		
		老年病診断治療学Ⅱ	0	臨床看護学研究方法Ⅰ		2		
		老年病診断治療学Ⅰ	未開講	臨床看護学研究方法Ⅱ		2		
		老人看護課題研究	0	地域保健学領域		地域ケア研究	5	
		老人看護学実践演習Ⅰ	0			学校保健研究	1	
		老人看護学実践演習Ⅱ	0			家族ケア研究	5	
		老人看護学実践演習Ⅲ	0		在宅ケア研究	5		
老人看護学実践演習Ⅳ		0	保健学研究		0			
老人看護学実践演習Ⅴ	0	地域保健学専門演習	3					
老人看護学実践演習Ⅵ	0	地域保健学研究方法Ⅰ	3					
老人看護学実践演習Ⅶ	0	地域保健学研究方法Ⅱ	3					



○看護学研究科看護学専攻<博士後期課程>

(単位:人)

授業科目名		受講者数	授業科目名		受講者数
専攻共通科目	看護理論学	5	専攻専門科目	精神看護学Ⅰ	0
	看護学研究方法Ⅰ	5		精神看護学Ⅱ	0
	看護学研究方法Ⅱ	5		家族看護学Ⅰ	0
	看護倫理学	5		家族看護学Ⅱ	0
	解釈的看護学	5		地域看護学Ⅰ	0
	インペーション看護学	5		地域看護学Ⅱ	0
	国際看護学	5		学校保健学	0
	医学研究方法論	2		看護病態生理学Ⅰ	0
				看護病態生理学Ⅱ	0
専攻専門科目	小児看護学Ⅰ	0	看護経営管理学Ⅰ	0	
	小児看護学Ⅱ	1			
	成人看護学Ⅰ	0	導 研 究 科 目 指	看護学特別研究Ⅰ	5
	成人看護学Ⅱ	0		看護学特別研究Ⅱ	6
	老人看護学Ⅰ	0		看護学特別研究Ⅲ	3
	老人看護学Ⅱ	0			
	がん看護学Ⅰ	0			
がん看護学Ⅱ	1				

○看護学研究科共同災害看護学専攻<博士課程>

( )内は本学学生数

(単位:人)

授業科目名		受講者数	授業科目名		受講者数	
看護学の学問基盤に 関する科目群	看護研究方法	10(3)	関する看護学 科目群に	災害看護活動論Ⅰ	10(3)	
	理論看護学Ⅰ	10(3)		災害看護活動論Ⅱ	10(3)	
	理論看護学Ⅱ	11(2)		災害看護活動論Ⅲ	11(3)	
	看護倫理	0		災害看護学特論	11(2)	
	看護情報統計学	5(3)		災害看護グローバルコーディネーション論	11(2)	
	保健学的・疫学的研究法	2(1)		災害国際活動論	5(2)	
	看護研究方法論Ⅰ(国際比較研究)	1(0)		災害看護管理・指揮論	8(2)	
	看護研究方法論Ⅱ(エスノグラフィ)	5(1)		災害看護倫理	11(2)	
	看護研究法論Ⅲ (ケーススタディ・アクションリサーチ)	3(1)		災害看護理論構築	11(2)	
	看護研究方法論Ⅳ (グラウンデッドセオリー)	10(2)		災害看護学 演習	災害看護活動論演習Ⅰ	11(3)
	看護研究方法論Ⅴ(現象学的研究方法)	4(3)			災害看護活動論演習Ⅱ	11(3)
	看護研究方法論Ⅵ (介入研究・尺度開発含)	1(1)			災害時専門職連携演習(災害IP演習)	4(0)
					災害看護グローバルリーダー演習	3(0)
					インディペンデントスタディ(演習)A	3(3)
災害看護学 グローバル に 必要 な 学 際 的 な 科 目 群	危機管理論	8(1)	インディペンデントスタディ(演習)B	2(0)		
	環境防災学	6(2)	インディペンデントスタディ(演習)C	2(0)		
	グローバルヘルスと政策	7(1)	インディペンデントスタディ(演習)D	2(0)		
	専門職連携実践論	6(1)	インディペンデントスタディ(演習)E	2(0)		
	災害医療学	10(1)	災害看護学 実習	災害看護学実習Ⅰ	7(1)	
	災害情報学	2(0)		災害看護学実習Ⅱ	8(1)	
	災害心理学	2(1)		インディペンデントスタディ(実習)A	1(1)	
	災害と文化	2(1)		インディペンデントスタディ(実習)B	2(0)	
	災害社会学	3(1)		インディペンデントスタディ(実習)C	3(0)	
	災害福祉学	3(1)	インディペンデントスタディ(実習)D	1(0)		
	Professional writing	2(0)	インディペンデントスタディ(実習)E	2(0)		
	Proposal writing (Research proposal writing skill)	4(0)	援る学 科 目 に 関 する 研 究 群 支 寸 護	実践課題レポート	11(1)	
	Program writing (Program Proposal writing skill)	7(3)		災害看護研究デベロップメント	11(2)	
		博士論文		0		

○人間生活学研究科人間生活学専攻<博士前期課程>

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数	
領域専門基礎	研究と倫理	12	社会福祉学領域	高介護者・福祉	介護福祉論	未開講
	研究方法論Ⅰ	7		介護福祉演習	9	
	研究方法論Ⅱ	12		高齢者福祉論	未開講	
	研究方法論Ⅲ	6		障害者福祉論	11	
	データ解析論	10		精神保健福祉論	未開講	
	ジェンダー論	10		精神科ソーシャルワーク論	10	
	環境解析論	3		児童福祉論	6	
	地域スポーツ論	3		児童福祉演習	未開講	
教育学特論	未開講	合人文間文化	地域文化論Ⅰ	未開講		
栄養・生活学領域	食物科学	食品科学論Ⅰ	未開講	地域文化論Ⅱ	7	
		食品科学論Ⅱ	5	地域文化論Ⅲ	5	
		食物科学論	未開講	日本文化	日本文化論Ⅰ	0
		食物科学実践演習	7		日本文化論Ⅱ	未開講
		環境生態論	未開講		日本文化論Ⅲ	1
	人間栄養学	人間栄養論Ⅰ	6	中国文化論	未開講	
		人間栄養論Ⅱ	未開講	英語文化	英語文化論Ⅰ	未開講
		健康動態論	4		英語文化論Ⅱ	1
		栄養・生活統計論	0		英語文化論Ⅲ	0
		栄養疫学論	未開講	国際日本学	未開講	
生活学	栄養・生活特論Ⅰ	3	課題研究演習	課題研究演習	7	
	栄養・生活特論Ⅱ	4				
社会福祉学領域	福祉専門基礎	社会福祉原論Ⅰ	未開講			
		社会福祉原論Ⅱ	8			
		ソーシャルワーク論	8			
		社会保障論	未開講			
		福祉行財政論	11			
		地域福祉論	未開講			
		地域福祉ソーシャルワーク演習	9			
		国際福祉論	未開講			
		国際福祉演習	5			

○人間生活学研究科人間生活学専攻<博士後期課程>

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数	
研究支援科目	専攻科目共	居住文化論	0	研究指導科目	栄養・生活学特別研究Ⅰ	0
		表象・メディア論	0		栄養・生活学特別研究Ⅱ	1
		言語・コミュニケーション論	0		栄養・生活学特別研究Ⅲ	1
	専攻専門科目	地球環境解析学	0		社会福祉学特別研究Ⅰ	1
		環境生態学	0		社会福祉学特別研究Ⅱ	2
		居住環境学	0		社会福祉学特別研究Ⅲ	1
		人間栄養学	0			
		食品機能学	0			
		健康動態学	0			
		介護福祉学	1			
		障害者福祉学	1			
		児童・家族福祉学	0			
		地域福祉学	0			
		国際福祉政策学	1			
社会福祉計画論	0					

※「未開講」・・・隔年開講などにより年度当初から未開講科目であったもの

※「0」・・・年度当初開講予定科目で、院生がいらないなどの理由で開講されなかったもの

### 3 教員免許及び国家資格取得の状況

#### (1) 教員免許申請状況(平成30年3月31日現在)

(単位:人)

学 部	学 科	種 類	教 科	申請者数
文化学部	文化学科	中一種 高一種	国語	6
		高一種	国語	0
		中一種 高一種	英語	10
		高一種	英語	0
看護学部	看護学科	養護一種	—	16
健康栄養学部	健康栄養学科	中一種 高一種	家庭	4
		高一種	家庭	0
		栄養一種	—	2
合 計				38

#### (2) 国家試験合格状況

(単位:人)

国家資格	受 験 日	区 分	受 験 者 数	合 格 者 数	合 格 率
保 健 師	平成30年2月16日	新 卒	73	68	93.2%
		既 卒	1	0	0.0%
看 護 師	平成30年2月18日	新 卒	80	80	100.0%
		既 卒	0	0	—
社会福祉士	平成30年2月4日	新 卒	67	51	76.1%
		既 卒	30	10	33.3%
精神保健福祉士	平成30年2月3日 平成30年2月4日	新 卒	18	18	100.0%
		既 卒	0	0	—
管理栄養士	平成30年3月4日	新 卒	41	41	100.0%
		既 卒	不明	0	—
助産師	平成30年2月15日	新 卒	7	7	100.0%
		既 卒	2	2	100.0%

#### 4 学位及び大学賞・学長賞等の授与状況

##### (1) 学位授与状況

###### ○博士

(単位:人)

研究科名	博士	
	平成29年度	累計
看護学研究科(博士後期課程)	3	26
人間生活学研究科(博士後期課程)	2	7
健康生活科学研究科健康生活科学専攻(博士後期課程)	-	50
合計	5	83

###### ○修士

研究科名	修士	
	平成29年度	累計
看護学研究科(博士前期課程)	10	246
人間生活学研究科(博士前期課程)	5	152
合計	15	398

##### 【学位授与者一覧(平成29年度)】

###### ○博士

授与年月日	学位の種類	氏名	論文名
平成29年9月25日	博士(看護学)	渡邊 美保	高齢者のリロケーションを促進する看護介入
平成30年3月20日	博士(看護学)	新田 和子	リフレクションを支援する看護師の方略に関する研究
平成30年3月20日	博士(看護学)	井上 直子	慢性疾患患者の患者教育を行う看護師のコンピテンシーに関する研究
平成30年3月20日	博士(生活科学)	古川 智恵	低位前方切除術および一時的回腸人工肛門造設術を受けた患者の低栄養と関連要因の検討
平成30年3月20日	博士(社会福祉学)	朝比奈 寛正	アルコール関連問題における専門職とプロシューマーによる協働 ー精神保健福祉士の視点からー

###### ○修士

授与年月日	学位の種類	氏名	論文名
平成30年3月20日	修士(看護学)	伊藤 智郷	第一子を迎えた夫婦が発揮するしなやかさ
平成30年3月20日	修士(看護学)	岩崎 美幸	看護師長のマネジメントと看護師の職務満足
平成30年3月20日	修士(看護学)	大崎 杏奈	人工呼吸器装着患者に対するICU看護師のケアリング行動

授与年月日	学位の種類	氏名	論文名
平成30年3月20日	修士(看護学)	関口 貴子	先天性心疾患をもつ幼児期にある子どものセルフケアを育む母親の関わり
平成30年3月20日	修士(看護学)	高橋 真紀子	地域ケア会議における保健師のファシリテーション
平成30年3月20日	修士(看護学)	田原 佳奈	医療処置が必要な子どもをケアする母親のマネジメントを支援する看護ケア
平成30年3月20日	修士(看護学)	弘田 智美	女性生殖器がん患者の術後補助化学療法中における対処
平成30年3月20日	修士(看護学)	町田 麗子	在宅で療養している子どもの経管栄養導入に対する親の意思決定
平成30年3月20日	修士(看護学)	松森 美和	救命救急センターICUにおける看護師の臨床判断
平成30年3月20日	修士(看護学)	安田 有希	青年期の小児がん経験者のTransition
平成30年3月20日	修士 (社会福祉学)	吉岡 真美	障害者支援施設入所(利用者)者の財産権等に関する権利擁護活動の一考察ー知的障害者の家族による引き出し要求をめぐるー
平成30年3月20日	修士 (社会福祉学)	伊藤 創平	災害ボランティアの固有性ー足湯ボランティアを導きの糸としてー
平成30年3月20日	修士(学術)	萩原 賢二	統合失調症患者の歩行の特徴について～健常人との歩行の比較、及び自己感と歩行能力・足底触圧覚・姿勢制御能力の関連性～
平成30年3月20日	修士 (社会福祉学)	樋口 京子	福祉的就労における人間発達と生活を豊かにする視点の構築について
平成30年3月20日	修士 (社会福祉学)	吉永 幸代	生活支援サービスの担い手としての高齢者ボランティアに関する一考察

(2) 大学賞・学長賞授与状況

【大学賞】

学部・研究科	学 科・専 攻	学年	受賞者数	功 績
社会福祉学部	社会福祉学科	4	1	学業成績、卒業論文の成果が特に優れており、当該年度の社会福祉士国家試験において、卒業研究で追求した内容が設問の選択肢に取り上げられるといったように、課題性と重要性を含んでいる素晴らしいものであった。 また、社会活動面においても、中心メンバーとして積極的に取り組み、それらの行いは、本学の発展のために大きく寄与した。
看護学研究科	看護学専攻 博士後期課程	3	1	学業成績、博士論文の成果が特に優れていた。特に、学術的にも臨床的にも有意義で独創的な研究成果を導いた博士論文として高く評価され、今後の看護実践の質向上、看護管理学の発展に多大な貢献を果たすものと高く評価された。

【学長賞】

学 部	学 科	学年	受賞者数	功 績
文化学部	文化学科	3	4	第68回四国地区大学総合体育大会で、準硬式野球の部において優勝し、他のサークル活動の模範となる大変優秀な成績を収め、本学の存在を大きくアピールした。
		2	2	
		1	1	
看護学部	看護学科	3	1	
社会福祉学部	社会福祉学科	4	4	
		3	1	
		2	2	
		1	3	
健康栄養学部	健康栄養学科	3	1	
		1	1	
文化学部	文化学科	4	1	公立大学全国学生大会(LINKtopos)の全国委員の一員として、学内のみならず全国規模で、地域をよりよくするためのネットワーク作りを初めとする様々な活動に熱心に取り組み、地域社会の未来のために尽力した。また学内LINKtoposの立ち上げも担い、立志社中団体のみならず、エスコーターズ等の学内の地域活動団体のネットワーク作りにも尽力した。
文化学部	文化学科	4	1	「高知県立大学薬物乱用防止啓発サークルダメ。ゼッタイ」において中心となり、県民への啓発活動に真摯に取り組み、本学の学生活動や地域貢献に大きく貢献した。薬物乱用防止教室では、受講者に合わせた講習を実施し、学校や他団体より高い評価を得るなど、本学の名誉を高めた。
文化学部	文化学科	3	6	東洋町民具展示会「みんなの民具in東洋町」への参画、香美市物部町「旧大柘高校民俗資料一般公開」における公開調査への参画等、地域の課題解決に取り組む課外活動と社会活動に積極的に参画し、地域社会の活性化に寄与した。活動については様々なメディアに取り上げられるなど注目されており、活動の関係者の方々からも高い評価を得ている。
看護学部	看護学科	4	5	「健援隊」とおして、看護学の専門知識を分かりやすく県民に伝え、その健康の保持増進に寄与する取り組みを積極的に実施した。活動の継続性を保つため、活動の資金を企業からの広告収入で賄ったり、高知工科大学の学生団体と協同し活動を行うことで他団体とのネットワークを構築するなど、組織の維持発展に努め、後輩学生の模範となった。
看護学部	看護学科	4	3	「いけいけサロン活動」を平成27年度に立ち上げ、池地区に住民が立ち寄れる社会資源となる地域サロンを作り出した。看護学を学ぶ学生と地域住民との共同活動を発展させ、健康を守る地域づくりに、継続的・積極的に取り組んだ。また、組織としての多様性を受け入れ、メンバーがのびのびと活動できるチームづくりに貢献した。

学 部	学 科	学年	受賞者数	功 績
社会福祉学部	社会福祉学科	4	3	高知県内各市町村の地域福祉計画や集落活動センターを根拠・拠点とする地域福祉活動・地域活動に参画しながら、住民主体の地域づくりに積極的に協力した。住民からの聞き取り等を通じて地域の課題を抽出し、特にニーズの高い課題の解決に向けて提案や実践に取り組み、地域住民や社会福祉協議会、行政の方から高い評価を受けた。
看護学部	看護学科	4	1	セクシュアル・マイノリティ支援団体「ソーシャルアイ・コナツハット」の設立及び活動に意欲的に取り組み、本学の学生生活や地域社会の活性化に大きく貢献した。イベント開催時には企画書の作成、当日の配布資料やビデオの作成、当日の運営など、他の学生スタッフの総括等に尽力し、学生メンバーの中で中心的な役割を担った。
社会福祉学部	社会福祉学科		4	
健康栄養学部	健康栄養学科	4	1	1回生時からボランティア活動を精力的に行い、3回生時には高知県学生献血クロス倶楽部リーダーとして倶楽部の活動をまとめ上げた。また、中国四国学生献血推進協議会代表委員会副委員長、全国学生献血推進実行委員会副委員長として、献血の普及、啓発活動に貢献した。
健康栄養学部	健康栄養学科	4	3	公益社団法人日本糖尿病協会が主催する小児糖尿病サマーキャンプに2回生から参加し、3回生では初めて調理実習の企画から運営を中心にを行い、4回生では勉強会や3回生の企画・運営のサポートを積極的に行った。このように主体的な活動を行い、小児糖尿病サマーキャンプの運営に貢献した。
健康栄養学部	健康栄養学科	4	5	第2期COME☆RISHメンバーとして、活動のマニュアル化を行い、活動を組織化し、大野見エコロジーファーマーズ、中土佐町との連携体制を作り上げた。また、さらなるレシピ集の企画・作成、子どもたちへの食育教室運営等を通じて大野見エコ米を熱心にPRし、地域に貢献した。

(3)サーティフィケーション授与状況

職 名	氏 名	内 容	招 聘 者
北京聯合大学 旅游学院学生	王 偉媛	平成29年4月1日～平成30年3月31日 高知県立大学での交換留学プログラム修了	高知県立大学 (国際交流センター)
	白 欣雨		
文藻外語大学学生	徐 麗恵	平成29年4月1日～平成30年3月31日 高知県立大学での交換留学プログラム修了	高知県立大学 (国際交流センター)
	莊 景雯		
ヴェネチア カ・フォスカリ大学学生	Andrea Speciale	平成29年4月2日～平成29年6月15日 高知県立大学での短期研修プログラム修了	高知県立大学 (国際交流センター)
	Antonio Gennarelli		
	Martina de Laurentis		
	Chiara Longato		
	Fabio Bosco		
	Bruno Fama		
	Gianmarco Fiorentini		
	Davide Baldassin		
	Giulia Buora		
Emanuele Ercole Carloni			
アンダラス大学学生	Mutia Ilham	平成29年10月2日～10月31日 高知県立大学での短期研修プログラム修了	高知県立大学 (国際交流センター)
	Muhammad Ilham Zul		
ガジャマダ大学学生	Amalia Ratna Alfandary	平成29年10月22日～10月27日 高知県立大学での短期研修プログラム修了	高知県立大学 (看護学部)
	Vania Elysia Septiani		
	Kintan Ayu Kartika Putri		
	Adhyka Audina		
	Atikah Iffah Syakira		
エルムズカレッジ学生	Amanda Nowak	平成29年5月27日～平成29年6月9日 高知県立大学での短期研修プログラム修了	高知県立大学 (国際交流センター)
	Kristina Davignon		
	Joshua Diaz		
	Tiara Weems		
	William Cajas		
	Brianna Belgrave		
木浦大学校学生	金 珉基	平成30年1月28日～平成30年2月2日 高知県立大学での短期研修プログラム修了	高知県立大学 (国際交流センター)
	牟 俊衡		
	尹 慧潏		
	林 歌乙		
	朴 廷仁		
	金 訓鋌		
	金 旻貞		
慶南科学技術大学校学生	俞 成胤	平成30年1月28日～平成30年2月2日 高知県立大学での短期研修プログラム修了	高知県立大学 (国際交流センター)
	金 銀智		
	李 侑俊		
	林 泰健		
	金 慶根		
	朴 昌熙		
	姜 錫允		
	金 昭炫		
	河 垠朱		
	韓 智宣		



## 5 SD・FD活動実施状況(平成29年度)

### (1)全学SD・FD

区分	内容	講師・担当者	年月日
S D	SD義務化の背景と教職協働	一般社団法人 公立大学協会 事務局長 中田晃氏	H29.6.30
F D	授業評価アンケート分析結果における課題の明確化とPDCAサイクルへの活用	教育実践研究オフィスF 代表 鍋島史一氏	H29.9.29
	学習者の学習意欲を高める授業設計を行うためのインストラクショナル・デザイン(ID)入門	愛媛大学 総合情報メディアセンター教育デザイン室長 兼 教育・学生支援機構教育企画室講師 仲道雅輝氏	H29.10.20

### (2)部局別SD・FD

部 署	内 容	講師・担当者	年月日
文 化 学 部	基礎演習に関する情報の共有と意見交換(相互研修型)	なし	H29.6.12
	夜間主卒論の指導体制について(相互研修型)	なし	H29.10.23
	「学生に、これだけは守っておくと指導するポイント」とWiFi(WPA2)の脆弱性について(総合情報センター運営委員会主催)	風間裕准教授	H30.1.22
看 護 学 部	看護教育における合理的配慮と支援	高知大学 学生総合支援センター 特別修学支援室 室長 松本秀彦特任准教授	H29.6.24
	臨地実習における学習支援を考える	大川宣容教授	H29.10.5 H29.11.13 H29.11.15
	これからの看護教育の方向性	中山洋子特任教授	H29.12.2
	臨地実習における学生の主体的な学びを言語化するレポート作成の指導	藤田佐和教授、瓜生浩子教授	H29.12.13
	看護学教育の実践力向上	内川洋子准教授	H29.12.21 H29.12.22 H30.2.7 H30.2.8
	After Submission	池田光徳教授	H30.1.4
	看護を語る会(相互研修型)	発表者17組(個人6組、グループ11組)	H30.3.27
社 会 福 祉 学 部	中華人民共和国における高齢化の現状とその対策についてーJACA中国の支援に参加して	三好弥生准教授	H29.5.29
	平成29年度科研費申請に関する変更について	教育研究戦略課 公文康敬主査	H29.6.26
	平成29年度科研費申請書類の変更点や記入方法について	教育研究戦略課 公文康敬主査	H29.8.28
	研究テーマの発展と進化について	杉原俊二教授	H29.8.28
	新任教員研究による研究・教育・実践発表	横井輝夫教授	H29.10.23
	情報セキュリティ研修「情報セキュリティに関する基礎的な事柄について」(総合情報センター運営委員会主催)	風間裕准教授	H29.12.18
社 会 福 祉 学 部	SPOD研修参加報告「授業デザインについて」	片岡妙子助教	H29.12.25
	社会福祉教育セミナー参加報告	加藤由衣助教	H30.2.27
養 健 学 康 部 栄	地域学実習Ⅰ及びⅡの活動報告	渡邊浩幸教授、島田郁子講師、田中守助教、沼田聡助教	H29.6.26

(2) 部局別SD・FD

部 署	内 容	講師・担当者	年月日
部 署	内 容	講師・担当者	年月日
科 研 学 看 護 研 究	After Submission	池田光徳教授	H30.1.4
セ 地 ン 研 域 タ 研 教 ク 究 育	ネットワークの脆弱性とセキュリティ対応について	一色健司教授	H30.3.20
総 合 情 報 セ ン タ ー	第65回中国四国地区大学図書館協議会総会	(参加者)職員1人	H29.4.20
	高知学術情報ネットワーク連絡会総会	(参加者)教員2人、職員2人	H29.8.25
	平成29年度高知県ネットワークセキュリティ連絡協議会総会	(参加者)教員1人、職員1人	H29.7.20
	第7回大学図書館学生協働交流シンポジウム	(参加者)図書館職員1人	H29.9.5～ H29.9.6
	平成29年度著作権セミナー	(参加者)図書館職員1人	H29.9.8
	公立大学協会図書館協議会中国四国地区協議会平成29年度職員研修会	(参加者)図書館職員1人	H29.9.14～ H29.9.15
	H29年度公立大学協会情報部会出席	(参加者)職員1人	H29.10.6～ H29.10.7
	レファレンス・サービス研修-科学技術情報を中心に-	(参加者)職員1人	H29.10.19～ H29.10.20
	図書館サービス中級研修(選定・除籍)	(参加者)職員2人	H29.10.27
	第19回図書館総合展	(参加者)職員2人	H29.11.7～ H29.11.9
事務局	資料および思考の整理	一般社団法人 日本経営協会 専任講師 三枝玲子氏	H29.12.1

### (3)国内・国外研修 研修員派遣

所属	職位	氏名	研修テーマ	研修期間	主たる研修場所
文化学部	准教授	根岸 忠	台湾における外国人労働者の受け入れをめぐる法規制と法的保護の相克－看護労働者・介護労働者に焦点をあてて	H29.10.1～H30.3.31	国立政治大學法學院(台湾)
看護学部	准教授	川上 理子	在宅移行期のケースマネジメント	H30.1.8～H30.3.10	Samuel Merritt University(アメリカ)

## 5 学 生

### 1 行事实績 (平成 29 年度)

#### 平成29年

4月 4日(火)	入学式
4月 4日(火)~28日(金)	保証人への成績通知に関する申込期間(前期)
4月 5日(水)	(1)新入生ガイダンス (2)在学生ガイダンス (2)学生健康診断 場所(池キャンパス) [午前:池キャンパス4回生] [午後:池キャンパス1回生]
4月 6日(木)	(1)新入生ガイダンス (2)在学生ガイダンス (2)学生健康診断 場所(池キャンパス) [午前:池キャンパス2回生] [午後:池キャンパス3回生]
4月 7日(金)	(1)新入生ガイダンス (2)学生健康診断 場所(永国寺キャンパス) [午前:文化学部(1・2回生)] [午後:文化学部(3・4回生、夜間主)] (3)池キャンパス2・3・4回生 前期授業開始(専門教育科目のみ)
4月10日(月)	前期授業開始
4月17日(月)	受講登録締切
4月21日(金)	創立記念日
4月24日(月)~5月1日(月)	前期受講登録変更期間
5月15日(月)	前期定例学生大会(午後)
7月18日(火)	金曜日授業日
7月30日(日)	オープンキャンパス
8月 1日(火)~7日(月)	補講・試験期間
8月 8日(火)~9月16日(土)	夏季休業期間
9月 1日(金)	前期成績提出締切(集中講義を除く)
9月 9日(土)~10日(日)	大学院第1次入学試験
9月17日(日)~30日(土)	集中講義期間
9月25日(月)	9月卒業式・学位授与式
10月 2日(月)	後期授業開始
10月 2日(月)~31日(火)	保証人への成績通知に関する申込期間(後期)
10月10日(火)~17日(火)	後期受講登録変更期間
10月28日(土)~29日(日)	大学祭
10月30日(火)	前期集中講義成績提出締切
11月18日(土)~19日(日)	推薦入学試験・社会人入学試験・3年次編入学試験
11月29日(水)	後期定例学生大会(午後)
12月16日(土)~24日(日)	集中講義期間
12月25日(月)~1月4日(木)	冬季休業期間

#### 平成30年

1月 5日(金)	授業開始
1月 9日(火)	月曜の授業
1月12日(金)	休講(大学入試センター試験準備のため)
1月13日(土)~14日(日)	大学入試センター試験
1月27日(土)~28日(日)	大学院第2次入学試験
2月13日(火)~19日(月)	補講・試験期間
2月20日(火)~3月20日(火)	集中講義期間
2月23日(金)	後期成績提出締切(4回生)
2月25日(日)~26日(月)	一般入学試験(前期日程)・私費外国人留学生入学試験

3月 5日(月)	卒業判定会議、後期成績提出締切(1～3回生) (集中講義を除く)
3月12日(月)	一般入学試験(後期日程)・社会人入学試験
3月20日(火)	卒業式・修了式
3月21日(水)～31日(土)	春季休業期間
3月23日(金)	後期集中講義成績提出締切(1～3回生)

## 2 入学の状況

### (1)入学の状況(平成29年度)

(単位:人)

学部・学科名	区分	募集人員	志願者数		志願倍率	受験者数		受験倍率	合格者数		合格倍率	追加		入学者数		
			全体	(県内)	b/a	全体	(県内)	c/a	全体	(県内)	c/d	全体	(県内)	全体	(県内)	
文化学部	文化学科 [言語文化系/ 地域文化創造系]	推薦	県内	30	43 (43)	1.4	43	(43)	1.4	31	(31)	1.4			31	(31)
			全国	8	20 (0)	2.5	20	(0)	2.5	8	(0)	2.5			8	(0)
		個別	前期	72	428 (54)	5.9	375	(50)	5.2	106	(11)	3.5	0	(0)	74	(8)
			後期	10	198 (57)	19.8	97	(32)	9.7	15	(1)	6.5	0	(0)	12	(1)
		社会人	若干名	2	(2)	-	1	(1)	-	1	(1)	1.0	0	(0)	1	(1)
		私費外国人留学生	若干名	5		-	4		-	1		4.0			1	
		1年次計	120	696 (156)	5.8	540	(126)	4.5	162	(44)	3.3	0	(0)	127	(41)	
	3年次編入	5	2 (0)	0.4	1	(0)	0.2	1	(0)	1.0	0	(0)	0	(0)		
	合計	125	698 (156)	5.6	541	(126)	4.3	163	(44)	3.3	0	(0)	127	(41)		
	文化学科 [文化総合系 (夜間主コース)]	推薦	県内	10	4 (4)	0.4	4	(4)	0.4	4	(4)	1.0			4	(4)
			社会人A	10	13 (8)	1.3	11	(7)	1.1	7	(3)	1.6	0	(0)	7	(3)
			社会人B	10	43 (18)	4.3	31	(15)	3.1	20	(9)	1.6	0	(0)	19	(9)
		1年次計	30	60 (30)	2.0	46	(26)	1.5	31	(16)	1.5	0	(0)	30	(16)	
		3年次編入	3	6 (5)	2.0	6	(5)	2.0	4	(3)	1.5	0	(0)	4	(3)	
合計 (1年次計)		33	66 (35)	2.0	52	(31)	1.6	35	(19)	1.5	0	(0)	34	(19)		
看護学部	看護学科	推薦	県内	22	43 (43)	2.0	43	(43)	2.0	22	(22)	2.0			22	(22)
		個別	前期	52	248 (45)	4.8	220	(45)	4.2	57	(16)	3.9	0	(0)	53	(15)
			後期	6	245 (45)	40.8	125	(30)	20.8	7	(0)	17.9	0	(0)	6	(0)
		社会人	若干名	3	(3)	-	2	(2)	-	1	(1)	2.0	0	(0)	1	(1)
		私費外国人留学生	若干名	1		-	0		-	0		-			0	
		合計 (1年次計)	80	540 (136)	6.8	390	(120)	4.9	87	(39)	4.5	0	(0)	82	(38)	
社会福祉学部	社会福祉学科	推薦	県内	20	27 (27)	1.4	27	(27)	1.4	20	(20)	1.4			20	(20)
			全国	10	30 (1)	3.0	30	(1)	3.0	10	(1)	3.0			10	(1)
		個別	前期	35	94 (22)	2.7	91	(22)	2.6	40	(11)	2.3	0	(0)	33	(11)
			後期	5	68 (20)	13.6	36	(8)	7.2	8	(1)	4.5	0	(0)	8	(1)
		社会人	若干名	3	(3)	-	3	(3)	-	2	(2)	1.5	0	(0)	2	(2)
		私費外国人留学生	若干名	3		-	2		-	2		1.0			1	
合計 (1年次計)	70	225 (73)	3.2	189	(61)	2.7	82	(35)	2.3	0	(0)	74	(35)			
健康栄養学部	健康栄養学科	推薦	県内	10	20 (20)	2.0	20	(20)	2.0	10	(10)	2.0			10	(10)
			全国	5	39 (0)	7.8	39	(0)	7.8	5	(0)	7.8			5	(0)
		個別	前期	25	73 (8)	2.9	67	(7)	2.7	28	(1)	2.4	0	(0)	23	(1)
			後期	5	68 (20)	13.6	36	(8)	7.2	8	(1)	4.5	0	(0)	8	(1)
		社会人	若干名	3	(2)	-	3	(2)	-	1	(0)	3.0	0	(0)	1	(0)
		私費外国人留学生	若干名	2		-	2		-	1		2.0			1	
合計 (1年次計)	40	137 (30)	3.4	131	(29)	3.3	45	(11)	2.9	0	(0)	40	(11)			
学部計 (夜間主を除く)	推薦	県内	82	133 (133)	1.6	133	(133)	1.6	83	(83)	1.6			83	(83)	
		全国	23	89 (1)	3.9	89	(1)	3.9	23	(1)	3.9			23	(1)	
	個別	前期	184	843 (129)	4.6	753	(124)	4.1	231	(39)	3.3	0	(0)	183	(35)	
		後期	21	511 (122)	24.3	258	(70)	12.3	30	(2)	8.6	0	(0)	26	(2)	
	社会人	若干名	11	(10)	-	9	(8)	-	5	(4)	1.8	0	(0)	5	(4)	
	私費外国人留学生	若干名	11		-	8		-	4		2.0			3		
	1年次計	310	1,598 (395)	5.2	1,250	(336)	4.0	376	(129)	3.3	0	(0)	323	(125)		
	3年次編入計	5	2 (0)	0.4	1	(0)	0.2	1	(0)	1.0	0	(0)	0	(0)		
総合計	315	1,600 (395)	5.1	1,251	(336)	4.0	377	(129)	3.3	0	(0)	323	(125)			
学部総合計 (夜間主も含む)	1年次 総合計	340	1,658 (425)	4.9	1,296	(362)	3.8	407	(145)	3.2	0	(0)	353	(141)		
	3年次編入 総合計	8	8 (5)	1.0	7	(5)	0.9	5	(3)	1.4	0	(0)	4	(3)		
	総合計	348	1,666 (430)	4.8	1,303	(367)	3.7	412	(148)	3.2	0	(0)	357	(144)		
	看護学研究科	20	24 (15)	1.2	24	(15)	1.2	24	(15)	1.0	0	(0)	24	(15)		
人間生活学研究科	21	15 (12)	0.7	15	(12)	0.7	13	(10)	1.2	0	(0)	13	(10)			
研究科計	41	39 (27)	1.0	39	(27)	1.0	37	(25)	1.1	0	(0)	37	(25)			

## (2) 出身地別入学状況(平成29年度)

## 【学部】

## ○一般

(単位:人)

学部	文化学部		看護学部		社会福祉学部		健康栄養	合計		
学科	文化		看護		社会福祉		健康栄養			
区分	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	前期	後期	計
北海道		1						0	1	1
青森								0	0	0
岩手								0	0	0
宮城								0	0	0
秋田	1							1	0	1
山形	1							1	0	1
福島								0	0	0
茨城								0	0	0
栃木							1	1	0	1
群馬	1			1				1	1	2
埼玉	1	1						1	1	2
千葉	1							1	0	1
東京						1		0	1	1
神奈川								0	0	0
新潟								0	0	0
富山	1							1	0	1
石川								0	0	0
福井	1		1					2	0	2
山梨								0	0	0
長野	2				1			3	0	3
岐阜	1	1	1					2	1	3
静岡	2	1					1	3	1	4
愛知	1				1	1	1	3	1	4
三重	6						1	7	0	7
滋賀		1						0	1	1
京都	5		2					7	0	7
大阪	2		3					5	0	5
兵庫	6	2	7	1		1	2	15	4	19
奈良					1		1	2	0	2
和歌山	5		3				1	9	0	9
鳥取	1		1		1			3	0	3
島根	2		1		1			4	0	4
岡山	2		2	2	3	1		7	3	10
広島	6	2	5		1		1	13	2	15
山口	2			1				2	1	3
徳島	4		3		2		4	13	0	13
香川	6	1	3		2		3	14	1	15
愛媛	6		4	1	5	1	1	16	2	18
高知	8	1	15		11	1	1	35	2	37
福岡		1			1			1	1	2
佐賀			1					1	0	1
長崎								0	0	0
熊本							1	1	0	1
大分			1		2	1		3	1	4
宮崎						1	1	1	1	2
鹿児島							1	1	0	1
沖縄					1		2	3	0	3
合計	74	12	53	6	33	8	23	183	26	209

○推 薦

(単位:人)

学部	文化		看護	社会福祉	健康栄養	合 計
学科	文化学科 [言語文化系/地域 文化創造系]	文化学科 [文化総合系(夜間 主コース)]	看 護	社会 福祉	健康 栄養	
愛知				1		1
大阪					1	1
兵庫	1					1
和歌山	1					1
島根	1				2	3
岡山				2		2
徳島	1			2		3
香川				1		1
愛媛	3			1		4
高知	31	4	22	21	10	88
長崎	1					1
大分					2	2
宮崎				1		1
鹿児島				1		1
合計	39	4	22	30	15	110

【 大学院 】

(単位:人)

研究科	看護学研究科			人間生活学研究科	
	看護学専攻		共同災害看護学専攻	人間生活学専攻	人間生活学専攻
	博士前期課程	博士後期課程	博士課程	博士前期課程	博士後期課程
福島	0	0	1	0	0
東京	1	0	0	0	0
愛知	1	0	0	0	0
京都	0	1	0	0	1
大阪	0	0	0	1	0
岡山	1	0	0	0	0
広島	0	0	0	1	0
山口	0	1	0	0	0
香川	1	0	0	0	0
高知	12	3	0	10	0
海外	0	0	2	0	0
合計	16	5	1	12	1



### 3 学生数(平成29年4月1日現在)

(単位:人)

学部・学科		1回生			2回生			3回生			4回生			合計		
		県内	県外	計	県内	県外	計	県内	県外	計	県内	県外	計	県内	県外	計
文化学部 (昼)	文化学科	41	86	127	58	75	133	50	75	125	34	65	99	183	301	484
	編入生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3	2	1	3
	小計	41	86	127	58	75	133	50	75	125	36	66	102	185	302	487
文化学部 (夜間主)	文化学科	16	14	30	19	6	25	23	4	27	0	0	0	58	24	82
	編入生	0	0	0	0	0	0	3	1	4	4	2	6	7	3	10
	小計	16	14	30	19	6	25	26	5	31	4	2	6	65	27	92
看護学部	看護学科	38	44	82	40	44	84	42	41	83	37	46	83	157	175	332
	編入生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	38	44	82	40	44	84	42	41	83	37	46	83	157	175	332
社会福祉学部	社会福祉学科	35	39	74	33	43	76	30	43	73	32	38	70	130	163	293
	編入生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	35	39	74	33	43	76	30	43	73	32	38	70	130	163	293
健康栄養学部	健康栄養学科	11	29	40	15	26	41	14	28	42	15	26	41	55	109	164
	編入生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	11	29	40	15	26	41	14	28	42	15	26	41	55	109	164
学部生計	学部計	141	212	353	165	194	359	159	191	350	118	175	293	583	772	1,355
	編入生	0	0	0	0	0	0	3	1	4	6	3	9	9	4	13
	合計	141	212	353	165	194	359	162	192	354	124	178	302	592	776	1,368
大学院	看護学研究科看護学専攻(博士前期)	12	4	16	11	2	13	/	/	/	/	/	/	23	6	29
	看護学研究科看護学専攻(博士後期)	3	2	5	2	2	4	6	2	8	/	/	/	11	6	17
	看護学研究科共同災害看護学専攻(博士)	0	3	3	0	1	1	1	1	2	1	1	2	2	6	8
	人間生活学研究科(博士前期)	11	1	12	8	0	8	/	/	/	/	/	/	19	1	20
	人間生活学研究科(博士後期)	1	0	1	1	0	1	3	2	5	/	/	/	5	2	7
	健康生活科学研究科(博士後期)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	0
大学院生計	大学院合計	27	10	37	22	5	27	10	5	15	1	1	2	60	21	81
合計		168	222	390	187	199	386	172	197	369	125	179	304	652	797	1,449

#### 4 休学・退学・修業年限を超えて在籍する学生数及び単位互換の状況

##### (1) 年次別休学者数

(単位:人)

区 分		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
生活科学部	生活デザイン学科	0	/	/	/	/	
	健康栄養学科	0	/	/	/	/	
	環境理学科	1	/	/	/	/	
	小 計	1	/	/	/	/	
文化学部	文化学科	7	9	9	15	19	
看護学部	看護学科	6	1	0	1	2	
社会福祉学部	社会福祉学科	3	3	2	2	1	
健康栄養学部	健康栄養学科	1	0	0	0	0	
学 部 合 計		18	13	11	18	22	
大 学 院	看護学研究科	看護学専攻(博士前期)	1	1	1	0	1
		看護学専攻(博士後期)	/	5	2	6	0
		共同災害看護学専攻(博士)	/	0	0	0	1
	人間生活学研究科	人間生活学専攻(博士前期)	2	3	4	4	1
		人間生活学専攻(博士後期)	/	5	5	3	1
	健康生活学研究科	健康生活科学専攻(博士後期)	4	1	/	/	/
大 学 院 合 計		7	15	12	13	4	
合 計		25	28	23	31	26	

##### (2) 年次別退学者数

(単位:人)

区 分		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
生活科学部	生活デザイン学科	0	/	/	/	/	
	健康栄養学科	0	/	/	/	/	
	環境理学科	0	/	/	/	/	
	小 計	0	/	/	/	/	
文化学部	文化学科	11	6	11	21	14	
看護学部	看護学科	0	1	0	0	3	
社会福祉学部	社会福祉学科	1	2	3	2	4	
健康栄養学部	健康栄養学科	1	1	1	0	0	
学 部 合 計		13	10	15	23	21	
大 学 院	看護学研究科	看護学専攻(博士前期)	1	0	1	0	2
		看護学専攻(博士後期)	/	3	3	1	0
		共同災害看護学専攻(博士)	/	0	0	0	0
	人間生活学研究科	人間生活学専攻(博士前期)	1	3	5	4	1
		人間生活学専攻(博士後期)	/	2	2	2	0
	健康生活学研究科	健康生活科学専攻(博士後期)	3	0	/	/	/
大 学 院 合 計		5	8	11	7	3	
合 計		18	18	26	30	24	

(3) 修業年限を超えて在籍する学生数(平成29年4月1日現在)

(単位:人)

区 分		5年	6年	7年	8年以上	計
文化学部	文化学科	12	2	1	0	15
看護学部	看護学科	2	0	0	0	2
社会福祉学部	社会福祉学科	0	0	0	0	0
健康栄養学部	健康栄養学科	0	0	0	0	0
学 部 合 計		14	2	1	0	17

(単位:人)

区 分			3年	4年	5年	6年以上	計
大 学 院	看護学研究科	看護学専攻(博士前期)	1	0	0	0	1
		看護学専攻(博士後期)	0	3	2	0	5
		共同災害看護学専攻(博士)		0	0	0	0
	人間生活学研究科	人間生活学専攻(博士前期)	2	1	1	0	4
		人間生活学専攻(博士後期)		1	3	0	4
	健康生活学研究科	健康生活科学専攻(博士後期)		0	0	0	0
大 学 院 合 計			3	5	6	0	14

(4) 単位互換の状況(平成29年度)

(単位:人)

大 学 名	派 遣		受 入	
	人数	科目数(延べ)	人数	科目数(延べ)
高知大学	8	11	0	0
高知短期大学	12	20	15	35
高知学園短期大学	0	0	0	0
高知工科大学	0	0	1	1
放送大学	0	0	0	0
合 計	12	20	16	36

## 5 課外活動

(単位:人)

文化系 (平成30年3月31日現在)		体育系 (平成30年3月31日現在)	
団体名	部員数	団体名	部員数
1 Sun-fes	31	all-round	8
2 COME☆RISH	63	FCソフィア	48
3 CUBE	4	合気道部	10
4 E-friends	7	弓道部	11
5 hach poch倶楽部	4	柔道部	4
6 news paper's	5	準硬式野球部	34
7 people plus+	4	水泳部	10
8 Society For Everyone	20	女子ソフトボール部	14
9 いけあい地域災害学生ボランティアセンター	58	ソフトテニス部	3
10 いけいけサロン活動	20	ソフトバレーサークル	31
11 いけとべ!	11	バレーボール部(女子)	3
12 裏千家茶道部(池)	10	バレーボール部(男子)	15
13 裏千家茶道部(永国寺)	8	バレーボールサークル	25
14 エスコーターズ	9	バスケットボール部	29
15 演劇研究会T・H	3	バドミントン部	73
16 学祭実行委員会	67	太鼓部	17
17 学生子ども保健室「ゆい」	21	陸上競技部	16
18 活輝創生実行委員会	18		
19 華道部	6		
20 かるた部	7		
21 かんきもん	76		
22 グローカルクラブ	14		
23 軽音楽部	39		
24 国際交流クラブ	20		
25 こどもみらい塾	20		
26 こめっ娘。	40		
27 手話サークル	7		
28 吹奏楽部(池)	19		
29 箏曲部	7		
30 図書館サークルLibe	5		
31 ハモ☆イケ	17		
32 美術部	7		
33 漫画研究部	18		
34 マンドリンクラブ	13		
35 薬物乱用防止啓発サークル「ダメ。ゼッタイ。」	13		
36 生協学生委員会n.a.s	5		
37 文芸部	11		
38 吹奏楽部(永国寺)	27		
38団体	734	17団体	351
55 団体		1085 人	

## 6 授業料等の納入状況

### (1) 入学科、授業料(平成29年度)

(単位:円)

区 分		入学手数料の額	入学料の額		授業料の額	
			県内生	県外生		
学 生	学 部	17,000 (編入の場合は30,000)	141,000	282,000	年 額	535,800
	大学院	30,000				
科目等履修生		4,900	14,100	28,200	1単位	14,800
研 究 生		4,900	42,300	84,600	月 額	29,700

### (2) 授業料免除状況①(経済的理由による免除、家計急変等特別な事情による免除)

区 分		学 部			大 学 院			合 計		
		半額免除	全額免除	合計	半額免除	全額免除	合計	半額免除	全額免除	合計
平成25年度	免除者(人)	45	34	79	1	3	4	46	37	83
	免除額(円)	12,055,500	18,217,200	30,272,700	267,900	1,607,400	1,875,300	12,323,400	19,824,600	32,148,000
平成26年度	免除者(人)	56	41	97	0	0	0	56	41	97
	免除額(円)	15,002,400	21,967,800	36,970,200	0	0	0	15,002,400	21,967,800	36,970,200
平成27年度	免除者(人)	46	108	154	1	1	2	47	109	156
	免除額(円)	12,323,400	57,330,600	69,654,000	267,900	535,800	803,700	12,591,300	57,866,400	70,457,700
平成28年度	免除者(人)	63	123	186	2	1	3	65	124	189
	免除額(円)	16,609,800	64,563,900	81,173,700	535,800	535,800	1,071,600	17,145,600	65,099,700	82,245,300
平成29年度	免除者(人)	52	92	144	4	1	5	56	93	149
	免除額(円)	13,930,800	48,445,250	62,376,050	1,071,600	535,800	1,607,400	15,002,400	48,981,050	63,983,450

### (3) 授業料免除状況②(成績優秀者に対する免除)

区 分		学 部			大 学 院			合 計		
		半額免除	全額免除	合計	半額免除	全額免除	合計	半額免除	全額免除	合計
平成28年度	免除者(人)	10	12	22	-	-	0	10	12	22
	免除額(円)	2,679,000	6,161,700	8,840,700	-	-	0	2,679,000	6,161,700	8,840,700
平成29年度	免除者(人)	11	12	23	-	-	0	11	12	23
	免除額(円)	2,946,900	5,893,800	8,840,700	-	-	0	2,946,900	5,893,800	8,840,700

※平成28年度より制度開始

7 日本学生支援機構奨学金受給状況(平成30年3月1日現在)

【学部】

(単位:人、%)

区 分		健康栄養学部	文化学部	看護学部	社会福祉学部	合計
全学年	1種	47	179	104	93	423
	2種	30	116	81	62	289
	合計	77	295	185	155	712
	併用	3	26	13	9	51
	学生数	164	575	332	293	1364
	貸与率(%)	45.1	46.8	51.8	49.8	48.5
	他奨学金	0	1	2	4	7
1回生	1種	14	52	28	28	122
	2種	7	32	14	16	69
	合計	21	84	42	44	191
	併用	0	7	1	3	11
	他奨学金	0	0	0	0	0
2回生	1種	11	52	26	31	120
	2種	6	26	15	11	58
	合計	17	78	41	42	178
	併用	1	3	4	4	12
	他奨学金	0	1	0	1	2
3回生	1種	13	65	28	20	126
	2種	9	32	18	12	71
	合計	22	97	46	32	197
	併用	1	14	4	0	19
	他奨学金	0	0	0	0	0
4回生	1種	9	34	29	16	88
	2種	8	19	24	14	65
	合計	17	53	53	30	153
	併用	1	2	4	2	9
	他奨学金	0	0	2	3	5

※ 貸与率(%) = [(合計-併用)] / 学生数 \* 100

※※ 他奨学金: 日本学生支援機構以外

【大学院】

(単位:人、%)

区 分		看護学研究科	人間生活学研究科	合計
全学年	1種	8	1	9
	2種	5	0	5
	合計	13	1	14
	併用	3	0	3
	学生数	55	27	82
	貸与率(%)	18.2	3.7	13.4
	他奨学金	0	0	0

## 8 卒業(修了)者状況

### (1) 年次別卒業(修了)者数

(単位:人)

区 分		年 度	H25	H26	H27	H28	H29
学 部	生活科学部	生活デザイン学科	/	/	/	/	/
		健康栄養学科	/	/	/	/	/
		環境理学科	2	/	/	/	/
		小 計	2	/	/	/	/
	文化学部	文化学科	86	85	83	83	91
	看護学部	看護学科	80	83	85	82	80
	社会福祉学部	社会福祉学科	72	74	71	71	68
	健康栄養学部	健康栄養学部	39	41	40	41	41
	学 部 計		279	283	279	277	280
	大 学 院	看護学研究科看護学専攻(博士前期)		18	15	14	14
看護学研究科看護学専攻(博士後期)		/	5	3	1	3	
人間生活学研究科人間生活学専攻(博士前期)		9	4	12	15	5	
人間生活学研究科人間生活学専攻(博士後期)		/	0	4	10	2	
健康生活科学研究科健康生活科学専攻(博士後期)		8	1	1	/	/	
大 学 院 計		35	25	34	40	20	
合 計		314	308	313	317	300	

## (2) 平成29年度卒業生 就職状況

【学科別産業別就職状況】

(平成30年5月末日現在)

単位:人

区 分	文化学部	看護学部	社会福祉学部	健康栄養学部	合計	
	文化	看護	社会福祉	健康栄養		
卒業生数	91	80	68	41	280	
進学・留学決定者数	5	4	1	0	10	
就職希望なし	9	0	0	0	9	
就職希望者数(A)	77	76	67	41	261	
就職決定者数(B)	74	76	67	41	258	
就職決定率(B)/(A)%	96.1%	100.0%	100.0%	100.0%	98.9%	
農林水産業・鉱業					0 (0)	
建設業	1				1 (0)	
製造業	6 (5)		1 (1)	3	10 (6)	
電気・ガス・水道業					0 (0)	
情報通信業	6				6 (0)	
運輸業、郵便業	4 (1)				4 (1)	
卸売業、小売業	8 (1)		2 (1)	7 (1)	17 (3)	
金融業、保険業	5 (1)		3 (2)		8 (3)	
不動産業、物品賃貸業	1 (1)				1 (1)	
学術研究、専門・技術サービス業	4 (1)		1 (1)		5 (2)	
宿泊業、飲食サービス業	3 (2)			6 (1)	9 (3)	
生活関連サービス業、娯楽業	5 (1)			1	6 (1)	
教育、 学習支援業	学校教育	11 (3)	6 (2)	6 (2)	23 (7)	
	学習支援	3 (1)			3 (1)	
医療・福祉	医療・保健	2	61 (19)	13 (5)	13	89 (24)
	福祉・介護			38 (19)	4	42 (19)
複合サービス事業	2 (1)		1		3 (1)	
サービス業 (他に分類されないもの)	4 (1)		1 (1)		5 (2)	
公務	9 (5)	9 (4)	7 (3)	1	26 (12)	
上記以外					0 (0)	
合 計	74 (24)	76 (25)	67 (33)	41 (4)	258 (86)	

注 ( )内の数値は高知県内に就職した者  
分類は日本標準産業分類による分類



## 6 総合情報センター

### 1 図書等受入状況(平成29年度)

(単位:冊)

			永国寺	池	合計
図 書	和 漢 書	蔵書数 (H29年4/1現在)	129,581	83,700	213,281
		平成29年度 受入数	1,119	1,550	2,669
		平成29年度 除却等	-72	-501	-573
		蔵書数 (H30年4/1現在)	130,733	84,476	215,209
	洋 書	蔵書数 (H29年4/1現在)	19,337	9,141	28,478
		平成29年度 受入数	43	90	133
		平成29年度 除却等	-16	0	-16
		蔵書数 (H30年4/1現在)	19,419	9,535	28,954
	合 計	蔵書数 (H29年4/1現在)	148,918	92,841	241,759
		平成29年度 受入数	1,162	1,640	2,802
		平成29年度 除却等	-88	-501	-589
		蔵書数 (H30年4/1現在)	150,152	94,011	244,163

(単位:タイトル)

			永国寺	池	合計
雑 誌	和 雑 誌	蔵書数 (H30年4/1現在)	925	770	1,695
		平成29年度 受入数	108	194	302
		平成29年度 受入開始数	1	3	4
		平成29年度 除却等	-2	-4	-6
	洋 雑 誌	蔵書数 (H30年4/1現在)	232	192	424
		平成29年度 受入数	11	52	63
		平成29年度 受入開始数	0	0	0
		平成29年度 除却等	0	-6	-6
	合 計	蔵書数 (H30年4/1現在)	1,157	962	2,119
		平成29年度 受入数	119	246	365
		平成29年度 受入開始数	1	3	4
		平成29年度 除却等	-2	-10	-12

(注)平成27年4月1日から高知工科大学との法人一元化に伴い、図書館情報管理システムリメディアオに移行した。蔵書数はリメディアオの登録数とした。

## 2 図書館利用状況(平成29年度)

(単位:人)

	永国寺	池	合計
入館者数	43,296	49,721	93,017
貸出人数	4,570	5,838	10,408
貸出冊数(冊)	10,425	15,444	25,869

## 3 学内LANの状況(平成29年度)

### (1) サーバ、ネットワークシステムの概要

#### ○ サーバ

基幹サーバとして池・永国寺キャンパス及びデータセンターに仮想サーバ(3台)を運用している。

#### ○ ネットワークシステム

池・永国寺キャンパスともにデータセンターからインターネットに繋がっており、永国寺キャンパスと池キャンパスは1Gbpsで接続されている。  
両キャンパスともに有線・無線LAN環境が整備されている。

### (2) 登録ID総数及び教職員、学生、大学院生ごとの内訳

#### ○ 登録ID数

教職員 218名(教員 124名、事務職員 98名)

学 生 1,456名(学部 1,374名、大学院 82名)

#### ○ 接続端末の総数

総数 約800台

永国寺キャンパス 約350台

池キャンパス 約450台

## 7 地域教育研究センター

地域教育研究センターは、平成 24 年 4 月に、本学が、社会に貢献する大学として、地域コミュニティに根ざし、また、未来を拓く「地の拠点」としての役割の強化並びに本学の教育理念である「地域社会志向教育」を実現するために、設置された。

センターには、次の 5 部会が含まれる。

- (1) 共通教育部会：共通教養教育及び教職課程の企画運営を行う。
- (2) 生涯学習部会：地域の人々の知の探究への支援事業の展開及び地域の教育力向上のための活動を行う。
- (3) キャリア支援部会：学生のキャリア教育・就職支援の強化及び県民のキャリア開発の支援を行う。
- (4) 産官学研究部会：産官学連携を推進する。
- (5) 地域課題研究部会：地域社会の諸活動に対する専門的な支援や、地域社会の持続的発展のための研究の調整、受入れを行う。

### 事業実施状況

#### 【履修証明プログラム】

平成 26 年度から「履修証明プログラム」を開始している。4 年目の平成 29 年度は、高知県に関する歴史、文化、環境などについての知識や教養を高めいただくために「地域学プログラム」（「土佐学プログラム」から名称を変更）を実施し、2 名の受講生がプログラムを修了した。また平成 28 年度から、高齢者ケアのための職業実践力育成プログラム「保健福祉医療従事者の力量アップのための講座」も開始し、2 年目の平成 29 年度は 8 名の受講生がプログラムを修了した。

#### (1) 「地域学プログラム」科目一覧

授 業 科 目	授 業 科 目
必修科目	選択科目
地域学概論	土佐の自然と暮らし
土佐学フィールドワーク	土佐の食と健康
土佐学ゼミナール	自然災害と防災の科学
	地方自治論
	地域社会と法文化
	土佐の歴史と文化

	土佐の経済とまちづくり
	文化政策論
	災害と法
	観光産業論
	観光企画論

(2) 「多職種連携による保健福祉医療従事者の力量アップのための講座」科目一覧

授 業 科 目	授 業 科 目
高齢者への福祉支援	生活習慣病の治療と予防チームアプローチⅠ
介護過程実践演習	チームアプローチⅡ
高齢者のフィジカルアセスメント	最新看護知識の実践への活用
認知症患者と家族への支援	高齢者福祉の現状と実践のための講座
高齢者の食生活と住環境	

【高知県立大学県民開放授業】

県民開放授業は、平成14年度後期から、文化学部の公開講座の一つとして始まった。平成25年度には、地域教育研究センターが「AERU 県民公開授業」を実施し、平成26年度からは、上記2つの事業を統合し、「高知県立大学県民開放授業」を実施している。

(1) 平成29年前期

延べ受講者数：44名

提供科目：21科目（文化学部専門科目 5科目、共通教養教育科目 16科目）

授 業 科 目	受講者数	授 業 科 目	受講者数
近代文学講読（永国寺）	4	ビジネスリテラシー（永国寺）	-
日本文学概論（永国寺）	5	栄養と疾患（永国寺）	5
中国文学講読（散文）（永国寺）	5	法学（池）	1
古典文学講読（散文）Ⅰ（永国寺）	3	現代社会論（池）	4
中国文学講読（韻文）（永国寺）	5	環境衛生（池）	-
法学（永国寺）	3	基礎化学（池）	-
経済学（永国寺）	1	現代科学文化論（池）	-
情報リテラシー（永国寺）	-	基礎ジェンダー学（池）	-
居住環境論（永国寺）	3	社会保障と生活（池）	2
地球の科学（永国寺）	1	居住環境論（池）	-
司法制度と人権（永国寺）	2		

(2) 平成 29 後期

延べ受講者数：44 名

提供科目：28 科目（文化学部専門科目 5 科目、共通教養教育科目 23 科目）

授 業 科 目	受講者数	授 業 科 目	受講者数
現代文学購読（永国寺）	5	住まいと健康と安全（池）	-
中国文学史（永国寺）	4	経済学（永国寺）	1
古典文学講読（散文）Ⅱ（永国寺）	3	情報リテラシー（永国寺）	2
対照言語学（永国寺）	2	基礎ジェンダー学（永国寺）	-
米文化・文学史（永国寺）	4	現代科学文化論（永国寺）	1
現代人権論（永国寺）	1	地球の科学（池）	-
社会保障と生活（永国寺）	-	現代人権論（池）	-
情報処理概論（永国寺）	2	地球とグローバリゼーション（池）	3
ビジネスリテラシー（永国寺）	3	対人関係論（池）	-
ジェンダーとキャリア（永国寺）	2	情報リテラシー（永国寺）	-
基礎科学（永国寺）	2	科学と人間（池）	1
健康とヘルスプロモーション（永国寺）	3	ジェンダーとキャリア（池）	-
現代社会論（永国寺）	5	情報処理概論（永国寺）	-
科学と人間（永国寺）	-	住まいと健康と安全（永国寺）	-

【高大連携事業】

(1) 小、中、高等学校への出前講座

学問に対する興味・関心を高め、大学で学ぶことの魅力や楽しさについて知っていただくことを目的として、高知県内の小・中・高等学校を対象に、出前講座を実施している。

平成 29 年度延べ受講者数：569 名

実施校名	実施日	対象者	受講者数
高知県立高知追手前高等学校	6/16	2 年生	36
土佐女子中学高等学校	6/21	高校 1・2 年生	144
高知県立高知小津高等学校	6/22	2 年生	32
愛媛県立松山中央高等学校	7/6	2 年生	13
徳島県立脇町高等学校	8/24	高校 1・2 年生	39

高知市立旭小学校	9/21	4年生	45
南国市立久礼田小学校	9/29	5年生	20
高知県立山田高等学校	10/16	1～3年生	10
高知学芸高等学校	10/20	1年生	73
高知県立山田高等学校	10/25	2年生	49
高知県立高知小津高等学校	10/26	1年生	14
高知県立高知丸の内高等学校	12/11	1年生	81
高知県立宿毛高等学校	12/13	2年生	13

(2) 高校生のための公開講座

高校生が、大学の教育・研究に触れ、学問に対する興味・関心を深め、学びの楽しさについて知っていただくことを目的に実施している。

平成 29 年度延べ受講者数：180 名

内容	実施日	対象者	受講者数
「県大立志塾」第 1 回	9/23	高校生	77
「県大立志塾」第 2 回	1/6	高校 1・2 年生	39
「県大立志塾」第 3 回	3/10	高校 1・2 年生	42
「環境を化学的視点から捉える実験講座」 第 1 回 マイクロスケール化学実験入門	12/23	高校 1・2 年生	8
「環境を化学的視点から捉える実験講座」 第 2 回 水質簡易分析法はどの程度正確か?	2/10	高校 1・2 年生	4
「環境を化学的視点から捉える実験講座」 第 3 回 水質の指標としての溶存酸素	2/17	高校 1・2 年生	10

【地域教育研究センター主催公開講座】

「知の拠点」として、県民一般を対象とした公開講座を随時開催している。

平成 29 年度延べ受講者数：187 名

内 容	実施日	対象者	受講者数
観光による持続可能な地域振興	2/3	一般	60
第 7 回地域活性化フォーラム「支えあい・地域 活動拠点と住民主体の地域づくり」	2/10	一般	78
コミュニティカレッジ・バックステージ in	11/11	一般	19

高知 [共催]NPO 高知市民会議			
土佐志民大学 2017 二限目 「made in 高知を造る会社たち」 [共催]NPO 高知市民会議	3/4	一般	21
土佐志民大学 2017 四限目 「キミは、どう進むのか? ~大学生から高校生に伝えたいコト~」 [共催]NPO 高知市民会議	3/24	一般	9

【第 34 回「本山町・高知県立大学・高知短期大学公開講座」協定書に基づく公開講座】

平成 26 年度までは高知短期大学と本山町で開催されていたものを平成 27 年度からは本学が引き継ぎ、高知短期大学、本山町との三者協定により開催している。

平成 29 年度延べ受講者数：210 名

内 容	実施日	対象者	受講者数
第 1 講 開校式・特別講演「生涯学び続けることの意義」	5/20	本山町民他	10
第 2 講「漢詩の魅力 歙(くわ)を持った詩人たち」	5/29	本山町民他	15
第 3 講「『アメリカ文学』ができたころ ワシントン・アーヴィングのニューヨーク・ストーリー」	6/27	本山町民他	18
第 4 講「車争い前後・六条御息所の生霊出現 一源氏物語『葵』巻一」	7/12	本山町民他	16
第 5 講「イギリス文学講座 天才作家シェイクスピアはいかにして悲劇を仕掛けるのか」	8/30	本山町民他	19
第 6 講「最期まで住み慣れた地域で暮らすために」	9/26	本山町民他	28
第 7 講「高齢者が支え、若者が共感・共生する地域づくり — 少子高齢化を逆手にとって—」	10/5	本山町民他	26
第 8 講「あなたの地域を元気にするためのまちづくり」	11/21	本山町民他	24
第 9 講「選挙制度から私たちの生活を考える」	12/5	本山町民他	16
第 10 講「世界各国の民主主義、日本の民主主義：何が同じで違うのか」	1/16	本山町民他	12
第 11 講「新興大国インドとアジア国際政治の新展開」	2/9	本山町民他	16



第 12 講 閉校式・特別講演「学びつづけよう！」	3/17	本山町民他	10
---------------------------	------	-------	----

【立志社中】

平成 25 年度から地域の課題解決に主体的に取り組む学生を大学として支援する「立志社中」をスタートさせ、平成 29 年度は、10 件のプロジェクトを採択し、支援した。

平成 29 年度採択プロジェクト

プロジェクト名	チーム名	交付額(利息含) [執行額]
Shining Kochi!～新聞ばっぐで絆づくり～	news paper's	0 円 [0 円]
かんきもん	かんきもん	200,000 円 [70,085 円]
「いでんし」プロジェクト	活輝創生実行委員会	252,810 円 [102,937 円]
ボランティア社中	イケあい地域災害学生ボランティアセンター	259,552 円 [208,884 円]
それいけ！大野見エコ米～No Rice.No Life～	COME☆RISH	228,878 円 [227,357 円]
Revolution～地域の力を引きだして～	P シスターズ	200,000 円 [157,954 円]
香美市の民具調査	from ZERO	283,889 円 [205,431 円]
池地域まるごとサロン活動	いけいけサロン活動	192,776 円 [66,629 円]
健援隊プロジェクト	健援隊	229,680 円 [40,410 円]
こどもの居場所づくり	☆こどもみらい塾☆	72,800 円 [7,560 円]

その他実施事業

事業名	実施時期	詳細
公開プレゼンテーション及び審査会	5/28	応募のあった 10 件のプロジェクトについて、公開プレゼンテーション及び審査会を実施。採択プロジェクトを決定。

中間報告会	11/12	各チームからプロジェクトの進捗状況を発表され、審査委員からのアドバイスや他チームの活動を知り、後半の活動につなげる機会として実施。
交流会	11/12	中間報告会後に、立社中メンバー及び審査委員や担当教員を交え開催。
第1回スキルアップセミナー 「立志アイデアソンー知財×域学共生」	12/12	高知県産学官民連携センター(ココプラ)と本学地域教育研究センターが連携して実施する取り組みの一つとして開催。
第2回スキルアップセミナー 「地域と学生『志』立ちゅう？」	2/1	活動を振り返りながら、地域や自分たちの課題を把握・共有し、次年度の活動につなげるワークショップを行なった。
活動成果報告会	3/18	各プロジェクトの活動を評価し、成果や課題を共有することを目的に開催。

#### 【コミュニティサービスラーニング(CSL)サポートデスク】

地域の抱える課題を認識し、課題解決への関心を高めた学生が、専門的な知識や技術など大学での学びの成果を活かして、域学共生の理念に基づき、ボランティア活動を行うコミュニティサービスラーニングを支援することを目的とするための窓口として、平成28年度に設置された。

平成29年度延べ参加者数：59名

概要	受入先	実施時期	参加学生数
小・中学校での学習支援	津野町教育委員会	8/21～9/1	16
		2/26～3/9	20
小・中学校での学習支援	三原村教育委員会	8/21～8/25	5
小・中学校での学習支援	安芸市・安芸市教育委員会	9/1～9/16	8
		2/20～3/5	7
ボランティアガイダンス企画・運営	認定特定非営利活動法人 NPO 高知市民会議	9/18	1
高知ミニキャンプの運営手伝い他	フェニックス親の会	10/8～10/9	0

ティーンズコーナーの選書・配架準備	高知県立図書館	1/9～1/12	2
広報誌の企画・取材～配布	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会	年間随時	0

【協力団体との連携強化に向けた取り組み】

連携の強化に向けて、高知県や市町村、学生受入団体等との情報交換を定期的に行なっている。

内 容	開催時期
域学共生連携会議 (高知県・高知県立大学)	6/12
域学共生連携拡大会議 (県内地方公共団体及び関係団体・企業等・高知県立大学)	12/26
ご意見番会議 (地域で協力いただいている団体・高知県立大学)	7/5、1/25

【その他】

産官学研究部会の事業として出展。

内 容	開催時期
第6回高知県ものづくり総合技術展への出展	11/17～19

## 8 健康長寿センター

健康長寿センターは、本学の学部が連携して、地域の人々の健康長寿の推進および健康長寿社会の構築に貢献する専門職者の最新の知識や技術の向上に努めることを目的として、平成22年4月に設置された。

センターは、次表(事業区分)のとおり、4つの事業を柱に活動を行っている。

### 活動状況(平成29年度)

事業区分	内 容	回数	実施時期	参加数(人)	対象者・参加者
保健福祉のあり方を考える啓発事業	健康長寿体験型セミナー「食から始めよう認知症予防対策」(中土佐町)	1	10/12	95	中土佐町筋筋クラブ、地域住民
	健康長寿体験型セミナー「物忘れから始める認知症予防」(土佐清水市)	1	10/16	83	健康に関心のある土佐清水市民
	健康長寿体験型セミナー「認知症になってもいいまちづくりとは Part1」(安田町)	1	11/1	45	健康に関心のある安田町周辺住民
	健康長寿体験型セミナー「認知症になってもいいまちづくりとは Part2」(安田町)	1	12/7	40	健康に関心のある安田町周辺住民
	健康長寿体験型セミナー「地域で取り組む健康づくりと介護予防」(佐川町)	1	12/6	104	佐川町住民
高知医療センターとの協働による健康長寿社会の実現に向けての専門職者の力量アップ事業	高知医療センター・高知県立大学共催研修会「終末期医療と臨床倫理～生命維持治療の中止の許容性と医療方針の決定のあり方～」(健康長寿・地域医療連携部会)	1	8/26	141	高知医療センター職員・高知県立大学教職員・学生・医療職者・一般県民
	教員による若手看護師のキャリアサポート「専門職としてのキャリア・デザイン」	1	11/29	15	看護基礎教育卒業後10年未満程度の看護師
	専門職者のキャリアサポート「ICUにおけるせん妄評価とせん妄ケア」	1	2/6	20	高知医療センター看護師、修了生、大学院生、教員
	シミュレーション教育事例検討会	2	9/18・10/29	28	高知県立大学看護学部・社会福祉学部教員、高知医療センターの看護・福祉専門職者、医療者教育に従事する方
	病院前妊産婦救護に関するシミュレーションコースBLS O in 高知	2	10/1・1/21	102	高知県内の救急隊員、医師、看護師
	シミュレーションを活用した病棟の学習会の企画・運営サポート	1	2/23	14	高知医療センター看護師
健康長寿を目指した域学共生事業	土佐市連携事業「とさっ子健診プロジェクト」		通年		土佐市職員・土佐市民・高知県立大学教職員・学生
	土佐市連携事業「土佐市地域ケア会議推進プロジェクト」		通年		土佐市職員・土佐市保健医療福祉関係者・高知県立大学教職員
	高知医療センター・高知県立大学包括的連携事業「赤ちゃん同窓会」	1	10/8	119	NICUに入院経験のある子どもとその家族・高知医療センター・高知県立大学教職員・学生
	高知医療センター・高知県立大学包括的連携事業「第9回みさとフェア」への参画	1	11/19	200	三里地域住民・高知医療センター・高知県立大学教職員・学生
	高知医療センター・高知県立大学包括的連携事業「生活習慣病予防のための料理教室」(健康栄養連携部会)	1	6/24	27	生活習慣病を予防・改善したい方とその家族
	「慢性腎臓病(CKD)患者さんのための食事療法手引き」改訂		6月～12月	9	高知医療センター栄養局職員、高知県立大学健康栄養学部教員・学生

事業区分	内 容	回数	実施時期	参加数 (人)	対象者・参加者
健康長寿を目指した域学共生事業	高知市産後ケア事業検討会		通年	6	高知市こども未来部母子保健課保健師
	とこずれ相談	2	通年		高知県内訪問看護ステーション
	健康長寿文庫 80冊収蔵		通年		一般県民
専門職人材養成事業	リカレント教育(高知県西部地区精神科看護研修会)「大人の発達障害の理解と対応」	1	6/10	101	高知県西部地区の精神科医療従事者
	リカレント教育講座(社会福祉学部)「認知症をもつ人と暮らす人の『今』」	1	10/21	27	卒業生、社会福祉従事者
	リカレント教育講座(社会福祉学部)「介護記録の目的と書き方」	1	12/2	16	卒業生、社会福祉従事者
	リカレント教育講座(社会福祉学部)「思考しながら実践するソーシャルワーカー支援の質を高めるために」	1	12/16	20	卒業生、社会福祉従事者
	リカレント教育講座(社会福祉学部)「人を支援するためのアイデアー理論を基礎としたソーシャルワーク実践ー」	1	1/20	30	卒業生、社会福祉従事者
	高知県新任保健師研修会	8	6/5・6/15・7/27・8/8・11/9・12/18・12/22・2/9	255	高知県・県内の市町村に所属する1～4年目の保健師
	第5回高知県保健師交流大会「保健師あるある…こんな場面であなたはどようする？」	1	1/20	84	高知県内の保健師、大学生
	第1回公開講座「新人看護職者のためのフィジカルアセスメント～現場で役立つ！症状別アセスメント～」	1	11/12	44	臨床経験3年目までの看護師
	第2回公開講座「ヘルスリテラシーを高めるための援助とは～効果的な生活習慣病予防・重症化予防を目指して～」	1	12/9	16	医療・福祉関連業務従事者
	社会福祉法人高知小鳩会・高知県立大学健康長寿センター合同専門職人材養成事業「高齢社会で食べ続けられる支援を包括的に進めて行くためにー食事介助スキルを高めようー」	1	5/27	191	保健医療福祉専門職者、一般県民
	平成29年度高知県看護職者喀痰吸引等研修事業	10	6/24-6/25・10/14-10/15・11/22・12/7-12/8・2/8-2/9・2/22	55	介護福祉士、介護職員、特別支援学校教員、保育士等、特定の者に対してたんの吸引等の行為を行う必要がある者
	高知県キャリア教育推進事業 集合型研修「県大生と行く職場見学ツアー」	1	7/29	52	高校生と保護者
	高知県キャリア教育推進事業 集合型研修「高校生と保護者のための公開講座」	1	10/28	154	高校生と保護者
	高知県キャリア教育推進事業 集合型研修「新2・3年生のための入門講座」	1	3/28	32	高校生と保護者
	高知県キャリア教育推進事業 訪問型研修	1	10/20・10/27・10/27・11/2・11/10・2/15・2/20・3/13	135	高校生・高校教員
	退院支援事業		通年		
寄附講座「高知県中山間地域等訪問看護育成講座」～29年度訪問看護スタートアップ研修～(高知県からの寄附講座)		通年	28	訪問看護ステーションに勤務する新任・新卒訪問看護師及び病院などに勤務する看護師	

## 9 健康管理センター

### 1 保健管理状況(平成29年度)

#### 【健康管理センター利用状況】

(単位:件、人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
池 キ ャ ン パ ス	内 科	24	23	40	43	11	3	39	41	23	58	18	2	325
	外 科	29	30	34	28	6	4	20	7	12	15	9	2	196
	婦人科	6	7	16	5	3	0	4	3	2	4	5	0	55
	メンタルヘルス	71	66	73	100	35	46	81	88	48	60	42	45	755
	健診フォロー	43	23	33	5	0	0	5	1	1	2	4	0	117
	その他	73	159	71	53	24	11	39	32	35	36	24	35	592
	合計件数	246	308	267	234	79	64	188	172	121	175	102	84	2,040
	合計人数	198	287	210	171	65	47	137	129	99	150	78	69	1,640
永 国 寺 キ ャ ン パ ス	内 科	4	7	3	9	0	0	10	16	9	14	6	0	78
	外 科	9	7	9	9	2	1	0	6	1	2	1	0	47
	婦人科	3	1	14	8	1	1	5	8	5	2	2	0	50
	メンタルヘルス	77	58	84	90	36	53	106	90	74	83	53	10	814
	健診フォロー	81	241	156	62	5	0	13	4	1	1	0	0	564
	その他	109	79	85	36	6	18	72	25	18	31	18	9	506
	合計件数	283	393	351	214	50	73	206	149	108	133	80	19	2,059
	合計人数	251	366	320	202	46	57	188	136	93	101	66	17	1,843
総 計	合計件数	529	701	618	448	129	137	394	321	229	308	182	103	4,099
	合計人数	449	653	530	373	111	104	325	265	192	251	144	86	3,483

#### 【精神科医師によるメンタルヘルス相談】

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
池 キ ャ ン パ ス		4	5	4	3		3	3	4	5	3	1	1	36
永 国 寺 キ ャ ン パ ス		2	0	2	2		1	2	1	0	0	2		12
合 計 件 数		6	5	6	5	0	4	5	5	5	3	3	1	48

#### 【カウンセラーによるメンタルヘルス相談】

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
池 キ ャ ン パ ス		5	11	8	3	2	3	3	4	3	2	4	2	50
永 国 寺 キ ャ ン パ ス		5	8	14	8	4	4	8	8	4	8	7	2	80
合 計 件 数		10	19	22	11	6	7	11	12	7	10	11	4	130

【産婦人科医師及び助産師による婦人科相談】

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
池キャンパス		1	3	1			1	1			2		9
永国寺キャンパス			3					1					4
合計件数		1	6	1			1	2	0		2		13

【健康教育講座】

(単位:件、人)

	テーマ	講師	日時	場所	参加者数 (参加率)	主な対象学年
1	女性の健康とからだ	独立行政法人国立 病院機構 高知病院 婦人科医師 木下 宏実先生	5月22日	永国寺 キャンパス	253	1回生
			6月2日	池キャンパス		
2	メンタルヘルス	高知大学保健管理 センター医学部分室 精神科医師 澁谷 恵子先生	10月18日	池キャンパス	97	
			11月1日	永国寺 キャンパス		



## 10 国際交流

### 1 米国 マサチューセッツ州エルムズカレッジとの交流

- 平成10年10月 国際交流協定締結
- 交流状況
  - ・短期留学研修生の派遣や受入れ
  - ・1年以内の中長期留学生の派遣や受入れ
- 平成29年度実績(平成30年3月31日現在)

(単位:人)

短期(2週間)		学期(3ヶ月以上1年未満)	
派遣	受入	派遣	受入
10	6	1	—

### 2 中国 北京聯合大学旅游学院との交流

- 平成18年11月 国際交流協定締結
- 交流状況
  - ・1年間の長期留学生の派遣や受入れ
- 平成29年度実績(平成30年3月31日現在)

(単位:人)

派遣	受入
—	2

### 3 台湾 文藻外語大学との交流

- 平成19年1月 国際交流協定締結
- 交流状況
  - ・1年間の長期留学生の派遣や受入れ
- 平成29年度実績(平成30年3月31日現在)

(単位:人)

派遣	受入
2	2

### 4 米国 カリフォルニア州立大学ノースリッジ校との交流

- 平成20年7月 国際交流協定締結
- 交流状況
  - ・1年間の長期留学生の派遣や受入れ
- 平成29年度実績(平成30年3月31日現在)

(単位:人)

派遣	受入
—	—

### 5 イタリア ヴェネツィア カ・フォスカリ大学アジア北アフリカ学科との交流

- 平成25年1月 大学対学科間で国際交流協定締結
- 交流状況
  - ・3ヶ月未満の短期研修生の派遣や受け入れ
- 平成29年度実績(平成30年3月31日現在)

(単位:人)

派遣	受入
4	10

#### 6 マレーシア サバ大学との交流

- 平成24年11月 国際交流協定締結
- 交流状況
  - ・3ヶ月未満の短期研修生の派遣や受け入れ
- 平成29年度実績(平成30年3月31日現在)

(単位:人)

派遣	受入
12	—

#### 7 インドネシア ガジャマダ大学との交流

- 平成25年11月 国際交流協定締結
- 交流状況
  - ・3ヶ月未満の短期研修生の派遣や受け入れ
- 平成29年度実績(平成30年3月31日現在)

(単位:人)

派遣	受入
6(学生) 2(教員)	5(学生) 3(教員)

#### 8 大韓民国 木浦大学校との交流

- 平成28年10月 国際交流協定締結
- 交流状況
  - ・3ヶ月未満の短期研修生の派遣や受け入れ
- 平成29年度実績(平成30年3月31日現在)

(単位:人)

派遣	受入
7	7

#### 9 大韓民国 慶南科学技術大学校との交流

- 平成28年11月 国際交流協定締結
- 交流状況
  - ・3ヶ月未満の短期研修生の派遣や受け入れ
- 平成29年度実績(平成30年3月31日現在)

(単位:人)

派遣	受入
4	10

#### 10 タイ ウボンラーチャタニ大学との交流

- 平成28年12月 国際交流協定締結
- 交流状況
  - ・3ヶ月未満の短期研修生の派遣や受け入れ
- 平成29年度実績(平成30年3月31日現在)

(単位:人)

派遣	受入

4	—
---	---

#### 11 インドネシア アンダラス大学との交流

- 平成29年2月 国際交流協定締結
- 交流状況
  - ・3ヶ月未満の短期研修生の派遣や受け入れ
- 平成29年度実績(平成30年3月31日現在)

(単位:人)

派遣	受入
—	2

## 11 開かれた大学

### 1 公開講座等実施状況(平成29年度)

#### ○公開講座

区分	内容	回数	実施時期	参加数(人)	対象者
文化学部	日本学レクチャーシリーズ「アフリカ・モザンビーク生活から見た世界」	1	5/19	38	学生・教職員・一般市民
	日本学レクチャーシリーズ「日本を内側から見ようとする外人の苦戦—マリ人の経験」	1	6/16	44	学生・教職員・一般市民
	高校生のための文化学講座「ことばと暮らし—民具の方言—」	1	6/17	63	高校生
	高校生のための文化学講座「NPOの社会貢献活動:NPO論入門」	1	6/17	60	高校生
	日本学レクチャーシリーズ番外編「風景と音楽 “信州ジャズ” をプロデュースして」	1	7/6	52	学生・教職員・一般市民
	日本学レクチャーシリーズ「台湾の大学生から見た日本—高雄で教えて」	1	7/13	59	学生・教職員・一般市民
	日本学レクチャーシリーズ番外編「イエール大学所蔵『手鑑帖』—古筆アルバム自筆鑑定と鑑賞のNow and Then」	1	7/27	14	学生・教職員・一般市民
	2017年度オープンキャンパス高校生のための文化学講座「『源氏物語』「若紫」巻の独創性—「オリジナリティ」とは何かを考える—」	1	7/30	50	高校生、保護者
	2017年度オープンキャンパス高校生のための文化学講座「オセアニア島嶼部の世界遺産」	1	7/30	80	高校生、保護者
	Round-table Talk「生きること×本をつくること」	1	8/5	30	高校生、学生、教職員、一般市民
	日本学レクチャーシリーズ「英国人が観た日本映画—日欧米の映画文化の交流」	1	10/19	73	学生・教職員・一般市民
	日本学レクチャーシリーズ「アジア太平洋からインド太平洋へ: 21世紀の日本外交のゆくえ」	1	11/24	38	学生・教職員・一般市民
日本学レクチャーシリーズ「フランダースと日本—欧州の宝箱を探って」	1	12/15	40	学生・教職員・一般市民	
看護学部	平成29年度第1回看護学部公開講座 ～採血技術の向上研修～	1	4/18	3	保健師
	NPO法人緩和ケア協会第16回研究発表会	1	5/7	80	医療従事者
	最新実践看護講座Ⅱ「非がん患者の終末期における課題に取り組む看護師の役割」	2	9/19・20	5	看護職者・看護学部生
	がん看護学領域特別講義「がん高度実践看護師の活動の実際と今後の展望」	1	9/30	15	大学院生・本学修了生・看護師
	健康長寿体験型セミナー in 土佐清水市「物忘れから始める認知症予防」	1	10/16	76	一般
	健康長寿体験型セミナー in 安田町 Part1、Part2「認知症になってもいい まちづくりとは」	2	11/1・12/7	85	一般
	小児看護学領域特別講義「発達障がいのある人への看護・NICU入院中・退院後のこどもと家族への支援・小児看護専門看護師としての教育活動」	3	11/3・11/12・11/26	24	看護職者
健康長寿センター第1回公開講座「新人看護職者のためのフィジカルアセスメント～現場で役立つ！症状別アセスメント～」	1	11/29	44	医療従事者	

区 分	内 容	回数	実施時期	参加数 (人)	対象者
看護学部	健康長寿センター第2回公開講座「～効果的な生活習慣病予防・重症化予防を目指して～ヘルスリテラシーを高めるための援助とは」		12/9	16	一般
社会福祉学部	県大生と行く職場見学ツアー	1	7/29	52	高知県内の高校生及びその保護者
	高校生と保護者のための公開講座	1	10/28	154	高知県内の高校生及びその保護者
	新2・3年生のための入門講座	1	3/28	26	高知県内の高校生及びその保護者
健康栄養学部	慢性腎臓病(CKD)料理教室	1	6/24	16	一般

### ○リカレント講座

区 分	内 容	回数	実施時期	参加数 (人)	対象者
文化学部	地域を救う!!「土佐ことば」講座	1	7/24	7	県下の国・公・私立小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の教員
	漢文再入門—漢詩を中国語で読んでみよう—	1	7/31	5	
	財務諸表分析と株価	1	8/2	5	
	自由民権時代の新聞を読む:植木枝盛とその時代(4)	1	8/3	1	
	民主主義について考える	1	8/8	4	
看護学部	地域看護学領域 リカレント 「新任期保健師育成支援」	6	5/9・6/15・7/27・11/9・12/22・3/15	187	保健師
	地域看護学領域 リカレント 「中堅期保健師育成支援」	6	5/23・5/30・6/20・6/23・11/27・2/19	13	保健師
	日本精神科看護協会高知県支部共催～「大人の発達障害の理解と対応」	1	6/10	92	医療職者
	精神看護学領域リカレント(事例検討会)	1	7/7	11	修了生・卒業生
	慢性期看護学領域リカレント「地域包括ケア時代における慢性疾患をもつ人々へのケアを見直す」	3	7/29・9/2・2/3	35	医療職者
	がん看護学領域 アストラルの会(事例検討会)	3	8/6・9/22・3/3	24	修了生・卒業生
	クリティカルケア看護学領域リカレント 急性・重症患者看護専門看護師の臨牀的思考	1	8/29	37	看護職者
	専門職キャリアサポート 「シミュレーション教育事例検討会」	2	9/18・10/29	28	医療職者
	看護管理学領域 リカレント教育 「共分散構造分析を用いての構造の解明」	1	11/25	18	修了生・大学院生
	母性・助産看護学領域 リカレント「周産期にみられる症状・兆候を見逃さないアセスメント力を身につけよう！」	1	12/21	3	卒業1～2年目の助産師
	在宅看護学領域 リカレント(事例検討会)	1	1/28	10	修了生
	老人看護学領域 リカレント「第8回全体会」	1	3/17	10	看護・福祉専門職者・修了生
	クリティカルケア看護学領域リカレント教育 「せん妄評価ツールの活用とせん妄ケア」	1	2/6	21	看護職者

区 分	内 容	回数	実施時期	参加数 (人)	対象者
社会福祉学部	健康長寿センター事業高知県立大学社会福祉学部リカレント教育講座 「認知症をもつ人ともない人の「今」」	1	10/21	27	社会福祉に関心のある方
	健康長寿センター事業高知県立大学社会福祉学部リカレント教育講座 「介護記録の目的と書き方」	1	12/2	16	介護業務に従事する方
	健康長寿センター事業高知県立大学社会福祉学部リカレント教育講座 「思考しながら実践するソーシャルワーカー支援の質を高めるために」	1	12/16	20	社会福祉の専門的支援に関心のある方
	健康長寿センター事業高知県立大学社会福祉学部リカレント教育講座 「人を支援するためのアイデアー理論を基盤としたソーシャルワーク実践ー」	1	1/20	21	社会福祉の専門的支援に関心のある方

### ○訪問講座

区 分	内 容	回数	実施時期	参加数 (人)	対象者
社会福祉学部	福祉・介護の仕事	1	10/20	18	高校生
	福祉・介護の仕事	1	10/27	9	高校生
	福祉・介護の仕事	1	10/27	16	高校生
	福祉・介護の仕事	1	11/2	17	高校生
	福祉・介護の仕事	1	11/10	6	高校生
	福祉・介護の仕事	1	2/15	10	高校生
	福祉・介護の仕事	1	2/20	43	高校生
	福祉・介護の仕事	1	3/13	10	高校生

### ○その他

区 分	内 容	回数	実施時期	参加数 (人)	対象者
看護学部	<看護相談室事業> ケア検討会・交流会 11領域 家族看護学・精神看護学・がん看護学・小児看護学 母性・助産看護学・老人看護学・看護管理学・慢性期看護学・ 地域看護学・在宅看護学・クリティカルケア看護学	21	通年	305	保健医療関係者等

## 2 学会役員等の状況(平成29年度)

### (1) 全国・国際学会の理事・幹事

学部	職名	氏名	学会名	理事・幹事の別
文化学部	教授	大村 誠	日本測地学会	評議員・広報委員長
	教授	橋尾 直和	流域圏学会	理事
			土佐民俗学会	常任理事
			いざなぎ流と物部川流域を考える会	理事
			四国民具研究会	編集担当幹事
			土佐歴史資料研究会	会長
	教授	東原 伸明	中古文学会	年度委員
			学術団体物語研究会	委員
	准教授	鳥飼 真人	英語英文学会片平会	幹事
	准教授	山口 善成	中四国アメリカ文学会	幹事長・評議員
日本アメリカ文学会			代議員	
看護学部	教授	池添 志乃	日本養護教諭養成大学協議会	理事
			日本看護科学学会	代議員
			日本看護倫理学会	評議員
			日本家族看護学会	評議員
			日本学校保健学会	理事
	教授	池田 光徳	日本皮膚科学会高知地方会	幹事
	教授	内田 雅子	日本慢性看護学会	評議員
	教授	瓜生 浩子	日本家族看護学会	評議員
	教授	大川 宣容	日本医療教授システム学会中四国支部	副代表理事
	教授	竹崎 久美子	日本老年看護学会	評議員
			日本災害看護学会	指名理事
	教授	時長 美希	日本看護科学学会	評議委員
	教授	長戸 和子	日本家族看護学会	理事
	教授	中野 綾美	日本看護系大学協議会	理事
			日本看護科学学会	代議員
			日本小児看護学会	理事
			日本家族看護学会	理事
			日本看護倫理学会	評議員
	教授	藤田 佐和	日本緩和医療学会	代議員
			日本慢性看護学会	代議員
			日本看護倫理学会	評議員
			社会保険診療報酬支払基金高知支部	幹事
	教授	森下 安子	一般社団法人日本災害看護学会	指名理事・評議員
	教授	山田 覚	一般社団法人日本災害看護学会	理事
			日本看護管理学会	評議員
	准教授	瓜生 浩子	日本家族看護学会	評議員
講師	有田 直子	日本小児看護学会	評議員	
助教	高樽 由美	一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会	評議員	
		日本慢性看護学会	評議員	

学部	職名	氏名	学会名	理事・幹事の別
看護学部	特任教授	畦地 博子	日本精神保健看護学会	理事・評議員
	特任教授	中山 洋子	公益社団法人日本看護科学学会	理事
			日本精神保健看護学会	理事
	特任教授	南 裕子	日本看護科学学会	監事
			日本災害看護学会	副理事長
一般社団法人日本看護質評価改善機構			監事	
社会福祉学部	教授	杉原 俊二	KJ法学会	運営委員・編集委員
			日本社会福祉学会	中国四国地区ブロック運営委員 (監事)、第41回高知大会実行 委員長
			日本人間科学研究会	理事
	教授	田中 きよむ	社会政策学会	秋季大会企画委員
	准教授	鈴木 孝典	一般社団法人日本精神保健福祉学会	理事、機関誌査読委員
			公益社団法人日本精神保健福祉士協会	機関誌査読委員
	准教授	中畠 洋	日本社会福祉学会	機関誌査読委員
			日本介護福祉学会	評議員、機関誌査読委員
			日本福祉文化学会	評議員、機関誌編集委員長
			全日本大学開放推進機構	理事
			生涯学習・社会教育研究促進機構	機関誌編集委員会幹事
	准教授	西梅 幸治	日本ソーシャルワーク教育学校連盟	中国四国ブロック副運営委員長
	准教授	山村 靖彦	日本地域福祉学会	地方委員、第31回大会実行委員
日本コーヒー文化学会			地方特別委員	
講師	鳩間 亜紀子	日本介護福祉学会	評議員	
講師	井上 健朗	救急認定ソーシャルワーカー欽定機構	研修・テキスト作成委員	
健康栄養学部	教授	村上 尚	日本肥満学会	評議員
	教授	稲井 玲子	日本食育学会	理事長
			日本機能性食品医学学会	評議員
			日本栄養・食糧学会	参与
	教授	渡邊 浩幸	日本栄養・食糧学会	代議員、中国四国支部長
			日本脂質栄養学会	評議員
	准教授	荒牧 礼子	日本未病システム学会	評議員
			日本栄養改善学会	運営委員
	准教授	西岡 道子	日本栄養・食糧学会	中国・四国支部監事
准教授	鈴木 麻希子	日本栄養・食糧学会	参与	
助教	田中 守	日本栄養・食糧学会	中国・四国支部庶務幹事	
助手	川村真美	日本栄養・食糧学会	中国・四国支部会計幹事	
地域 教育 研究	教授	一色健司	日本分析化学会	幹事
			流域圏学会	理事
	教授	宇野浩三	住まい・環境教育学会	会長



(2) 教員が受託した審議会・委員会の委員等

学部	職名	氏名	審議会・委員会名等	発令者
文化学部	教授	五百藏 高浩	高知県国際交流協会評議員	公益財団法人高知県国際交流協会 代表理事
			高知広域連携中枢都市圏ビジョン策定懇談会委員	高知市長
			平成29年度 高校生の基礎学力の定着に向けた学習改善のための調査研究事業検討会議(議長)	高知県教育長
	教授	井上 次夫	高知県高校生伝えるチカラ選手権弁論部門審査委員会(委員長)	高知県教育長
	教授	芋生 裕信	高知県出版文化賞選考委員	公益財団法人高知県文教協会 理事長
			いの町立図書館協議会	いの町立図書館 館長
	教授	岩倉 秀樹	高知弁護士会懲戒委員会委員	高知弁護士会会長
			高知県公文書開示審査会委員(会長)	高知県知事
			高知市行政情報公開・個人情報公開審査会委員(会長)	高知市長
			高知市議会情報公開・個人情報保護審査会委員	高知市議会議長
			高知市放置自動車廃物判定委員会委員	高知市長
			高知県後期高齢者医療広域連合情報公開・個人情報保護審査会(会長)	高知県後期高齢者医療広域連合長
			こうち人づくり広域連合情報公開・個人情報保護審査会委員	こうち人づくり広域連合長
	教授	大井 方子	高知地方労働審議会委員	高知労働局長
			高知県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会委員	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構高知支部高知職業能力開発促進センター 所長
			高知県職業能力開発審議会委員	高知県知事
			高知県立都市公園等指定管理者審査委員	高知県知事
			高知市廃棄物処理運営審議会委員	高知市長
	教授	大村 誠	学校防災アドバイザー	高知県教育長
			スーパーサイエンスハイスクール 岡山県立津山高等学校運営指導委員会委員	岡山県教育委員会教育長
	教授	小長谷悠紀	高知県COC+ 観光人材育成事業検討会 委員	観光人材育成事業検討会座長
高知県住宅宿泊事業法に基づく条例検討委員会 会長			高知県知事	
教授	橋尾 直和	NPO豊永郷民俗資料保存会評議員	NPO豊永郷民俗資料保存会 理事長	
		豊永郷民俗資料館建設委員会委員	NPO豊永郷民俗資料保存会 理事長	
		流域圏学会評議員	流域圏学会 会長	
		高知県視聴覚ライブラリーメディア検討委員	高知県教育長	
		高知市文化財保護審議会委員	高知市教育長	
		南国市後川流域のエンコウ祭調査委員会副委員長	南国市教育長	
		物部庄谷相拓の歴史と文化を考える会副会長	物部庄谷相拓の歴史と文化を考える会 会長	

学部	職名	氏名	審議会・委員会名等	発令者
文化学部	教授	橋尾 直和	焼畑による山おこしの会評議員	焼畑による山おこしの会会長
			スローフード高知味の箱舟委員	スローフード高知会長
	教授	三浦 要一	高知県文化財保護審議会委員	高知県教育長
			高知県文化財専門委員	高知県教育長
			土佐遍路道・札所寺院保存検討委員会 委員長	高知県教育長
			高知市景観審議会 会長	高知市長
			高知市文化財保護審議会 副会長	高知市教育長
			史跡高松城跡建造物整備会議委員	高松市長
			高知ヘリテージマネジャー・サポーター養成講座実行委員会委員	高知県建築士会長
	独立行政法人 日本学術振興会審査委員候補者	日本学術振興会理事長		
	准教授	飯高伸五	大川村史編纂委員会 編纂アドバイザー	大川村長
	准教授	宇都宮 千穂	高知市自由民権記念館運営協議会委員	高知市長
			高知市住宅審議会委員	高知市長
	准教授	菊池 直人	高知県消費生活審議会委員	高知県知事
			高知市消費生活審議会委員	高知市長
			土佐市個人情報保護運営審議会委員	土佐市長
土佐市情報公開・個人情報保護審査会委員			土佐市長	
准教授	根岸 忠	介護労働安定センター雇用管理改善促進事業 啓発実践推進委員会委員長	介護労働安定センター高知 支部長	
		高知県個人情報保護審査会	高知県知事	
看護学部	教授	池添 志乃	高知県衛生研究所疫学倫理審査委員会委員	高知県衛生研究所長
			大学設置・学校法人審議会(大学設置分科会)専門委員	文部科学省高等教育局長
			南国市調査専門委員	南国市教育長
			平成29年度高知県公立学校教員採用候補者選考審査筆記審査問題の調査研究員	高知県教育長
			平成29年度高知県スクールヘルスリーダー連絡協議会委員	高知県教育委員会事務局 保健体育課長
	教授	池田 光徳	相模女子大学・相模女子大学短期大学部ヒトを対象とする研究倫理 委員会外部委員	相模女子大学・相模女子 大学短期大学部 学長
			高知県健康づくり推進協議会及び各部会委員	高知県健康政策部長
			土佐市子どもの健康づくり支援委員会委員	土佐市長
			高知県地方薬事審議会委員	高知県健康政策部長
	教授	瓜生 浩子	日本家族看護学会第25回学術集会の企画委員	日本家族看護学会第25回学 術集会会長
	教授	大川 宣容	日本がん看護学会編集委員会委員	一般社団法人日本がん看護 学会理事長
	教授	竹崎 久美子	災害看護委員会・保健師助産師看護師実習指導者講習検討会委員	公益社団法人高知県看護協 会会長

学部	職名	氏名	審議会・委員会名等	発令者
看護学部	教授	長戸 和子	平成29年度高知県公立学校教員採用候補者選考審査筆記審査問題の調査研究員	高知県教育長
			新人看護職員研修検討会委員	公益社団法人高知県看護協会会長
			専門看護師認定実行委員会(家族支援)委員	公益社団法人 日本看護協会会長
	教授	中野 綾美	専門看護師制度委員会委員	公益社団法人 日本看護協会会長
			高知医療センター地域医療支援病院運営委員会委員	高知県・高知市病院企業団立高知医療センター病院長
			日本看護系大学協議会高度実践看護師教育課程認定委員会委員	一般社団法人日本看護系大学協議会代表理事
			高知県の看護を考える検討委員会委員	高知県健康政策部医療政策課長
			特別免許状授与に係る教育職員検定審査会委員	高知県教育長
	教授	藤田 佐和	日本看護系大学協議会高度実践看護師教育課程認定委員会がん看護専門分科会委員	一般社団法人日本看護系大学協議会高度実践看護師教育課程認定委員会委員長
			社会保険診療報酬支払基金高知支部幹事	社会保険診療報酬支払基金高知支部長
			高知県国民健康保険運営協議会委員	高知県健康政策部長
			独立行政法人大学改革・学位授与機構大学機関別認証評価委員会専門委員	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構長
			第一副会長委員	公益社団法人高知県看護協会会長
			第32回日本がん看護学会学術集会査読委員	第32回日本がん看護学会学術集会学術集会会長
			和文誌専任査読委員	公益社団法人日本看護科学学会理事
			日本災害看護学会 組織会員委員会委員	日本災害看護学会理事長
			研究学会委員会 認定看護管理者教育運営委員会委員	公益社団法人高知県看護協会会長
			専門看護師認定実行委員会委員(がん看護)委員	公益社団法人 日本看護協会会長
			在宅看護学術集会準備委員会委員	公益社団法人高知県看護協会会長
	教授	森下 安子	日本看護系大学協議会高度実践看護師教育課程認定委員会委員	一般社団法人日本看護系大学協議会代表理事
			高知市在宅医療・介護連携推進委員会委員	高知市長
			介護認定審査会委員会委員	仁淀川広域市町村圏事務組合
			高知市地域密着型サービスの運営に関する委員会委員	高知市長
			高知市地域高齢者支援センター運営協議会委員	高知市長
			在宅ケア領域看護師研修検討会	公益社団法人高知県看護協会 会長 宮井 千恵
			高知県訪問看護推進協議会委員	高知県健康政策部医療政策課長
	教授	時長 美希	国保・後期高齢者ヘルスサポート事業運営委員会委員	高知県国民健康保険団体連合会理事長
			高知県人材育成ガイドライン評価検討会委員	高知県健康政策部健康長寿政策課長
高知市建築審査会委員			高知市長	
高知市地域保健活動委員会委員			高知市長	

学部	職名	氏名	審議会・委員会名等	発令者
看護学部	教授	山田 覚	高知県防災会議幹事	高知県危機管理・防災課長
			認定看護管理者教育運営委員会委員	公益社団法人高知県看護協会
	准教授	内川 洋子	第48回(平成29年度)日本看護学会—看護管理—論文選考委員会	公益社団法人日本看護協会看護研修学校校長
	准教授	神原 咲子	土佐市災害時要配慮者支援体制連絡協議会委員	土佐市長
			一般社団法人日本災害看護学会第20回年次大会企画委員会委員	一般社団法人日本災害看護学会第20回年次大会長
			南海トラフ地震対策啓発テレビCM制作放送委託業務プロポーザル審査委員会委員	高知県危機管理部南海トラフ地震対策課長
			高知コアセンター評議員会委員	高知大学海洋コア総合研究センター長
	准教授	森本 悦子	認定看護師教育課程教育委員会委員	静岡県立静岡がんセンター事業管理者がんセンター局長
	講師	高谷 恭子	高知県小児救急電話相談事業運営協議会委員	公益社団法人高知県看護協会会長
			日本小児看護学会倫理委員会委員	一般社団法人日本小児看護学会理事長
	助教	川本 美香	保健師職能委員会委員	公益社団法人高知県看護協会会長
	助教	庄司 麻美	第48回(平成29年度)日本看護学会—慢性期看護—論文選考委員会	公益社団法人日本看護協会看護研修学校校長
	助教	高樽 由美	日本専門看護師協議会委員	日本専門看護師協議会代表
			第48回(平成29年度)日本看護学会—慢性期看護—論文選考委員会委員	公益社団法人日本看護協会看護研修学校校長
	助教	西内 舞里	看護研究論審査委員会委員	公益社団法人高知県看護協会会長
	特任教授	中山 洋子	医道審議会委員会委員	厚生労働省
公立大学法人 福島県立医科大学 ふくしま国際医療科学センター 放射線医学県民健康管理センター 専門委員会委員			公立大学法人福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター放射線医学県民健康管理センター長	
特任教授	南 裕子	日本災害看護学会 国際交流委員会委員	一般社団法人日本災害看護学会理事長	
特任助教	門田 麻里	第48回(平成29年度)日本看護学会—慢性期看護—論文選考委員会	公益社団法人日本看護協会看護研修学校校長	
社会福祉学部	教授	杉原 俊二	高知県スクールソーシャルワーカー活用事業スーパーバイザー(高知県教育委員会)	高知県教育長
			高知県いじめ問題調査委員(高知県教育委員会)	高知県教育長
			高知県社会福祉協議会理事選考委員	高知県社会福祉協議会会長
	教授	田中 きよむ	運営適正化委員会委員	高知県社会福祉協議会会長
			高知市社会福祉審議会委員長	高知市長
			高知市社会福祉審議会民生委員審査専門分科会会長	高知市長
			高知市国民健康保険運営協議会委員	高知市長
			高知市福祉有償運送運営協議会委員	高知市長
本山町地域福祉計画アドバイザー	本山町・本山町社会福祉協議会			
土佐清水市地域福祉計画アドバイザー	土佐清水市・土佐清水市社会福祉協議会			

学部	職名	氏名	審議会・委員会名等	発令者
社会福祉学部	教授	田中 きよむ	北川村地域福祉計画アドバイザー	北川村・北川村社会福祉協議会
			佐川町地域福祉計画アドバイザー	佐川町・佐川町社会福祉協議会
			四万十町地域福祉活動計画アドバイザー	四万十町社会福祉協議会
			梶原町地域福祉計画策定委員	梶原町
			高知県介護ケア研究会会長	発令者なし(任意の会のため。代表は会員の互選)
			全国障害者問題研究会高知支部長	発令者なし(任意の会のため。代表は会員の互選)
			高知県社会保障推進協議会会長	発令者なし(任意の会のため。代表は会員の互選)
			高知県保育運動連絡会会長	発令者なし(任意の会のため。代表は会員の互選)
			「ホームレス支援と貧困問題を考えるこうちの会」代表	発令者なし(任意の会のため。代表は会員の互選)
			高知県地域年金事業運営調整会議委員長	高知東年金事務所長
			高知弁護士会綱紀委員会委員・高知弁護士会資格審査会予備委員	高知弁護士会会長
			高知市生活困窮者支援運営委員会委員、セーフティネット連絡会委員	高知市社会福祉協議会会長
			高知市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員	高知市長
			仁淀川町地域福祉活動計画アドバイザー	仁淀川町社会福祉協議会
			第三者委員	社会福祉法人高知福祉会・社会福祉法人すずめ福祉会・社会福祉法人フアミーコ高知
	教授	長澤 紀美子	高知市行政改革推進委員会委員	高知市長
			佐川町公文書開示審査会	佐川町長
			高知県社会福祉協議会地域密着型サービス外部評価事業評価審査委員	高知県社会福祉協議会会長
			高知市指定管理者業務評価委員会	高知市長
	教授	丸山 裕子	高知県スクールソーシャルワーカー活用事業スーパーバイザー(高知県教育委員会)	高知県教育長
	教授	宮上 多加子	高知県福祉活動支援基金運営委員会委員	高知県社会福祉協議会会長
			日常生活自立支援事業契約締結審査会委員長	高知県社会福祉協議会会長
			高知県医療提供体制推進事業等評価委員会委員	高知県知事
			高知市民生委員推薦会委員	高知市長
			高知県社会福祉審議会委員	高知県知事
			高知県社会福祉協議会理事	高知県社会福祉協議会会長
准教授	鈴木 孝典	高知県精神医療審査会委員	高知県知事	
		高知県自立支援協議会委員(副会長)	高知県地域福祉部長	
		高知県自立支援協議会人材育成部会委員(部会長)	高知県障害保健福祉課長	
		高知県障害者施策推進協議会委員	高知県知事	
		高知県障害者差別解消支援地域協議会委員	高知県知事	

学部	職名	氏名	審議会・委員会名等	発令者
社会福祉学部	准教授	鈴木 孝典	高知県障害者介護給付費等不服審査会委員	高知県知事
			高知市障害者計画等推進協議会委員(会長)	高知市長
			社会福祉法人土佐あけぼの会評議員及び第三者委員	社会福祉法人土佐あけぼの会理事長
			社会福祉法人ファミーユ高知評議員	社会福祉法人ファミーユ高知理事長
			高知県福祉人材センター・高知県福祉研修センター運営委員会委員(副委員長)	高知県社会福祉協議会会長
	准教授	西内 章	高知県行政不服審査会委員	高知県知事
			高知県スクールソーシャルワーカー活用事業スーパーバイザー(高知県教育委員会)	高知県教育長
			高知市高齢者虐待予防ネットワーク会議(会長)	高知市長
			高知県高齢者・障害者権利擁護センター運営協議会(副会長)	高知県社会福祉協議会会長
			高知市社会福祉協議会評議員	高知市社会福祉協議会会長
			高知市成年後見サポートセンター運営委員	高知市社会福祉協議会会長
			津野町地域包括支援センター・地域密着型サービス運営協議会委員	津野町長
			市町村社会福祉協議会地域支援事例研究会アドバイザー	高知県社会福祉協議会会長
	准教授	西梅 幸治	高知県スクールソーシャルワーカー活用事業スーパーバイザー(高知県教育委員会)	高知県教育委員会
	准教授	山村 靖彦	高知市地域福祉計画推進協議会委員(委員長)	高知市長
			高知県地域生活定着支援センタープロポーザル審査委員会委員(委員長)	高知県地域福祉部長
			高知市社会福祉協議会評議員選定委員会(委員長)	高知市社会福祉協議会会長
			南国市地域福祉計画策定委員会(副委員長)	南国市長
			高知市都市再生協議会委員	高知市長
			高知県共同募金会評議員	高知県共同募金会会長
			高知県共同募金会配分委員	高知県共同募金会会長
			高知県自立支援協議会相談支援体制づくり部会委員	高知県障害保健福祉課長
			南国市社会福祉協議会評議員選定委員会委員	南国市社会福祉協議会会長
			南国ネットワーク連絡会委員	南国市社会福祉協議会会長
			高知市社会福祉協議会「地域支援事例検討会」スーパーバイザー	高知市社会福祉協議会会長
			高知県生活支援コーディネーター指導者養成研修委員	高知県社会福祉協議会会長
			講師	井上 健朗
高知県委託事業「退院支援事業」プロジェクトメンバー	高知県			
土佐市地域ケア会議推進プロジェクトメンバー	土佐市長			
救急認定医療ソーシャルワーカー研修委員	救急認定ソーシャルワーカー認定機構			
講師	河内 康文	南国市高齢者及び障害者虐待防止ネットワーク委員会委員	南国市長	
		いの町社会福祉協議会法人成年後見制度運営会委員	いの町社会福祉協議会会長	
講師	遠山 真世	高知県社会福祉士会理事(国家試験対策委員会)	高知県社会福祉士会会長	



学部	職名	氏名	審議会・委員会名等	発令者
社会福祉学部	助教	鈴木 裕介	高知県医療ソーシャルワーカー協会理事	高知県医療ソーシャルワーカー協会会長
	助教	雑賀正彦	和歌山県介護支援専門員 指導者	和歌山県介護支援専門員協会会長
			和歌山県社会福祉士会 監事	和歌山県社会福祉士会会長
助教	田中 眞希	社会福祉法人ミレニアム 障害者支援施設 アドレス高知・第三者委員	社会福祉法人ミレニアム理事長	
健康栄養学部	教授	村上 尚	高知県衛生研究所研究協議会委員	高知県衛生研究所長
	教授	稲井 玲子	平成30年度高知県公立学校教員採用候補者選考審査 筆記試験審査問題・委員	高知県教育委員会委員長
			高知県食育推進委員	高知県知事
	教授	渡邊 浩幸	土佐フードビジネススクリエーター(FBC)人材創出 講義担当	
			高知県事業審査アドバイザー委員長	高知県知事
			越知町まち・ひと・しごと創生推進会議(委員)	
	准教授	荒牧 礼子	土佐市プロジェクトメンバー	
			第3次南国市食育推進会議委員	南国市長
	准教授	鈴木麻希子	高知県行政栄養士人材育成検討会委員	高知県健康政策部健康長寿政策課長
			高知県小・中・高・大家庭科教育連合会理事	高知県小・中・高・大家庭科教育連合会長
	講師	島田 郁子	高知県栄養士会はちきん編集委員	高知県栄養士会長
			土佐市社会福祉事業団理事	土佐市長
			土佐市立学校給食センター運営審議会委員	土佐市教育長
			土佐市学校給食センター建設工事基本設計及び実施設計委託業務に係る公募型技術提案審査委員	土佐市長
			南国市学校給食センター建設委員会委員	南国市長
			南国市学校給食センター運営委員会委員	南国市教育長
			高知市学校給食調理業務に係るプロポーザル選定委員会委員	高知市長
			安芸市学校給食運営委員	安芸市教育長
	講師	廣内 智子	第64回日本栄養改善学会運営委員	(公)日本栄養士会長
			第36回食事療法学会運営委員(広報)	(公)日本栄養士会医療事業部
助教	田中 守	JDA-DATスタッフ養成研修運営委員		
		高知県産学官運営委員会委員	高知県知事	
助教	沼田 聡	公益社団法人高知県栄養士会研究教育事業部代表理事		
助手	彼末 富貴	高知市春野郷土資料館運営審議会委員	高知市教育委員会	
地域教育研究センター	教授	一色 健司	高知県環境影響評価技術審査会	高知県知事
			高知みらい科学館アドバイザー	高知県教育長・高知市教育長
			仁淀川流域学識者会議	国土交通省四国地方整備局長・高知県知事
			物部川流域学識者会議	国土交通省四国地方整備局長・高知県知事
			高知県廃棄物処理施設設置審査会	高知県知事

学部	職名	氏名	審議会・委員会名等	発令者
地域教育研究センター	教授	一色 健司	高知市産業廃棄物処理施設設置審議会	高知市長
			高知県環境審議会	高知県知事
			新宇治川放水路地下水監視委員会	いの町長
			高知市学校支援地域本部事業推進委員会	高知市教育長
	教授	清原 泰治	高知県社会貢献活動支援推進会議会長	高知県知事
			高知県スポーツ振興県民会議生涯スポーツ推進部会委員	高知県知事
			高知市スポーツ推進審議会副委員長	高知市教育長
			高知県地域活性化雇用創造プロジェクト推進協議会委員	高知県知事
			公立大学協会の学生交流に関するワーキンググループ主査	公立大学協会会長
			津野町まち・ひと・しごと創生有識者会議会長	津野町長
			佐川町まち・ひと・しごと創生推進会議委員	佐川町長
			土佐市創生有識者会議委員	土佐市長
			高知放送番組審議会委員	高知放送社長
	高知県ボランティア・NPOセンター運営委員会委員	高知県社会福祉協議会会長		
准教授	鈴木康郎	教師教育コンソーシアム高知事業部会・委員	高知県立大学・学長	
講師	野辺陽子	こうち男女共同参画社会づくり財団・運営委員	こうち男女共同参画社会づくり財団	
健康センター長寿セ	特任准教授	森下 幸子	高知県訪問看護推進協議会委員	高知県知事
			安芸市在宅医療・介護連携推進プロジェクト会議アドバイザー	安芸市長



### 3 学外提供用刊行物作成状況(平成29年度)

作成元	担当部署	名 称
文化学部	広報委員会	思索と実践、文化の力
	自己点検・評価委員会	文化学部活動記録
看護学部	看護学部看護学科	看護学部活動報告書
		看護学部 年報
		平成29年度看護実習要項
		高知女子大学看護学会誌 第42巻2号・43巻1号
		看護学部オープンキャンパスポスター2017年版
		看護学部オープンキャンパスチラシ2017年版
		看護学部PR誌-看護学部受験生向けPR誌2017年版(赤冊子)
		看護学部ニューズレター学生生活通信『fure-fure』第13・14号
		高知県立大学看護学部同窓会会報 第15・16号
		看護実習中の事故予防・安全教育、発生時の対応について(Ver. 3)
		健康管理のしおり～自分の健康は自分で守ろう～(冊子)
社会福祉学部	社会福祉学部	高知県立大学社会福祉学部報第19号
		2018年度社会福祉学部パンフレット
		高校生のための公開講座(リーフレット)
		社会福祉学部リカレント教育講座(リーフレット)
		健康長寿センター社会福祉学部体験型セミナー(パンフレット)
健康栄養学部	健康栄養学部健康栄養学科	高知県立大学健康栄養学部報 第8号
大学院	看護学研究科	高知県立大学大学院看護学研究科 創設20周年記念誌
地域教育研究センター	地域連携課	高知県立大学地域教育研究センター報 第5号
		地域教育研究センターパンフレット
		2017立志社中リーフレット
		平28年度立志社中活動成果報告書
		域学共生事業報告書
		就職@高知
		地域連携事業報告書第4号
総合情報センター	図書情報部	総合情報センター年報
		永国寺図書館利用案内
		池図書館利用案内
健康長寿センター	企画連携課	平成29年度高知県立大学健康長寿センター活動報告書
		高知県立大学健康長寿センターパンフレット
		高知県中山間地域等訪問看護師育成講座パンフレット
		訪問看護師スタートアップ研修 I・Uターンパンフレット
		訪問看護師スタートアップ研修 新卒用パンフレット
広報委員会	企画連携課	全学広報誌「Pin+」vol.9～vol.12(年4回発刊)
全学	入試課	就職図鑑 Vol3
		OPEN CAMPUS(パンフレット、チラシ、ポスター)

作成元	担当部署	名 称
全学	入試課	平成30年度入学者選抜に関する要項
		平成30年度学生募集要項(推薦入試、社会人入試、編入学試験、夜間主コース、一般入試、私費外国人留学生入試)

## 12 財 務

### 1. はじめに

本法人は、平成23年4月1日に地方独立行政法人法に基づく公立大学法人となり、今期が第2期中期計画の初年度にあたる第7期目の決算となります。

公立大学法人の会計基準は、企業会計を基本としながらも、主たる業務内容が教育・研究であり、利益の獲得を目的としないなどの特殊性を考慮した「地方独立行政法人会計基準」に基づき作成されるもので、県民をはじめとする利害関係者に、法人の財政状態や運営状況を明らかにするために、作成が義務付けられています。

第34条第1項では、毎事業年度終了後3ヶ月以内に、財務諸表（貸借対照表、損益計算書、利益の処分又は損失の処理に関する書類等）を、設立団体の長に提出し、承認を得なければならないとされており、また第3項では、設立団体の長は、財務諸表を承認しようとするときは、あらかじめ評価委員会の意見を聴かなければならないとされています。

平成29年度の財務諸表上の表記は下記となっております。

法人を構成する高知県立大学、高知短期大学、高知工科大学及び法人本部については、法人本部、高知県立大学（高知短期大学を含む）、高知工科大学の3セグメントに区分し、貸借対照表及びキャッシュ・フロー計算書は県立大学単独の表記、損益計算書上は区分ごとに開示しております。

行政サービス実施コスト計算書は法人全体の数値を表示することとなります。

### 2. 貸借対照表

貸借対照表は、平成30年3月31日現在の、全ての財産（資産、負債・純資産）の状況を示した書類です。

平成29年度の資産総額は、

固定資産が 65億9千9百万円 (95.5%) 流動資産が3億 8百万円 (4.5%)

合計 69億 7百万円 (100.0%) となっております。

固定資産が資産の95.5%を占め、このうち県からの出資財産（土地、建物）が、53億7千3百万円で資産全体の77.8%を占めております。

負債の総額は、10億5千5百万円となっております。

固定負債が 8億1千7百万円

（うち資産見返負債<sup>1</sup> 7億8千2百万円 負債全体の74.1%）

流動負債が 2億3千7百万円

（うち短期寄附金債務 3百万円 同 0.28%）

<sup>1</sup>資産見返負債：運営費交付金・寄附金・無償譲与・補助金等の財源で取得した固定資産の見合いで負債に計上され、固定資産の減価償却に伴って、資産見返負債戻入という収益に振替られるもので、資産・負債を均衡させるために必要なものです。

負債総額のうち、資産の見返として計上し、減価償却処理により費用が発生する都度、取り崩して収益化する資産見返負債が7億8千2百万円と負債全体の74.1%を占め、使途特定寄附金収入のうち来期以降に使用する予定の短期寄附金債務が、3百万円で、0.28%となっています。

純資産の総額は58億5千2百万円で、内訳は  
資本金（県からの出資金）が61億6千7百万円、資本剰余金が△4億円  
利益剰余金が8千6百万円（うち当期末処分利益5千3百万円）となっております。

貸借対照表における主な変更点は以下のとおりです。

（資産の部）

1	建物附属設備	永国寺キャンパス新学生会館セキュリティシステム	2百万円
2	工具器具備品	永国寺キャンパス新学生会館情報ネットワークシステム	3百万円
		ナーシングアンシミュレータ	2百万円
		呼吸音聴診シミュレータ	2百万円
3	リース工具器具備品	高速カラープリンター	5百万円
4	美術品	永国寺キャンパス寄付受入	9百万円

（負債の部）

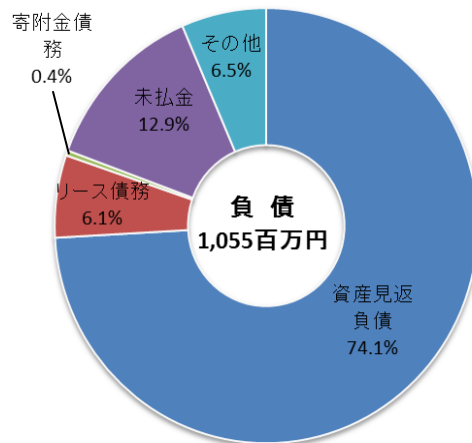
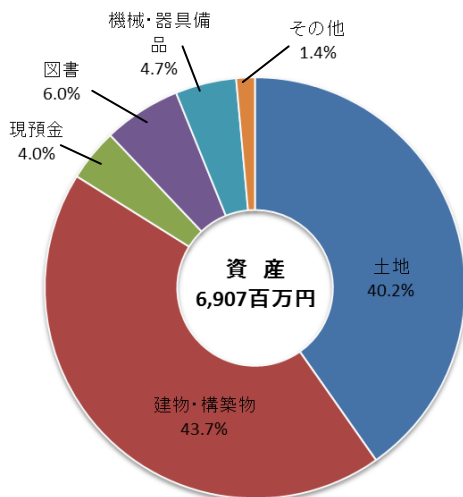
1	長期リース債務	高速カラープリンター	4百万円
---	---------	------------	------

## 貸借対照表の概要

(単位：百万円)

資産の部	固定資産	有形固定資産	土地	2,780	負債の部	固定負債	資産見返負債	782
			建物	2,944			長期寄附金債務	0
			構築物	70			長期リース債務	35
			機械装置	34			資産除去債務	0
			工具器具備品	290			小計	817
			図書	411		流動負債	寄附金債務	3
			車両運搬具	2			未払金	136
			美術品・収蔵品	24			その他の流動負債	98
			小計	6,558			小計	237
		無形固定資産	39	合計③		1,055		
	投資その他の資産	1	純資産の部	資本金	6,167			
	合計①	6,599		資本剰余金	△ 400			
	流動資産	現金及び預金		277	利益剰余金	86		
		その他の流動資産		31	合計④	5,852		
		合計②	308					
資産合計①+②			6,907	負債純資産合計③+④		6,907		

※百万円未満切捨て



2

<sup>2</sup> グラフの作成に当たっては、各項目の金額を百万円未満切り捨ての数値ではなく、実数をもとに算出しています。損益計算書のグラフも同様です。

### 3. 損益計算書

損益計算書は、当期に発生した目的別費用とそれに対応する収益構造を記載した計算書です。  
経常費用の総額は、24億5千7百万円で、内訳は業務費が23億2千2百万円で、一般管理費が1億3千3百万円、支払利息等の財務費用が1百万円となっています。

業務費23億2千2百万円の内訳は、

教育研究経費	7億1千9百万円 (対経常費用 29.3%)
教育経費	4億4千7百万円
研究経費	1億4千7百万円
教育研究支援経費	1億2千5百万円
受託研究等経費	1千9百万円 (対経常費用 0.8%)
受託研究費等	9百万円
受託事業費等	1千 万円
人件費	15億8千2百万円 (対経常費用 64.4%)

※受託研究・事業費に参入した人件費を除く

人件費が経常費用に占める割合は、64.4%となっております。

経常収益の総額は、25億1千1百万円で、内訳は

運営費交付金収益	14億 4百万円 (対経常収益 55.9%)
授業料等収益	8億1千 万円 (同 32.3% 授業料、入学金、検定料収入を含む)
受託研究等収益	2千4百万円 (同 1.0% 受託事業等収益含む)
寄附金・補助金収益	1億 4百万円 (同 4.1%)
資産見返負債戻入	1億 4百万円 (同 4.1%)
財務収益・雑益	6千 万円 (同 2.4%)

経常収益から経常費用を差し引いた 経常利益は、5千3百万円 となりました。

目的積立金取崩額は計上されていないため、当期総利益も5千3百万円 となっています。

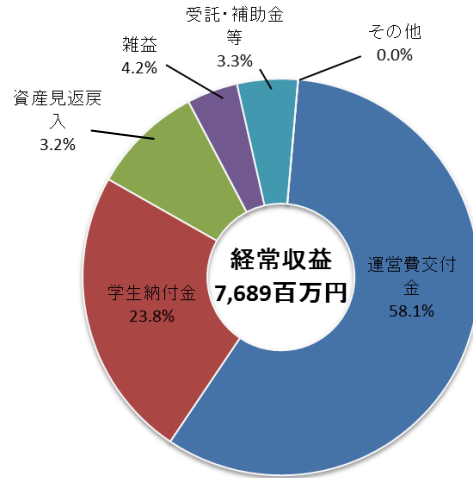
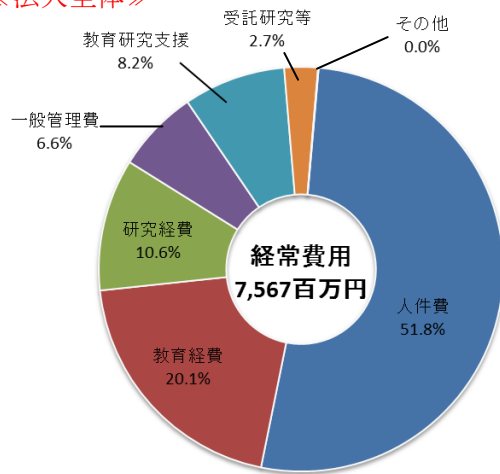
## 損益計算書の概要

(単位：百万円)

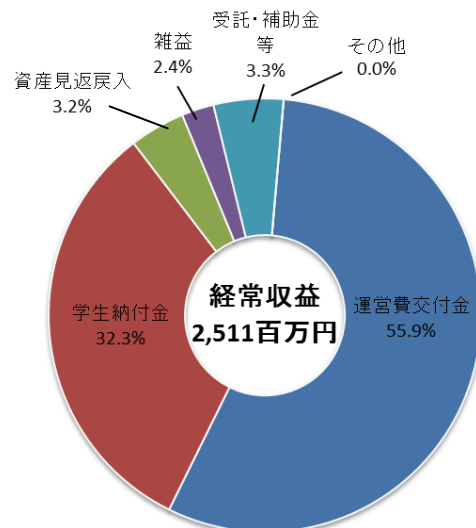
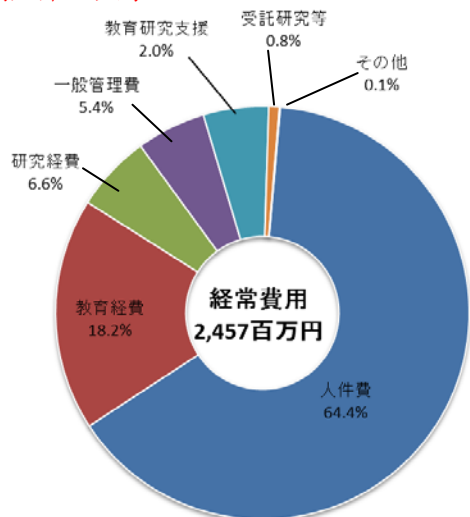
勘定科目		県立	工科	法人本部	法人全体	勘定科目						
						県	工	法人本部	法人全体			
経常費用	業務費	教育経費	447	1,076		1,523	経常収益	運営費交付金収益	1,404	2,996	62	4,463
		研究経費	147	652		799		授業料収益	706	804		1,510
		教育研究支援経	125	491		617		入学料収益	84	157		242
		受託研究費	9	169		178		検定料収益	20	52		73
		受託事業費	10	13		24		受託研究等収益	12	172		185
		役員人件費			9	9		受託事業等収益	12	13		26
		教員人件費	1,162	1,696		2,858		寄附金収益	29	44		74
		職員人件費	420	621	9	1,052		補助金等収益	75	19		95
		合計	2,322	4,721	19	7,063		資産見返負債戻	104	592		697
		一般管理費	133	322	44	500		財務収益				0
	財務費用・雑損	1	1		3	雑益		60	255	3	320	
合計	2,457	5,046	63	7,567	合計	2,511	5,110	66	7,689			
当期総利益		53	64	3	121	目的積立金取崩額						

※百万円未満切捨て

### 《法人全体》



### 《高知県立大学》



#### 4. その他の主要諸表

##### ① キャッシュ・フロー計算書

損益計算書は発生主義により作成されるため、資金の状況とは一致しないことから、資金の状況を把握するために、業務活動、投資活動、財務活動の区分から、当期の資金収支の状況を示した書類がキャッシュ・フロー計算書です。なお、当期末の資金残高は、2億7千7百万円です。

##### キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	104
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 83
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 30
IV 資金増減額	△ 10
V 資金期首残高	287
VI 資金期末残 合併による資金の増加額	0
VII 資金期末残高	277

※百万円未満切捨て

##### ② 利益の処分に関する書類

利益の処分に関する書類は、損益計算上の利益の処分を明らかにするための書類です。公立大学法人における利益処分方法は、公立大学法人が効率的・効果的に事業を実施し、自己収入の増加あるいは費用の節減等により生じた利益として、設立団体の長が承認し翌事業年度以降に大学で自由に用途を決定できる「目的積立金」と翌事業年度以降の損失の補填のみに用途が限定された「積立金」として処分する方法があります。

##### ③ 行政サービス実施コスト計算書（法人全体）

行政サービス実施コスト計算書は、損益計算書上の費用に加え法人運営上コストとなっている損益外減価償却費や機会費用等を計上することにより、県（県民）が負担している全コストを明らかにするための書類です。当年度の実質的成本は、59億5千4百万円です。

##### 行政サービス実施コスト計算書の概要

(単位：百万円)

I 業務費用	4,839
(1) 損益計算書上の費用	7,567
(2) 自己収入等	△2,728
II 損益外減価償却相当額	327
III 引当外賞与増加見積額	6
V 機会費用	767
VI 行政サービス実施コスト	5,954

※百万円未満切捨て



5 外部資金導入の状況

(1) 科学研究費助成事業交付状況

【科学研究費助成事業交付実績】

(単位:千円)

研究種目	学部	役割	職名	氏名	研究題目	新規・継続の別	研究期間	～H28		H29		H30～(予定)		総額(予定含む)	
								直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費
基盤研究A	看護	研究代表者	教授	野嶋 佐由美	災害時における家族レジリエンスを促す看護支援モデルの構築と活用	継続	H26～H29	23,300	6,990	7,800	2,340	0	0	31,100	9,330
基盤研究A 小計								23,300	6,990	7,800	2,340	0	0	31,100	9,330
基盤研究B	看護	研究代表者	教授	南 裕子	地球規模課題の解決とパラダイムシフトをもたらす災害看護学の構築	新規	H29～H31	0	0	4,000	1,200	7,000	2,100	11,000	3,300
		研究代表者	教授	中野 綾美	命に向き合う子どもと親のエンド・オブ・ライフへの看護支援モデルの構築と活用	新規	H29～H32	0	0	4,600	1,380	8,400	2,520	13,000	3,900
		研究代表者	准教授	佐東 美緒	医療的ケアが必要な在宅療養中の子どもと家族の災害に備えた協働支援プログラムの開発	新規	H29～H32	0	0	2,000	600	5,300	1,590	7,300	2,190
		研究代表者	准教授	ガン ランドウ	Participatory, Social Transformational Community Health Action for Prevention of Malaria and Communicable Diseases in Democratic Republic of Congo	新規	H29～H31	0	0	5,100	1,530	4,200	1,260	9,300	2,790
		研究代表者	教授	藤田 佐和	がん認知症を併せもつ高齢がん患者の緩和ケアと認知症ケアの統合ケアモデルの開発	継続	H28～H31	3,200	960	2,300	690	4,400	1,320	9,900	2,970
		研究代表者	准教授	神原 咲子	平時の地域モニタリング機能を有する減災看護モデルの構築	継続	H26～H29	7,100	2,130	900	270	0	0	8,000	2,400
	社会福祉	研究代表者	教授	丸山 裕子	ハイリスクな状態にある利用者システムへのコンピテンシ思考実践過程支援モデルの研究	継続	H27～H29	5,400	1,620	1,800	540	0	0	7,200	2,160
基盤研究B 小計								15,700	4,710	20,700	6,210	29,300	8,790	65,700	19,710
基盤研究C	文化	研究代表者	准教授	宇都宮 千穂	移住促進政策と「移住の失敗」の実態調査	新規	H29～H31	0	0	500	150	1,000	300	1,500	450
		研究代表者	教授	吉川 孝	古社寺保存法時代の特別保護建造物の修理における設計変更の概念の生成とその確立	新規	H29～H31	0	0	900	270	1,400	420	2,300	690
		研究代表者	准教授	金澤 俊吾	英語の事象修飾に見られる、形式と意味との対応関係とその規則性について	継続	H28～H30	500	150	500	150	500	150	1,500	450
		研究代表者	教授	三浦 要一	古社寺保存法時代の特別保護建造物の修理における設計変更の概念の生成とその確立	継続	H28～H30	700	210	600	180	600	180	1,900	570
		研究代表者	准教授	高西 成介	周縁テキスト(注釈・翻訳)の自立性をめぐる歴史的・理論的研究	継続	H27～H29	2,200	660	1,100	330	0	0	3,300	990
		研究代表者	講師	飯高 伸五	ミクロネシアの太平洋戦争戦跡のレジヤン化とヘリテージ化に関する慣行人類学的研究	継続	H27～H29	1,500	450	600	180	0	0	2,100	630
		研究代表者	准教授	菊池 直人	生命保険契約における被保険者の地位についての比較的研究	継続	H27～H29	1,000	300	500	150	0	0	1,500	450
	看護	研究代表者	講師	井上 正隆	地方都市でのクリティカルケア看護熟達者の発展的相互学習システムの構築	新規	H29～H31	0	0	1,400	420	2,100	630	3,500	1,050
		研究代表者	教授	瓜生 浩子	家族看護実践における倫理調整力強化のためのモデルと教育ツールの開発	新規	H29～H31	0	0	1,400	420	2,200	660	3,600	1,080
		研究代表者	助教	田之頭 恵里	生体肝移植を受けた子どものレジリエンスを高める看護実践ガイドラインの開発	新規	H29～H31	0	0	1,000	300	1,300	390	2,300	690
		研究代表者	准教授	川上 理子	独居高齢者のエンド・オブ・ライフ期の在宅療養を支える多職種協働プログラム開発	新規	H29～H31	0	0	1,400	420	1,900	570	3,300	990
		研究代表者	准教授	森下 幸子	新卒訪問看護師と学習支援者の期待不一致を解決する学習支援プログラムの構築	新規	H29～H31	0	0	1,300	390	1,800	540	3,100	930
		研究代表者	教授	池添 志乃	発達障害のある子どもと家族の就学期の移行を支える看護ケアモデルの構築	新規	H29～H31	0	0	1,700	510	1,800	540	3,500	1,050
		研究代表者	教授	時長 美希	脆弱性を有する生活困窮者へのマージナルケアモデルの構築	新規	H29～H31	0	0	1,200	360	2,200	660	3,400	1,020
		研究代表者	准教授	森本 悦子	地域一般病院に入院する後期高齢がん患者への複合的な外来看護支援モデルの構築	継続	H28～H30	1,100	330	800	240	800	240	2,700	810
		研究代表者	教授	長戸 和子	糖尿病患者・家族の「家族マネジメント」に即した看護介入の実践に関する研究	継続	H28～H30	1,300	390	900	270	1,300	390	3,500	1,050
		研究代表者	講師	有田 直子	血液・腫瘍疾患を持つ青年が親と行うSDMを支える看護介入プログラムの効果	継続	H28～H30	1,400	420	1,200	360	1,000	300	3,600	1,080
		研究代表者	講師	高谷 恭子	発達障がいをもつ思春期の子どもと親が辿る軌跡を説明できるモデルの構築	継続	H28～H30	1,300	390	1,300	390	1,000	300	3,600	1,080
		研究代表者	教授	田井 雅子	統合失調症者の自我機能に注目するセルフマネジメント促進の看護ケアモデル	継続	H28～H30	1,100	330	1,000	300	800	240	2,900	870
		研究代表者	助教	小原 弘子	在宅療養ケアにおける訪問看護師の判断とケアのガイドラインの開発	継続	H28～H30	500	150	500	150	500	150	1,500	450
		研究代表者	助教	小澤 若菜	中小規模事業場のボリュエーションヘルスマネジメントモデルの構築	継続	H28～H30	1,200	360	1,100	330	1,000	300	3,300	990
		研究代表者	准教授	渡邊 聡子	妊婦を対象とした「災害への備え」を促す介入プログラムの効果検証	継続	H27～H29	0	0	500	150	0	0	500	150
		研究代表者	助教	岩崎 順子	低出生体重児を抱える母親のMCを育成する看護介入プログラムの開発	継続	H27～H29	2,800	840	800	240	0	0	3,600	1,080
		研究代表者	准教授	嶋岡 暢希	多胎児を育てる夫婦のMastery獲得を支える看護援助プログラムの構築	継続	H27～H30	1,700	510	1,100	330	800	240	3,600	1,080
		研究代表者	教授	竹崎 久美子	認知症高齢者の術後安静をより安楽に保つためのケアガイドライン	継続	H27～H29	1,900	570	500	150	0	0	2,400	720
		研究代表者	教授	池田 光徳	在宅看護における褥瘡重症度予測スコアの開発と遠隔褥瘡ケア支援システムの構築	継続	H27～H29	2,500	750	1,100	330	0	0	3,600	1,080
		研究代表者	教授	杉原 俊二	4テーマ分析法を用いた虐待予防「虐待リスク」を抱える保護者支援法(2)	新規	H29～H31	0	0	800	240	900	270	1,700	510
		研究代表者	教授	宮上 多加子	中堅介護職員の循環型経験学習を促すメンタリングの様相	新規	H29～H31	0	0	1,100	330	1,800	540	2,900	870
		研究代表者	講師	三好 弥生	介護者による高齢者の看取り期食事ケアモデル構築に向けた実証的研究	継続	H28～H30	300	90	400	120	200	60	900	270
		研究代表者	講師	嶋岡 亜紀子	ホームヘルパーが生活援助サービスのなかで用いる援助方略の可視化	継続	H28～H30	800	240	1,000	300	800	240	2,600	780
	研究代表者	准教授	鈴木 孝典	内科的管理を要する疾患をもつ高齢精神障害者のセルフケア機能評価支援ツールの開発	継続	H28～H30	700	210	900	270	1,100	330	2,700	810	
	研究代表者	准教授	中島 洋	長野県社会部厚生課長としての原崎秀司の職務内容とホームヘルプ事業化との関連	継続	H28～H30	1,300	390	700	210	800	240	2,800	840	
	研究代表者	講師	河内 康文	EPA介護福祉士の介護現場における経験からの学びに関する研究	継続	H28～H30	500	150	700	210	300	90	1,500	450	
研究代表者	教授	横井 輝夫	ことばと自己認識の喪失過程で認知症者の認識世界に何が起きていくのか?	継続	H27～H30	0	0	600	180	500	150	1,100	330		
研究代表者	准教授	山村 靖彦	社会的孤立の防止に資する社会関係資本の形成と評価:弱いつながりに関する実証的研究	継続	H27～H30	1,300	390	700	210	1,000	300	3,000	900		
研究代表者	教授	田中 きよむ	「小さな拠点」を軸とする共生型地域づくりその形成要因の分析と持続モデルの構築	継続	H27～H29	2,600	780	1,000	300	0	0	3,600	1,080		

研究種目	学部	役割	職名	氏名	研究題目	新規・継続の別	研究期間	～H28		H29		H30～(予定)		総額(予定含む)	
								直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費
基盤研究C	健康栄養	研究代表者	准教授	鈴木 麻希子	新規卵白アレルゲンL-PGDSの高感度定量法の開発と低アレルゲン化	継続	H27～H29	2,800	840	800	240	0	0	3,600	1,080
	地域教育研究センター	研究代表者	講師	野辺 陽子	社会的養護の自治体間格差の実体と要因に関する社会学的研究－量的・質的比較分析	新規	H29～H31	0	0	1,300	390	1,900	570	3,200	960
		研究代表者	准教授	鈴木 康郎	アジア非英語圏における小学校英語の実施に関する実証的比較研究	新規	H29～H31	0	0	1,000	300	2,300	690	3,300	990
		研究代表者	教授	宇野 浩三	教師の住教育力解明とその向上・支援方策確立のための実践的研究	継続	H26～H29	2,900	870	500	150	0	0	3,400	1,020
基盤研究C 小計								35,900	10,770	36,400	10,920	35,600	10,680	107,900	32,370
挑戦的萌芽研究	看護	研究代表者	准教授	大川 宣容	家族の体験を基礎としたクリティカルケアにおける非喫煙ケアガイドラインの開発	継続	H28～H30	900	270	700	210	800	240	2,400	720
		研究代表者	教授	中山 洋子	伏原原発事故によって長期化した避難生活が住民の"生きる力"に及ぼす影響	継続	H28～H29	1,400	420	1,100	330	0	0	2,500	750
挑戦的萌芽研究 小計								2,300	690	1,800	540	800	240	4,900	1,470
研究活動スタート支援	看護	研究代表者	助教	原田 圭子	積雪寒冷地における地域在住高齢者の閉じこもり要因と支援	新規	H29～H30	0	0	1,100	330	400	120	1,500	450
		研究代表者	助教	瀧 めぐみ	行動制限最小化における多職種間の倫理調整プロセスモデルの作成	新規	H29～H30	0	0	1,100	330	1,000	300	2,100	630
		研究代表者	助教	高樽 由美	1型糖尿病患者のresilienceを高める教育プログラム効果の検討	継続	H28～H29	1,100	330	300	90	0	0	1,400	420
		研究代表者	助教	山口 智治	成人期のDMAD療養者を内包する家族が直面する課題と効果的な看護支援方法の考察	継続	H28～H29	1,100	330	600	180	0	0	1,700	510
		研究代表者	助教	吉岡 理枝	非がん高齢者の家族介護者への在宅看取りの意味を引き出す訪問看護ガイドライン	継続	H28～H29	700	210	600	180	0	0	1,300	390
研究活動スタート支援 小計								2,900	870	3,700	1,110	1,400	420	8,000	2,400
若手研究B	文化	研究代表者	講師	オーバーグ アンドリュウ	An Alternative Philosophical Realist Conception of Self	新規	H29～H30	0	0	500	150	500	150	1,000	300
		研究代表者	准教授	清水 直樹	地方レベルの政治的景気循環：日本の都道府県レベルのデータ分析による実証研究	新規	H29～H30	0	0	600	180	500	150	1,100	330
	看護	研究代表者	助教	佃 雅美	トランジションを基盤としたICU新人看護師の看護実践能力向上支援プログラムの開発	新規	H29～H32	0	0	1,300	390	1,900	570	3,200	960
		研究代表者	助教	西内 舞里	妊娠期ケアにおける臨床判断に関する現行教育プログラムの開発	新規	H29～H31	0	0	900	270	1,100	330	2,000	600
		研究代表者	助教	井上 さや子	神経性やせ症患者の身体感覚の回復に向けた、精神看護ケアガイドライン	新規	H29～H31	0	0	1,100	330	2,100	630	3,200	960
		研究代表者	助教	庄司 麻美	肺がん患者の全人的呼吸困難間の看護アセスメントツールの開発	継続	H28～H30	500	150	600	180	300	90	1,400	420
		研究代表者	講師	渡邊 美保	高齢者のリロケーションを支援するケアガイドラインの開発	継続	H28～H31	800	240	900	270	1,100	330	2,800	840
		研究代表者	助教	川本 美香	大腸がん検診精密検査受診行動の促進に向けたケアガイドラインの開発	継続	H28～H30	800	240	500	150	500	150	1,800	540
		研究代表者	助教	榎本 香	精神科外来を拠点とした地域医療－入院医療に対するシームレスケアガイドライン	継続	H27～H29	2,200	660	700	210	0	0	2,900	870
		研究代表者	助教	鈴木 裕介	中山間地域で暮らす要介護高齢者の医療福祉ニーズに対する地域特性を勘案した支援方法	新規	H29～H31	0	0	1,700	510	600	180	2,300	690
	社会福祉	研究代表者	助教	加藤 由衣	省察的実践を志向したスクールソーシャルワーク現行教育方法の研究	継続	H27～H29	1,000	300	400	120	0	0	1,400	420
		研究代表者	助教	稲垣 佳代	精神保健福祉士がもつ就労イメージの変容プロセスと支援への影響に関する研究	継続	H26～H30	1,000	300	20	6	180	54	1,200	360
	健康栄養	研究代表者	助教	隅田 有公子	臨床の場で行われている経腸栄養剤の半固形化法の問題解析と標準化法の提案	新規	H29～H30	0	0	1,300	390	1,800	540	3,100	930
		研究代表者	講師	廣内 智子	発災後の避難所生活における栄養管理に関する研究－東日本大震災の食事	継続	H28～H29	1,500	450	500	150	0	0	2,000	600
研究代表者	助教	田中 守	高知県に自生する未利用天然資源の機能性評価－抗アレルギー活性を指標として－	継続	H28～H30	1,100	330	800	240	900	270	2,800	840		
若手研究B 小計								8,900	2,670	11,820	3,546	11,480	3,444	32,200	9,660
合 計								89,000	26,700	82,220	24,666	78,580	23,574	249,800	74,940

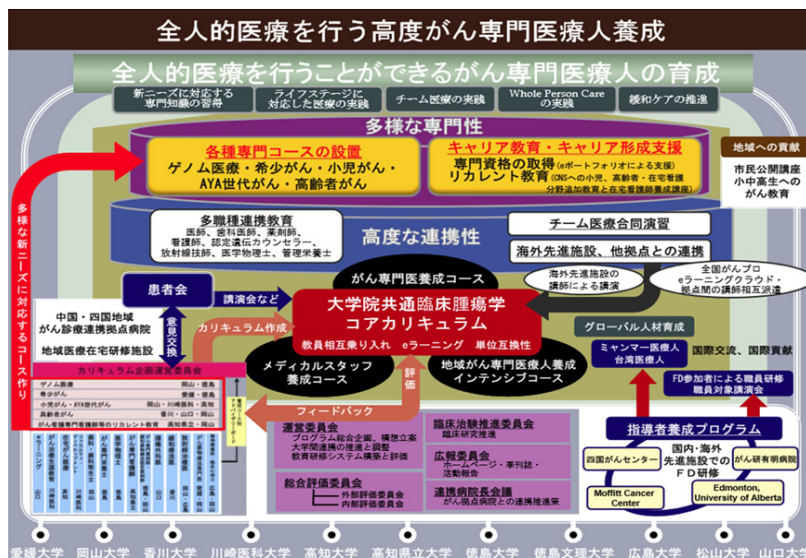
※ 平成29年度の実績報告があった研究について掲載し、職名は、実績報告の職名を記載

## (2) 【「全人的医療を行う高度がん専門医療人養成」プロジェクト】

### ●事業目的

「全人的医療を行う高度がん専門医療人養成」プロジェクトは、中国・四国地方の岡山大学、香川大学、徳島大学、徳島文理大学、高知県立大学、高知大学、愛媛大学、松山大学、山口大学、広島大学、川崎医科大学の11の大学院と、35のがんセンター・がん診療連携拠点病院が参加する多職種の高齢がん専門医療人養成の教育プログラムです。平成19年度に始まりました「中国・四国広域がんプロ養成プログラム」から、平成24年度からの「中国・四国がんプロ養成基盤プログラム」を経て、平成29年度から第3期事業と発展しています。

平成29年度からの5年間行われる第3期事業では、第3期がん対策推進基本計画に盛り込まれるゲノム医療の実用化、小児および希少がんに対するがん医療、さらにAYA (Adolescent and Young Adult) 世代や高齢者などのライフステージに応じたがん対策など、新たな視点から優れたがん専門医療人を育成し輩出することを目指しています。



本学は、中国・四国広域がんプロコンソーシアムに参加し、がん高度実践看護師養成WGの幹事校として活動しています。最初の5年間は、岡山大学、徳島大学とともにがん看護専門看護師WGとして取り組み、コンソーシアム内のがん看護専門看護師養成の教育課程を整備し、中国・四国の看護職の進学を増やすとともに、チーム医療を推進していくがん看護専門看護師の存在意義や専門性、活動内容の理解促進に成果をあげてきました。平成24年度からは、広島大学と山口大学が加わった5大学のWGの幹事校として、がん高度実践看護師の養成をはじめ、インテンシブコースⅠ、インテンシブコースⅡを企画し、看護職の看護実践能力の向上に貢献してきました。

平成29年度からは、“小児がんの子どものケア”“高齢者がん患者の治療とケア”に焦点を当て、教育プログラムを実施しています。また、中国・四国の実情に沿ったライフステージの多様な新ニーズに応える看護の質向上を推進する看護師、質の高い高齢がん患者のケアを創造していく訪問看護師を養成する教育コースを、5大学との連携、地域の保健医療福祉の関連機関との連携体制を強化し、多職種の方々のご支援を得て開講いたします。子どもから高齢者までのライフステージやがんの特性を考慮して、Cancer Trajectoryをたどる人の新ニーズを捉えて対応することのできる高度実践看護師の育成や、すでに実践で活躍されている専門看護師や認定看護師の新ニーズに対応する力を高めるリカレント教育を新たに展開していきます。



## ●事業内容

担当教員

学部	職名	氏名
看護学部	教授	藤田 佐和
	教授	森下 利子
	教授	池田 光徳

事業費

年度	交付金額
平成29年度	8,560千円

## ●がん高度実践看護師教育課程におけるCNS養成と認定の実績

本学大学院看護学研究科では、平成10年度の開設当初より、21世紀の社会環境の変化に対応できる高度な看護の専門性が発揮できる人材育成を目的としたプログラムを用意してきた。現在、9領域の専門看護師コースと5領域の研究コースを設置し、高度な看護実践職者を育成している。また、平成28年度からは、新たに研究コースに成人看護学(慢性期)、小児看護学、地域看護学が加わり、これまでの家族看護学、看護管理学と合わせて5つの専攻領域となる。平成29年12月現在までに、がん看護専門看護師36名を含めて9領域99名の専門看護師を輩出してきた。

年度	入学者数	修了者数	CNS認定数
平成24年度	5	4	4
平成25年度	2	5	4
平成26年度	1	2	5
平成27年度	3	1	3
平成28年度	2	2	1
平成29年度	4	1	0

## ●インテンシブコースⅡ

平成24年度からスタートしたがん高度実践看護師WGでは、がん医療の実践現場において質の高いがん看護実践を推進していく中心的存在となる看護職を育成することを目的に、中国・四国のがん看護実践に携わる看護職の方を対象としたインテンシブコースⅡを企画しています。インテンシブコースⅡでは、5年間の全体テーマを「がん患者のライフステージの様々な新ニーズに応える高度な看護実践の展開」とし毎年テーマを変えて講演会を開催します。平成29年度は、年2回の講演会に参加して頂い35名に参加証明書を発行しました。

## ●がん高度実践看護師(APN)コースⅠ

本学看護学研究科博士前期課程がん看護学およびその他の領域のCNSコースの学生を対象に、がん高度実践看護師の養成および、がん看護をサブスペシャリティとする高度実践看護師の養成目指し、APNコースⅠを開講しました。

## ●がん高度実践看護師(APN)コースⅡ

専門看護師、修士課程修了生、がん看護、小児看護、老年看護に関連する認定看護師を対象に、小児から高齢者までのライフステージやがんの特性を考慮し、がんとともに生きる人とその家族の健康と生活に関わるニーズに応えられる、専門性の高い実践ができる看護師の養成を目指し、平成29年度は4科目合計60時間の講義・演習を開講し、5名が修了しました。

## ●がん高度実践看護師(APN)セミナー

本学が看護学領域を修了し、高知県内で活躍するがん看護専門看護師から、高度な看護実践の実際と6つの役割機能について学び、自己のがん高度実践看護師(APN)像を形成していく機会を得る

●**がん看護学領域特別講義**

本学看護学研究科のがん看護学領域では、大学院生や修了生を対象とした特別講義を開催している。特別講義では、修了生が後輩である大学院生や修了生に対して、修了後の役割開発のプロセスや日頃のOCNSとしての実践活動について語る機会を平成29年度は1回開催しました。

●**チーム医療合同演習**

11大学院のがんプロ大学院生が集まり、がん医療に関するテーマについて多職種でディスカッションを行うことで、チーム医療や多職種コミュニケーションの重要性についての学びを深めるチーム医療合同演習に参加しました。

●**がん看護合同セミナー I**

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムのがん看護専門看護師養成WGである5大学(高知県立大学・岡山大学・徳島大学・広島大学・山口大学)のがん高度実践看護師コースの大学院生を対象として、徳島大学が企画・運営を担当しているがん看護学合同セミナー I に参画しました。

●**アストラルの会**

高知県立大学大学院看護学研究科がん看護学領域修了生の会「アストラル」は、がん看護の質向上のための自己研鑽、情報交換、修了生のネットワークづくりの充実を図ることを目的として、①学習会の開催、②メンターシップ、③メーリングリスト等による情報共有、④学会参加、⑤研究、⑥ホームページ・アストラルのブログ作成の活動を行いました。



### (3) 【博士課程教育リーディングプログラム: 災害看護グローバルリーダー養成プログラム】

#### ●事業目的

「博士課程教育リーディングプログラム」は、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進する事業であり、文部科学省が実施しています。本学を責任大学として国公立5大学が共同でプログラムの申請を行い、平成24年度に採択を受け、プログラム責任大学である高知県立大学にプログラム管理センターを置き、プログラムの管理運営をとりまとめている。

本プログラムの目的は、他の近接学問と相互に関連・連携しつつ、学術の理論および応用について産学官を視野に入れた研究を行い、特に災害看護学に関してその深奥を極め、人間の安全保障の進展に寄与することである。また、その目標は、日本ならびに世界で求められている災害看護に関する多くの課題に的確に対応し解決できる高度な実践能力かつ研究能力を兼ね備え、国際的・学際的指導力を発揮するグローバルリーダーを養成することである。

本プログラムの特徴は、5大学院の蓄積してきた資源を共有し、各大学院研究科に共同災害看護学専攻という共同教育課程を設置し、「災害看護グローバルリーダー(DNGL)養成プログラム」を策定し、共同責任体制で一貫した教育を行いつつ、各大学院はそれぞれの特色をさらに強化していくこと、および国内外とのインターンシップの実施やモデル事業提案を義務づけることである。

#### ●プログラム参画大学

- ・高知県立大学大学院(プログラム責任大学)
- ・兵庫県立大学大学院
- ・千葉大学大学院
- ・東京医科歯科大学大学院
- ・日本赤十字看護大学大学院

#### ●プログラム事業期間

平成24年度から平成30年度までの7年間

#### ●交付金額

平成29年度 64,033千円

年度	プログラム担当教員				事業内容
	役職	所属	職名	氏名	
H27	プログラム責任大学長	学長	学長	野嶋 佐由美	平成29年度は、学生受入れ4年目の具体的な事業活動として、以下の5つを実施した。 1) 教育課程連絡協議会を中心に、5大学院共同災害看護学専攻にて、学生への災害看護学の教育を実施した。 2) 5大学院が連携して遠隔授業のためのテレビ会議および Learning Management System (LMS) を維持し、各大学で遠隔教育を実施した。 3) 遠隔シミュレーション教育の実施と教育内容・教育方法を精練した。 4) 国際的なネットワークと海外の大学との連携を強化し、国際学会、会議への参加によるグローバルリーダー育成に向けた教育研究を展開した。 5) 5大学院の特徴を踏まえた教育コンテンツを開発し、学際的な教育研究の実施、および産官学や被災地との連携を推進した。
	プログラム責任者	看護学研究科	教授	南 裕子	
	プログラム担当者		教授	山田 覚	
			教授	中山 洋子	
			教授	中野 綾美	
			教授	藤田 佐和	
			教授	竹崎 久美子	
			教授	池田 光徳	
			教授	大川 宣容	
			准教授	神原 咲子	
			准教授	Ngatu Nlandu Roger	
			人間生活学研究科	教授	
		教授	長澤 紀美子		

プログラム公式Webサイト

<http://www.dngl.jp/japanese/>

#### (4) 奨学寄附金受入状況

平成25年度 (単位:円)

		寄附を受けた者		金額	寄附者	研究題目
		実績なし				
合計		0件		0		

平成26年度 (単位:円)

		寄附を受けた者		金額	寄附者	研究題目
		実績なし				
合計		0件		0		

平成27年度 (単位:円)

		寄附を受けた者		金額	寄附者	研究題目
		実績なし				
合計		0件		0		

平成28年度 (単位:円)

		寄附を受けた者		金額	寄附者	研究題目
1	文化学部	准教授	清水 直樹	¥150,000	日本行政学会	選挙制度と政治的景気循環:日本の選挙と経済政策を根拠として
2	地域教育研究センター	講師	野辺 陽子	¥1,000,000	上廣倫理財団	養子と里子の「出自を知る権利」に関する社会学的研究-法律関係という変数に着目して-
3	社会福祉学部	講師	福間 隆康	¥200,000	生協総合研究所	中間的就労の活用による生活困窮者雇用拡大のための方策 グリーンコープ共同体の実践と効果の検証
合計		3件		¥1,350,000		

平成29年度 (単位:円)

		寄附を受けた者		金額	寄附者	研究題目
1	社会福祉学部	講師	福間隆康	¥640,000	ひと・健康・未来研究財団	精神障害者の就労継続に関する研究 -自己効力感に着目して
2	健康栄養学部	教授	小林 淳	¥200,000	高銀地域経済振興財団	高知県特産品のブランド価値を維持・上昇させるための含有量等分析法の確立
合計		3件		¥840,000		

(5) 受託研究費受入状況

平成25年度

(単位:円)

	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	健康栄養学部	教授	渡邊浩幸	4,042,500	高知県	県産未利用有用植物の活用に向けた農商工医連携基盤の構築と事業化モデル	平成25年4月1日～平成26年3月31日
2	社会福祉学部	講師	福間隆康	1,030,000	一般財団法人 全国勤労者福祉・ 共済振興協会	障がい者の雇用と企業の新しい人的資源管理システム	平成25年12月1日～平成27年4月30日
合計		2件		5,072,500			

平成26年度

(単位:円)

	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	看護学部	教授	神原咲子	2,860,000	独立行政法人科学技術振興機構	避難所情報システムの地域妥当性のための共同研究	平成26年5月7日～平成27年4月30日
2	健康栄養学部	教授	渡邊浩幸	2,957,814	高知県産業振興センター	飲酒による脳萎縮を軽減する健脳飲料の研究開発	平成27年1月26日～平成27年3月31日
3	健康栄養学部	助教	田中守	1,010,800	高知県	新しいタイプの抗アレルギー食品の開発を目指した素材探索の研究	平成26年9月24日～平成27年3月31日
合計		3件		6,828,614			

平成27年度

(単位:円)

	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	看護学部	教授	神原咲子	330,000 (うち間接30,000)	独立行政法人科学技術振興機構	避難所情報システムの地域妥当性のための共同研究	平成26年5月7日～平成27年4月30日
2	健康栄養学部	教授	渡邊浩幸	4,354,577	高知県産業振興センター	飲酒による脳萎縮を軽減する健脳飲料の研究開発	平成27年4月1日～平成28年3月31日
3	看護学部	教授	神原咲子	3,630,000 (うち間接330,000)	独立行政法人科学技術振興機構	避難移住地における感染症流行予防のための生活環境モニタリング	平成27年7月29日～平成28年6月30日
4	看護学部	特任講師	Ngatu Nlandu Roger	1,217,160 (うち間接117,863)	高知県	スジアオリ由来高分子多糖類を使用した機能性表示食品の開発	平成27年11月26日～平成28年3月31日
合計		4件		9,531,737			

平成28年度

(単位:円)

	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	健康栄養学部	教授	稲井玲子	216,000	南国市	食育の実践から「ことばの力」を高める～主体的・共働的に学ぶ学習(アクティブラーニング)を通して～	平成28年6月15日～平成29年2月15日
2	健康栄養学部	教授	渡邊浩幸	6,169,386	高知県商工労働部新産業推進課	高知県産学官連携産業創出研究推進事業(新規事業) 「食用カンナの多分野活用の研究」	平成28年9月2日～平成29年3月31日
3	看護学部	准教授	神原咲子	200,000	国立研究会開発法人 科学技術振興機構	避難移住地における感染症流行予防のための生活環境モニタリング	平成27年7月29日～平成28年6月30日
4	健康栄養学部	教授	渡邊浩幸	350,000	株式会社アミノエース	食品の賞味期限と脂質酸化	平成29年1月4日～平成29年3月3日
5	健康栄養学部	教授	渡邊浩幸	5,564,000	株式会社協和 株式会社あさの	生姜と体温上昇に関する研究	平成29年3月1日～平成30年3月31日
合計		5件		12,499,386			



平成29年度

(単位:円)

	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	健康栄養学部	教授	渡邊浩幸	5,564,000	株式会社協和 株式会社あさの	生姜と体温上昇に関する研究	平成29年3月1日～ 平成31年3月31日
2	健康栄養学部	教授	渡邊浩幸	6,053,723	高知県	食用カンナの多分野活用の研究	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日
3	健康栄養学部	教授	渡邊浩幸	500,000	公益財団法人高知県 牧野記念財団	牧野富太郎博士ゆかり植物の高度利用による食品・健康・観光産業の創出	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日
4	文化学部	教授	大村誠	144,000	情報・システム研究機構 国立極地研究所	合成開口レーダ(SAR)データの偏波特性に着目した南極域の観測手法の高度化	平成29年4月1日～ 平成32年3月31日
5	社会福祉学部	講師	鳩間亜希子	1,600,000	NPO法人介護人材 キャリア開発機構	在宅高齢者を支える介護人材のあり方等についての調査研究事業	平成29年7月1日～ 平成30年2月28日
6	健康栄養学部	教授	渡邊浩幸	3,000,000	株式会社協和	ブタ由来プラセンタ及びサイタイの生理活性評価	平成30年1月5日～ 平成30年3月30日
合計			9件	16,861,723			

## (6) 受託事業費受入状況

(単位:円)

H25	代表教員			金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	2,066,442	社団法人 吾川郡医師会	平成25年度退院移行支援コンサルテーション業務	平成25年4月1日～平成26年3月31日
2	看護学部	教授	森下 安子	3,875,000	高知県	平成25年度高知県介護職員喀痰吸引等研修	平成25年5月30日～平成26年3月31日
3	看護学部	教授	森下 安子	1,190,000	高知県	平成25年度地域医療(在宅での看取りと他職種連携)フォーラム開催委託業務	平成25年6月25日～平成26年3月31日
4	看護学部	教授	森下 安子	602,784	社団法人 吾川郡医師会	「中央西地域包括ケアシステム構築事業」事業評価調査結果の分析業務	平成25年10月11日～平成26年2月28日
合計		4件		7,734,226			

H26	代表教員			金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	1,965,000	高知県	平成26年度地域医療フォーラム開催委託業務	平成26年7月7日～平成27年3月31日
2	看護学部	教授	森下 安子	3,425,000	高知県	平成26年度高知県介護職員喀痰吸引等研修	平成26年5月16日～平成27年3月31日
3	看護学部	教授	森下 安子	982,800	高知県	地域医療連携体制強化業務	平成26年4月1日～平成27年3月31日
合計		4件		6,372,800			

H27	代表教員			金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	2,112,000	高知県	平成27年度地域医療フォーラム開催委託業務	平成27年11月18日～平成28年3月31日
2	看護学部	教授	森下 安子	3,425,000	高知県	平成27年度高知県介護職員喀痰吸引等研修	平成27年5月8日～平成28年3月31日
3	看護学部	教授	森下 安子	982,800	高知県	地域医療連携体制強化業務	平成27年4月1日～平成28年3月31日
合計		3件		6,519,800			

H28	代表教員			金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	3,425,000	高知県	平成28年度高知県介護職員喀痰吸引等研修事業	平成28年4月1日～平成29年3月31日
2	社会福祉学部	講師	河内 康文	1,906,000	高知県地域福祉部 地域福祉政策課	高知県キャリア教育推進事業	平成28年5月17日～平成29年3月31日
3	看護学部	教授	森下 安子	5,691,395	高知県中央西 福祉保健所	退院支援体制推進事業	平成28年4月14日～平成29年3月31日
合計		3件		11,022,395			

H29	代表教員			金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	3,425,000	高知県	平成29年度高知県介護職員喀痰吸引等研修事業	平成29年5月19日～平成30年3月31日
2	社会福祉学部	講師	河内 康文	2,934,000	高知県地域福祉部 地域福祉政策課	高知県キャリア教育推進事業	平成29年6月6日～平成30年3月31日
3	看護学部	教授	森下 安子	8,967,000	高知県健康福祉部医 療政策課	退院支援事業	平成29年4月25日～平成30年3月31日
合計		3件		15,326,000			

(7) その他受入状況

平成25年度

(単位:円)

	研究者			金額	相手先	研究題目	期間
1	看護学部	准教授	神原 咲子	216,570	公益財団法人交通エ コロジー・モビリティ財 団	多文化共生社会の災害情報に対す るバリアフリーモデルの構築	平成25年4月1日～ 平成26年2月28日
合計		1件		216,570			

平成26年度

(単位:円)

	研究者			金額	相手先	研究題目	期間
	実績なし						
合計		0件		0			

平成27年度

(単位:円)

	研究者			金額	相手先	研究題目・事業名	期間
1	森下 安子			20,000,000	高知県	平成27年度高知県中山間地域等訪 問看護師育成講座	平成27年5月12日～ 平成28年3月31日
1	文化学部	准教授	宇都宮 千穂	200,000	高銀地域経済振興財 団	高知県における移住促進政策と移住 者の実態に関する研究	平成28年3月3日～ 平成29年3月2日
合計		1件		20,200,000			

平成28年度

(単位:円)

	研究者			金額	相手先	事業名	期間
1	森下 安子			20,000,000	高知県	平成28年度高知県中山間地域等訪 問看護師育成講座	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日
合計		1件		20,000,000			

平成29年度

(単位:円)

	研究者			金額	相手先	事業名	期間
1	森下 安子			20,000,000	高知県	平成29年度高知県中山間地域等訪 問看護師育成講座	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日
合計		1件		20,000,000			

## 6 学長特別枠助成事業等の状況

【学長特別枠助成事業実績(平成29年度)】

(単位:千円)

事業名	事業内容	助成費	備考
文化学部	【国外】旅費:国立政治大学法學院での研修(10/1-3/31 台湾)	1,500	
看護学部	HPデスクトップ型PC EliteDesk 800 G3 SF×10、キャノンA3モノクロレーザープリンタ×2他	2,299	
看護学部	【国外旅費】サミュエルメリット大学大学院での研修(H30.1.8-3.3アメリカ)	1,023	
看護学部	VLISUALEARN4.6 映像コンテンツ(目で見える病気 第2版)全15巻	982	
看護学部	レサシアン withQCPR半身	223	
看護学部	リンクボックスPLUS一式	192	
看護学部	呼吸音聴診シミュレータ“ラングⅡ” 京都科学11407-000	2,041	
社会福祉学部	社会福祉学部創設20周年記念事業	300	
社会福祉学部	E102,E103 ディスプレイ	1,404	
教育研究戦略課	第4回高知県農商工連携交流会	20	
教育研究戦略課	草刈り機(燃料、ガソリン携帯缶)	70	
健康栄養学部	エプソン プロジェクター EB-5520W リアル解像度WXGA・設置料金一式	341	
看護学研究科	看護学研究科創設20周年記念事業	300	
国際交流センター	エルムズ大学との国際交流協定再締結と協議	1,364	
国際交流センター	交換留学生 宿舍整備	334	
教務課	小川長春館 バドミントン支柱 BD502	266	
学生・就職支援課	バスケット台点検費用として	194	
学生支援課(永)	あふち寮の機器買い替え・修繕等	986	
入試課(池)	ISK 耐火金庫(サイズW930×D708×H1825)	998	
図書情報課(池)	転倒防止対策	2,074	
図書情報課(池)	インターネット接続用ルーター(予備機)	432	
理事等活動経費	液晶モニター、ディスプレイスタンド(設置費込)	156	
財務施設課	池キャンパス 修繕(南駐車場、便座取替)	648	

事業名	事業内容	助成費	備考
財務施設部	非接触カードリーダー 2台 (社会福祉学部棟1階南口屋内・屋外)	443	
財務施設部	平成29年度池キャンパス施設管理計画策定準備に係る技術支援業務	999	
財務施設部	旅行依頼利用範囲拡大対応(全教職員)	540	
合 計		20,129	

【学長助成事業実績(平成29年度)】

(単位:千円)

事業名	事業内容	助成費	備考
平成 29 年度 高知県立大学 戦略的研究推進プロジェクト	高知県立大学の学術研究の充実及び高知県の課題解決を目指し、特に重点的に本学を特徴づけるテーマ1～3のいずれかにおいて、教育研究力を格段に高めようとする取り組みに対し、経費を補助することにより、教育・研究のイノベーションを促すことを目指す。	3,825	
合 計		3,825	

## 13 キャンパス

### 1 土地

(単位: m<sup>2</sup>)

	区 分	所 在 地	面 積
1-1	校舎敷地(図書館、体育館等)	高知市永国寺町5番15号	11,313.00
1-2	校舎敷地(地域連携棟、学生会館等)	高知市永国寺町6番28号	3,115.98
1-3	校舎敷地	高知市池2751-1	31,586.00
1-4	校舎敷地(教育研究棟等)	高知市永国寺町2番22号	7,406.00
1-5	運動場敷地	高知市池2532-2	9,620.00
1-6	多目的広場・大学駐車場	高知市池2469-1	23,963.00
1-7	学生寮教職員宿舍敷地	高知市東石立町17番2号	2,653.00
1-8	池教員宿舍敷地	高知市池2160-1	3,226.00
1-9	朝倉教員宿舍敷地	高知市朝倉本町1丁目210-3	281.00
1-10	鴨部教員宿舍敷地	高知市鴨部1258-1	568.51
1-11	その他(法面等)	高知市池2155-1 ほか	10,947.70
	計		104,680.19

209,360.38

### 2 建 物

(単位: m<sup>2</sup>)

	区 分	所 在 地	面 積
2-1	南校舎(地域連携棟)	高知市永国寺町6番28号	3,135.89
2-2	図書館	高知市永国寺町5番15号	1,401.48
2-3	自転車置場	〃	29.40
2-4	講堂兼体育館	〃	1,237.54
2-5	自転車置場	〃	134.00
2-6	学生会館	〃	1,434.85
2-7	校 舎	高知市池2751-1	12,565.89
2-8	体育館	〃	3,337.16
2-9	自転車置場	〃	262.50
2-10	グランド内トイレ等	高知市池2751-1	67.20
2-11	学生寮	高知市東石立町17番2号	1,173.02
2-12	教職員宿舍	〃	684.48
2-13	朝倉教員宿舍	高知市朝倉本町1丁目210-3	134.02
2-14	鴨部教員宿舍	高知市鴨部1258-1	278.60
2-15	池教員宿舍	高知市池2160-10	1,116.19
	計		26,992.22

高知県公立大学法人

高知県立大学

〒780-8515 高知県高知市池2751-1

TEL 088-847-8700 (代表)

FAX 088-847-8670

<http://www.u-kochi.ac.jp/>